



公立大学法人

福井県立大学

Fukui Prefectural University

福井県立大学 大学案内 2027

FUKUI PREFECTURAL UNIVERSITY CAMPUS GUIDE 2027



カタチへ。



R
E
B
O
R
N
新しい
学びの



公立大学法人

福井県立大学

Fukui Prefectural University

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL. 0776-61-6000 FAX. 0776-61-6011
<https://www.fpu.ac.jp/>

WEBサイト



福井県立大学 大学案内 2027

REBORN

新しい学びのカタチへ。

福井県立大学は、2026年4月に「地域政策学部」を新設し、6学部10学科体制がスタート！
2027年4月には、「福井まちなかキャンパス」を開設。
県内各地に設置する公立大学有数の6キャンパスと、特色ある6学部の特性を活かし、
地域や社会の課題をリアルに学ぶ環境を整備します。
実社会とつながる学びを通して、将来に生きる力を育成します。

Contents

時代は福井県立大学	P.4
福井県がまるごとキャンパス！	P.6
学長からのメッセージ・組織図	P.7
学部・学科INDEX	P.8
[学部等紹介]	
経済学部	P.10
生物資源学部	P.20
海洋生物資源学部	P.30
看護福祉学部	P.40
恐竜学部	P.50
地域政策学部	P.56
一般教育	P.62
大学院	P.66
研究所等	P.70
地域連携	P.73
国際交流・留学サポート	P.74
キャリアサポート・就職支援	P.76
[キャンパスライフ]	
クラブ&サークル紹介	P.80
キャンパスガイド	P.82
学生生活サポート	P.85
県大LIFE	P.86
[DATA]	
客員教授・沿革	P.88
入試DATA	P.90
大学DATA・アクセスマップ	P.91

※本書に掲載されている情報は2026年3月時点のものです。

「福井まちなかキャンパス」※2027年4月開設

時代は福井県立大学

福井を素材に。
学びは、もっと面白くなる!

4 Points of Learning

1 Point

主体的に学び、挑戦できる環境

フィールド演習やアクティブラーニング、グローバル人材の育成に向けた交流空間など、学生の皆さんが自分らしく挑戦できる環境を整えています。先輩たちのように、学びながら楽しむ毎日を実現できます。



2 Point

福井で学ぶ

地理的な特性や産業、日本一の恐竜化石の産地など、福井の多様な資源を各学部の専門性を活かして、日本一のブランドに押し上げます。福井そのものをフィールドに、世界に羽ばたく。ここでしかできない学びに取り組みます。



3 Point

レベルの高い情報教育プログラムを全学で実施

デジタル社会に必要なAIやデータ活用の力を、実際の課題にどう活かすかまで学びます。全学部生が、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定された高いレベルの教育を受講できます。



4 Point

社会につながる学びが充実

地元企業の経営者などを講師として招く特任講師制度や、地域企業・自治体と連携した実践型授業、国家資格取得のための支援など、社会と関わりながら学べる教育プログラムが豊富です。将来を見据えながら、自分に合った進路を選べる力を育てていきます。



「就職」に強い!

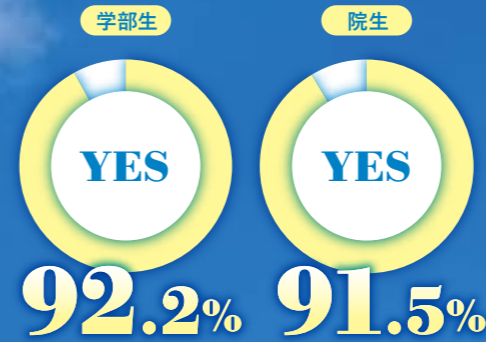
2025年度 卒業生の就職率

99.8%

県大では、社会に出てから役立つ実践的な知識やスキルを身に付けるため、地元企業人による講義や現場での学びを重視した授業が充実しています。過去の状況を見ても、本学の就職率は全国平均を上回る安定した実績を上げています。

「学生生活満足度」が高い!

県大での学生生活に満足していますか?



※2025年度学生生活に関するアンケート調査結果において、4段階評価のうち「満足している」「まあまあ満足している」と回答した学生の合計

「公務員就職」の実績も多数!

2025年度 公務員の就職者数

75名

2025年度の就職者のうち、約2割の学生が国家公務員や地方公務員として就職しています。

「国家資格取得」に強い! [2025年度]

厚生労働省から発表された2025年度国家試験の学校別合格率において、本学は全国平均を上回る高い合格率を示しています。

※大学等の新卒者の合格率



「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に本学から4名の教員が選出!

米国スタンフォード大学とエルゼビア社が公表している「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に、本学から4名の教員が選出。多様な研究分野での国際的発信力と社会的インパクトが高く評価されました。

- ・深尾 武司 (生物資源学部 生物資源学科 教授)
- ・佐藤 秀一 (海洋生物資源学部 先端増養殖科学科 特命教授)
- ・篠原 秀文 (生物資源学部 生物資源学科 准教授)
- ・谷川 衝 (情報センター 准教授)

世界の科学者

トップ2%に



4名の教員が選出!



福井県が まるごとキャンパス!

福井県ならではの地域資源を活かし
県全体をまるごとキャンパスにして学ぶ

福井県立大学では、キャンパスがある永平寺町や小浜市、あわら市、勝山市と連携し、地域の特色を実際に現地で学ぶ授業を実施しています。また、県内の地域が抱える課題の解決を探る授業など、キャンパスの外に出てフィールドで学ぶ授業も豊富です。そのほかにも、県内企業の経営者をはじめ各分野の専門家に特任講師等を依頼し、実践に強い授業を用意。さまざまな形で地域と連携した学びを展開しています。

福井まちなかキャンパス

2027年
4月開設!

地域政策学部
地域イノベーション学科 P.58



あわらキャンパス

生物資源学部
創造農学科……P.26



勝山キャンパス

恐竜学部
恐竜・地質学科……P.52



永平寺キャンパス

経済学部
経済学科……P.12
経営学科……P.16
生物資源学部
生物資源学科……P.22
看護福祉学部
看護学科……P.42
社会福祉学科……P.46



小浜キャンパス

海洋生物資源学部
海洋生物資源学科……P.32



かつみキャンパス

海洋生物資源学部
先端増養殖科学科……P.36



President Message



いわさき ゆきもと
学長/農学博士 岩崎 行玄

PROFILE

愛知県生まれ。1992年福井県立大学開学時に講師として着任。生化学・分子生物学の講義および化学実験、分子生物学実験を担当。イネ種子の大きさ、草丈を決定する遺伝子・タンパク質の研究に関する多数の研究実績を持つ。

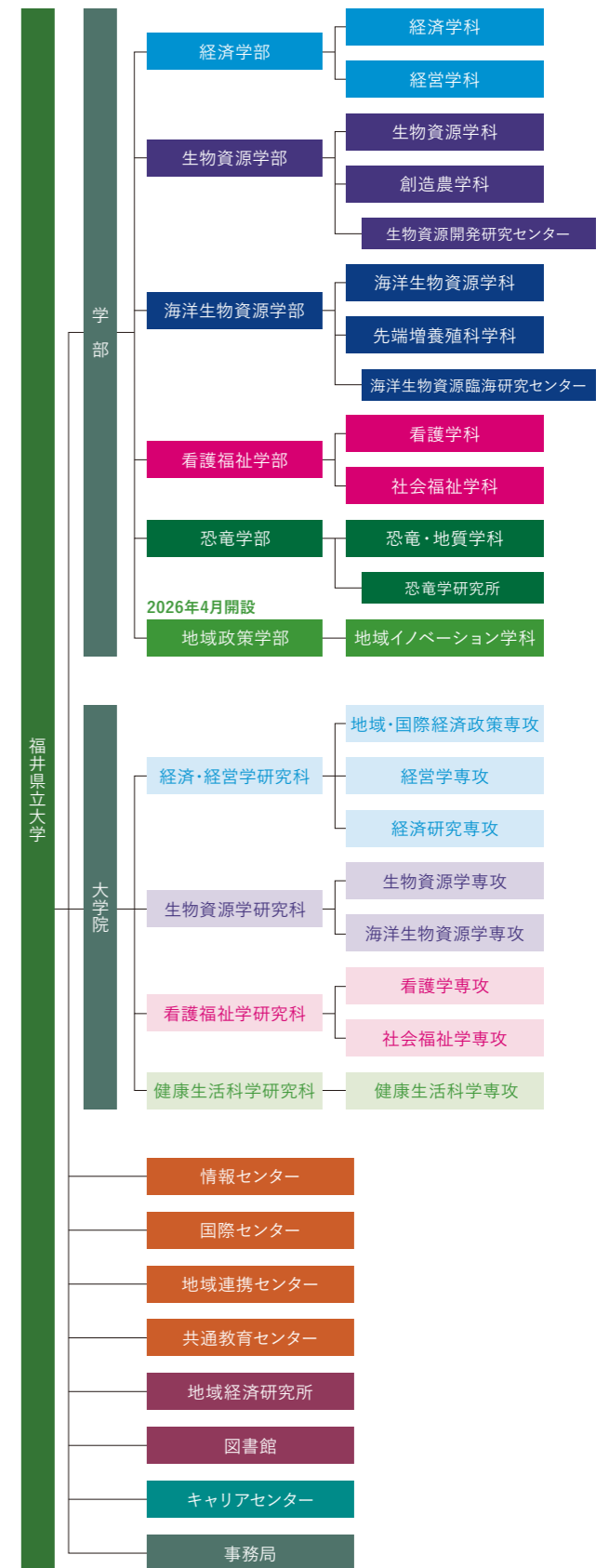
福井県立大学は「先生が何を教えてくれたか」という受け身の姿勢ではなく、「皆さん自身が何を修得できたか」という大学を目指しています。これは、皆さんが大学在籍期間に、「自力で自信を得たことが極めて大切である」というメッセージです。加えて、福井県立大学は「福井を学ぶ」というよりは「福井で学ぶ」という風土、少し詳しく言えば「福井の資源を素材にして、世界で通用する学びを修得できる大学」を目指しています。

福井県立大学は、県内出身者と県外出身者、現役生と既卒生、留学生、社会人など、多様な背景を持つ学生が集まっています。多様な背景の仲間と真摯に向き合うために大切なのは「相手を自分の価値観の中に引き込まず、自分が相手を尊重する」ことです。これは、自分の今までの規範を脱ぎ捨てる、あるいは修正し、自己を再発見し、必要に応じて古い自分を壊し、新しい自分を構築することを指します。この経験は、長い人生における極めて貴重な経験と考えます。

学習面では、6学部共通して社会で活躍する方々を特任講師として招へいし、理論と現場を結びつける講義を多数開講しています。加えて、学外での演習・実習・インターンシップ等を通じて、実体験する機会も重視しています。教室での座学と体験学習を交互に繰り返すことは、新しい視点を生み出す原動力になると確信しています。

大学でチャレンジしてみたいことに関しては、皆さん思いはさまざまでしょう。学部での講義に興味を持ち、その発展として卒業研究やゼミに邁進する、講義とは別に難関な国家試験に挑戦する、短期・長期の留学に挑戦する、クラブ・サークル活動を満喫するなど、一つにのめり込んでもよいし、複数トライしてもよいでしょう。いずれも皆さんが選べるのです。ぜひ福井県立大学に入学して自分の可能性を開花させてください。教職員一同、皆さんのやる気を歓迎します。

組織図 (2026年度)



学長・副学長・特任学長補佐

岩崎 行玄 学長 植物生化学

横山 芳博 副学長(総括)・情報センター長・国際センター長・図書館長 水産化学、食品化学、海洋分子生物学

石丸 香苗 副学長(学生支援・ダイバーシティ推進)・学生部長 森林科学、ブラジル研究

北島 啓嗣 副学長(地域連携)・地域連携センター長・共通教育センター長・キャリアセンター長 流通業の経営戦略、戦略論、マーケティング戦略論

塚原 典央 特任学長補佐(ハラスメント対策)

哲学

学部・学科INDEX

福井県立大学で **学びたい!** がここにある!

将来の道をこれから探したい人も、すでに決めている人も。
あなたの興味・関心に応える、福井県立大学の6学部の「学びのタネ」を紹介。
そして、各学部の学びのキーワードやキャリア展望もあわせてまとめています。

興味・関心のタネ

- 社会の役に立ちたい
- 組織の本質が知りたい
- 起業したい
- 社会の仕組みが知りたい
- データ分析スキルを身につけたい
- 世界を知りたい

興味・関心のタネ

- 福井を盛り上げたい
- 地域環境を守りたい
- 新しい食品を開発したい
- ブランド品種を創りたい
- 生物や化学が好き
- 最先端の技術に触れたい
- 生命のしくみを知りたい
- 新しい価値を生み出したい

興味・関心のタネ

- 魚好きな仲間と成長したい
- 魚を育てる現場で学びたい
- 最先端の科学を学んで海洋生物を研究したい
- とにかく魚が好き
- 海の調査は無制限
- 肉眼では見えない世界を知りたい

興味・関心のタネ

- 命を守りたい
- 人の役に立ちたい
- 病気と向き合う力を身につけたい
- 誰かの支えになりたい
- 「生きづらさ」を「希望」に変えたい
- その人らしい人生を守りたい

興味・関心のタネ

- 恐竜や古生物が好き
- 化石や石、地層にワクワクする
- 地球や生命の歴史を知りたい
- 野外での調査や観察が好き
- 生き物の進化や絶滅の理由に興味がある
- 自然のしくみを総合的に学びたい

興味・関心のタネ

- 暮らしやすい地域をつくりたい
- 地域を盛り上げたい
- 地域の産業を発展させたい
- フィールドワークが好き
- 国内も海外もどちらも知りたい
- 地域の魅力を伝えたい
- 人と協力することが好き

経済学部

P.10

経済学科 永平寺キャンパス

経営学科 永平寺キャンパス

学びのキーワード

- #AI #地方創生 #働き方改革
- #人口減少 #インバウンド #グローバル化
- #関税・貿易問題 #物価高騰 #消費税減税
- #北陸新幹線 #税制改革と社会保障
- #SDGs #モノづくり #コンパクト・シティ
- #経営戦略 #コーポレートガバナンス
- #MaaS #起業 #NISA #デジタル社会

キャリア展望

- 民間企業 総務・人事・営業・製造・広告などの総合職 海外法人などの管理者 銀行・証券・保険会社などの金融機関
- 起業家(アントレプレナー)
- 税理士・公認会計士・中小企業診断士・経営コンサルタント
- 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
- NPO、NGO、商工会議所、農協、生協、大学法人職員
- 国家公務員(財務専門官・国税専門官含む)
- 県や市町村の地方公務員
- 高等学校教員(公民・商業)
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈経済・経営学研究科〉

- 地域・国際経済政策専攻
- 経営学専攻
- 経済研究専攻

生物資源学部

P.20

生物資源学科 永平寺キャンパス

創造農学科 あわらキャンパス

学びのキーワード

- #ゲノム #遺伝子工学 #植物病理 #植物生理
- #微生物機能 #サステナビリティ #植物遺伝資源
- #食料問題 #環境ストレス #農産物利用 #生物多様性
- #生化学 #地域農政学
- #分析化学 #地域環境保全
- #生物学実験 #食品加工実習 #6次産業化
- #化学実験 #園芸学 #育種学

キャリア展望

- 民間企業(食品・製薬・化学・種苗などの研究開発職・総合職)
- 環境コンサルタント
- 国家公務員(植物防疫官を含む技術系職員)
- 地方公務員(農業・環境・食品関連の技術職)
- 大学院進学
- 農業(個人・法人)
- 農業関連企業(機械・施設・資材開発・施設園芸・農業協同組合)
- 食品関連企業(研究開発・品質管理・製造業務・販売促進)
- 環境関連企業(研究開発・調査・分析)
- 国家公務員(植物防疫、地方公務員(行政・農学・林学))
- 高等学校教員(農業)
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈生物資源学研究科〉

- 生物資源学専攻

海洋生物資源学部

P.30

海洋生物資源学科 小浜キャンパス

先端増養殖科学科 かつみキャンパス

学びのキーワード

- #バイオミネラリゼーション #海洋生命科学
- #食の安心安全 #持続可能な養殖
- #海洋環境 #海流 #養魚飼料 #情報
- #微生物 #保全生態 #AI
- #水産資源 #ゲノム育種
- #生態系 #魚病対策 #ワクチン
- #機能性成分 #ゲノム編集

キャリア展望

- 食品・水産加工品の研究開発・品質管理
- 医薬品など化学製品の研究開発・販売促進
- 水産資源の確保と国内外市場の開拓・流通
- 海洋開発、環境ビジネス、環境コンサルタント
- 水族館、生物飼育産業、観賞魚関連企業
- 漁業・水産養殖業、漁協、漁家民宿経営 など
- 情報通信業(システムエンジニアなど)
- 国家・地方公務員、試験研究機関など研究職
- 高等学校教員(理科、水産)
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈生物資源学研究科〉

- 海洋生物資源学専攻

看護福祉学部

P.40

看護学科 永平寺キャンパス

社会福祉学科 永平寺キャンパス

学びのキーワード

- #生命科学 #健康科学 #人体構造・機能
- #心理 #コミュニケーション #地域生活
- #生活支援 #社会制度 #居場所づくり
- #ウェルビーイング

キャリア展望

- 看護師
- 保健師
- 助産師
- 養護教諭
- 認定看護師(認定条件および試験あり)
- 専門看護師(看護系大学院で養成)
- 看護教員
- 大学院進学
- 生活相談員・支援専門員
- 高齢者施設職員
- 障害者支援施設職員
- 児童指導員・児童福祉司
- ケースワーカー
- 医療ソーシャルワーカー(MSW)
- スクールソーシャルワーカー(SSW)
- コミュニティーソーシャルワーカー(CSW)
- 矯正施設(刑務所・少年院など)福祉専門官
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈看護福祉学研究科〉(修士課程)

- 看護学専攻
- 社会福祉学専攻

〈健康生活科学研究科〉(博士後期課程)

- 健康生活科学専攻

恐竜学部

P.50

恐竜・地質学科 勝山キャンパス

学びのキーワード

- #恐竜 #古生物学 #地質学 #古環境
- #進化 #化石 #地球史 #層序
- #岩石 #3Dモデリング #フィールド調査
- #博物館学

キャリア展望

- 博物館学芸員、研究者、教員(理科)
- 地質・土木・建設産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業(測量に関する地質系のデジタル技術産業など)
- 公務員(土木)
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈生物資源学研究科〉

- 生物資源学専攻

地域政策学部

P.56

地域イノベーション学科 福井まちなかキャンパス

学びのキーワード

- #地域イノベーション #GIS
- #フィールドワーク #まちづくり #地域社会
- #地域発展 #海外地域 #地域マネジメント
- #観光産業 #ウェルビーイング
- #地域産業 #地域活性化 #地域政策
- #地域交通 #環境デザイン
- #ローカルメディア #産業集積

キャリア展望

- 製造・流通・金融・情報通信関連の総務・企画・営業部門
- 地方自治体、コンサルタント、NPO法人の職員
- 起業、事業承継
- 高等学校教員(地理歴史)
- 大学院進学

学びを深めるなら

〈経済・経営学研究科〉

- 地域・国際経済政策専攻
- 経営学専攻
- 経済研究専攻

NEW!
2026.4

2027年
4月開設!

経済学部

Faculty of Economics

社会を見通す確かな「目」と 未来を創造する「知力」

少子高齢化が進むなかでの地域活性化という身近な問題から、経済活動と地球環境問題への対応をどう両立させるかといったグローバルな問題まで、私たちの社会には課題が山積しており、一つひとつの課題の捉え方も多様化しています。一方で、SNSやAI利用の広がりにより、世の中には真偽の入り混じった情報があふれており、何が本当のことなのか、何が本質なのかを見極めることもますます難しくなっています。

こうした時代だからこそ、じっくりと腰を据えて、情報を丁寧に吟味し、社会で起きていることを正しく把握し、自らの行動へとつなげる力が求められます。本学部では経済学・経営学を学ぶことを通じて、このような社会の動きを冷静に見通す「目」を養い、時代を読み解いて未来を創造していける「知力」を持った人へと成長することができます。



学部紹介
ページはこちら

経営学科



経済学科



Point 学部の特長

1 個性豊かな教員による きめ細やかな指導

専攻分野も経歴も個性もさまざまな教員が所属しており、少人数教育のメリットを最大限活かして、一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな指導を行います。人生の宝となるような「恩師」との出会いがきっとあります。

2 主体性を重視した 双方向な学習の場

講義や演習(ゼミ)のなかで、アクティブ・ラーニングの場を多く提供します。フィールドワーク、データ分析、実験、議論、プレゼンテーションなど、あなた自身が活動の主体となって学びを深めることができます。

3 学科の垣根を越えた 総合的な学修

経済学科・経営学科でカリキュラムは相互に乗り入れており、両学科の科目が履修可能です。経済学と経営学の双方の視点を学ぶことによって社会を多面的・総合的にとらえる力の獲得を目指します。

教員・専門分野一覧

経済学科

桑原 美香 学科長・教授	地方財政論、財政学
加藤 健太郎 教授	中国経済論、日中経済関係
清水 葉子 教授	金融論、証券市場論
杉山 泰之 教授	国際経済学、応用経済学
廣瀬 弘毅 教授	経済政策、マクロ経済政策思想
堀田 学 教授	農業経済学、食品マーケティング論
渡邊 敏生 教授	経済理論、金融経済学
池本 裕行 准教授	日本経済史
今池 康人 准教授	自由主義経済思想、経済思想史、科学哲学
松岡 孝恭 准教授	マクロ経済学、統計学
王 天荷 助教	環境経済学
岡原 直人 助教	マクロ経済学、銀行理論

経営学科

藤野 秀則 学科長・教授	安全管理論、ヒューマンインタフェース、コミュニケーション支援
徳前 元信 学科長・教授	会計学
木野 龍太郎 教授	生産管理、工業経営、技術経営
木下 和久 教授	管理会計論
早川 貴 教授	マーケティング論、経営戦略論
福山 龍 教授	商法、会社法
村松 洋介 教授	租税法、行政法、労働法
石崎 琢也 准教授	イノベーション論、経営戦略論
北野 康 准教授	経営組織論、組織行動論
境 宏恵 准教授	会計学
杉村 亮介 准教授	国際経営、国際マーケティング
山崎 淳 准教授	中小企業論、ベンチャー企業経営論
山下 知晃 准教授	財務会計論
芝田 有希 助教	消費者行動論、マーケティング論、Consumer Psychology

経済学科

Department of Economics

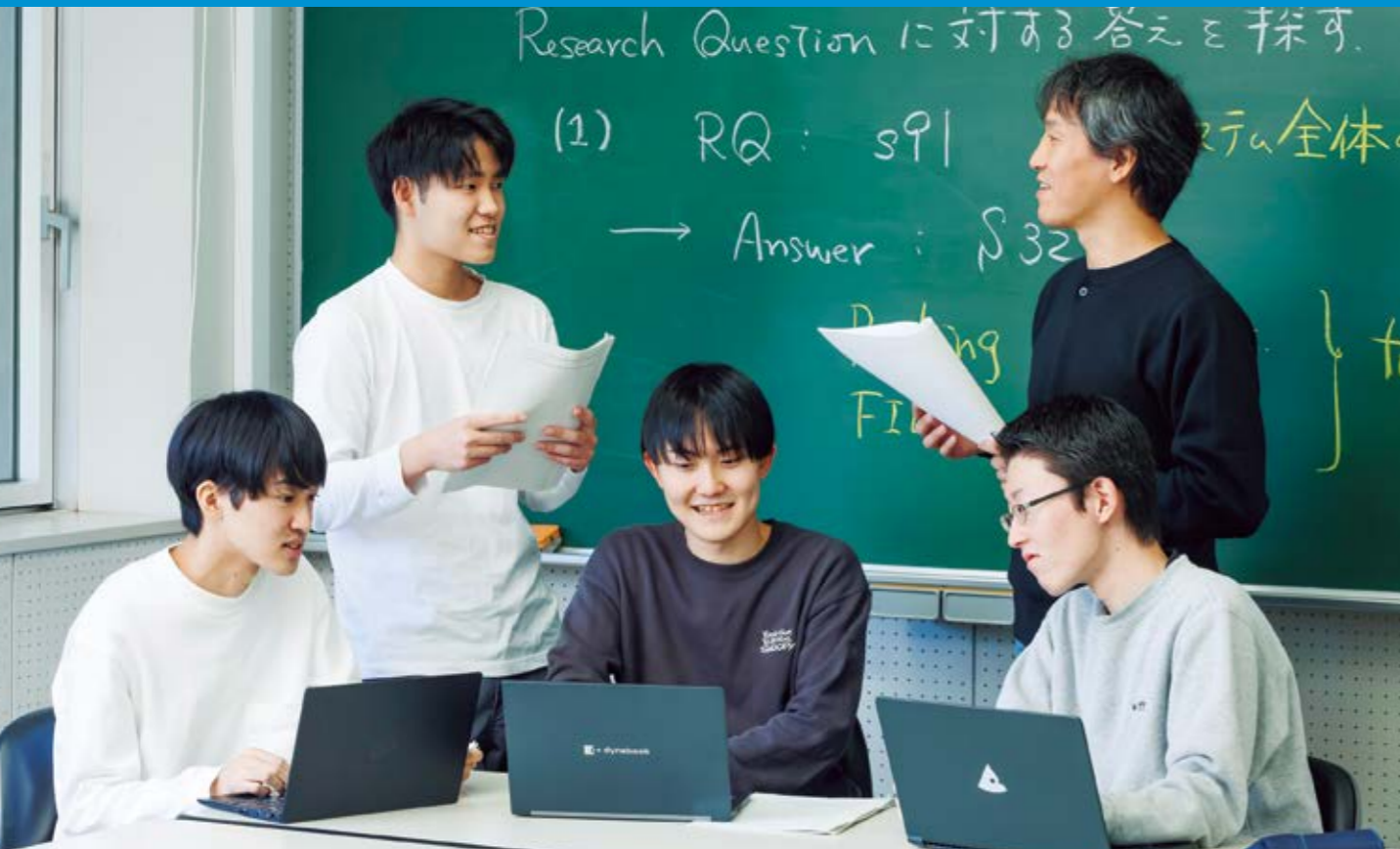
社会を多角的に捉え、 判断力と知性を身につける4年間

経済学科での学びを通して、暮らしや社会課題を理解し、主体的に判断できる力が身につきます。さらに、古今の学説や経済の歴史、地域から国際まで社会全体を見渡すことで、社会を多角的に捉え、過去と現在を

踏まえて未来を考えられるようになります。講義に加え、データ分析やフィールドワーク、ゼミなどを通じて、理論を段階的・体系的に学び、自ら問いを立てて複数の可能性を考え抜く知性が身につきます。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 ゼロから始める経済学

経済学科では、データ分析や統計の基礎からミクロ経済学・マクロ経済学など、段階的に学べます。経済学は大学から学ぶ人がほとんどですので、初めてでも安心です。基礎を固めることで、新たな知識や高度な理論を吸収するスピードが上がります。

3 ニュースの裏側を読み解く

関税・貿易問題、物価高騰、環境政策など、身近な時事問題を経済学的に分析します。単なる知識やデータではなく、その背後にある仕組みや因果関係を理解することができます。社会課題を「自分ごと」として、主体的に生きるための知性が育ちます。

2 理論でつなぐ知の地図

初年次の学びを基盤に、金融論や経済政策などの専門科目を体系的に学びます。個人や企業の行動から地域や世界経済まで、広く理解できます。また経済学史や日本経済史と結び付けて学ぶことで、断片的な知識にならず、論理的に整理する力が養われます。

4 問いを立てる知性を育む

ゼミや論文執筆を通じて、「効率と公平とは両立できないのか」「なぜ貧困はなくなるのか」といった建設的な疑問を持ち、答えを探る姿勢を身につけます。答えが一つでない社会を生きるため、複数の可能性を考え抜く力があなたを未来へ導きます。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	経済学の基礎理論を学ぶ 経済学の基礎理論を必修として履修し、2年次からの専門的な学びに備えます。経営学総論、企業論、簿記原理など経営学科の科目も用意し、垣根を越えた学修ができます。	専門分野への本格的参入 専門科目の分野や、文献講読や資料解析、フィールドワークを実践する科目も加わり、経済学の世界がぐっと広がります。自分の興味関心に沿って履修する科目を決め、学んでいきます。	ゼミを中心に研究への導入 演習I(ゼミ)が中心。全教員により開講されるゼミに分かれ、専門分野の研究を掘り下げていきます。文献や資料を精読し、分析に必要な知識やスキルも蓄えていきます。	研究活動の総仕上げに向けて 演習II(ゼミ)が中心。これまでに身につけた知識とスキルを駆使し、自らの問題意識に沿った研究を進め、成果につなげていきます。最終的には卒業論文などの形で完成させます。
理論・歴史	マクロ経済学I・II ミクロ経済学I・II 経済数学、西洋経済史	政治経済学 経済学史、日本経済史	アジア経済史	
政策		経済政策、産業組織論、財政学 中小企業論I・II 金融論 国際経済学A・B 労働経済学 社会保障論 農業生産・流通政策論 地域マネジメント論	地方財政論、地域経済論 農業経済学、環境経済学 応用経済学	
統計・情報	統計学	計量経済学	データ分析	
国際		中国経済論 アジア経済論	開発経済論 中国の企業と経済	
経営	経営学総論I・II 企業論、簿記原理	会計学I・II		
法律		権利擁護を支える法制度 会社法、取引法	税法	
外書・演習		外書講読I、基礎ゼミ	外書講読II、演習I	演習II、卒業研究/研究論文
現代社会とその課題	特別企画講座A 経済学特講A	特別企画講座B・C・D 経済学特講B・C・D	特別企画講座E・F・G 経済学特講E・F・G	
その他の科目	キャリアデザイン概論I・II	福祉のまちづくり論 キャリアデザイン特論	社会的企業論	

Pick up

授業の紹介

福祉は我々の自由を拡大してくれるのか
もしくは我々の自由を奪うものなのか

政治経済学

今池 康人 准教授

「政治経済学」は、特に福祉政策を中心に政治思想や経済学を学ぶ授業です。私たちは福祉をなんとなくいいものと考えています。しかし、それらはどのような理念のもとで行われてきたのでしょうか。また、福祉に反対する思想にはどのような正当性があるのでしょうか。実際の政策の歴史も踏まえつつ福祉政策の是非や政府の取るべき行動について考えていきます。



経済(学)を学ぶために教養を深める
温かい心と冷静な頭脳を持った社会人に

演習I(現代経済演習)

渡邊 敏生 教授

「高い山の裾野は広い!」。経済や社会を分析するときを射た結果を得るためには、専門知識だけでなく一般教養が必要です。ゼミでは、まず歴史や統計の大切さを学びます。その後、各々が関心のある経済問題(例えば物価問題など)に取り組みます。ゼミでは友人の報告に耳を傾け、切磋琢磨し合います。「温かい心」と「冷静な頭脳」を持った社会人になることを目指します。





Interview 在学生

地元での活躍を見据えて
地域活動と交流を深める

将来、地元福井で活躍するために、まちづくりや地域経済を学んでいます。そのためには国外の情勢を知ることも重要で、特に中国経済や外国人政策に興味があり、4年次には台湾研修もあるので期待しています。

ボランティアサークルでは、地域や他大学と共同で企画を運営し、幅広い年齢層の方々との交流を深めています。

Students

経済学部 経済学科
近藤 祐加さん
福井県出身

活動を通じて、どうしたら伝わるのか、伝えられるのか、相手に寄り添って考えられる力が身についたと思います。

県大には、面白い授業や個性的な先生、クラブ・サークルが多く、多彩な「知りたい、学びたい」が叶えられる環境です。学生だからできることはたくさんあるので、今後も学内外のさまざまな企画や活動に参加していきます。



Interview 卒業生

一つひとつの経験がつながり
自分を助ける大きな力になる

入社後2年間の報道部記者を経て、現在は編集局で紙面レイアウトと見出しを担当。限られた時間で情報のポイントや価値を見極めるのは大変ですが、大学での学びが役立っています。例えば1年次の教養ゼミでは、観光をテーマに取材。何を聞き、何を引き出すのかが記者の基礎になりました。3、4年次のロシア経済ゼミでは、国際経済への関

Graduates

株式会社 福井新聞社 勤務
金本 直也さん
経済学部 経済学科 2023年3月卒業 福井県出身

心が高まったことで仕事の幅が広がっています。在学中にはTOEIC900点と英検準1級を取得。そのノウハウを「World Café」で後輩に講義できたのは貴重な経験です。

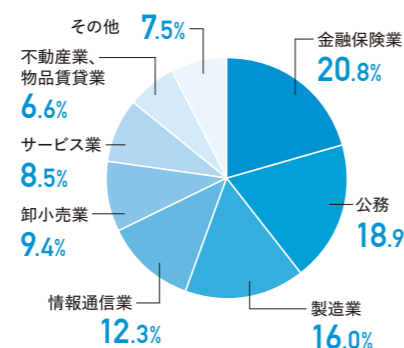
大学での経験は、それぞれに関連がなくても、社会人になると点が線になり、活かされてきます。すべての経験に無駄はなく、将来の自分を助けてくれる力になるはずです。

Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

就職 95.5% 進学 2.7% その他 1.8%



キャリア展望

- 民間企業
総務・人事・営業・製造・広告などの総合職
海外法人などの管理者
- 銀行・証券・保険会社などの金融機関
- 起業家(アントレプレナー)
- 税理士・公認会計士・中小企業診断士・経営コンサルタント
- 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
- NPO、NGO、商工会議所、農協、生協、大学法人職員
- 国家公務員(財務専門官・国税専門官含む)
- 県や市町村の地方公務員
- 高等学校教員(公民・商業)

卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)

- 【製造業】** 福井村田製作所、鯖江村田製作所、前田工織、三谷セキサン、フクビ化学工業、酒井化学工業、松浦機械製作所、田中化学研究所、ウラセ、ギャレックス など
- 【卸小売業】** クスリのアオキ、ゲンキー、福井トヨタ、興和江守、ヤササキ、ミタス など
- 【金融保険業】** 福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行、アクサ損害保険福井センター、今村証券、越前信用金庫、北陸労働金庫、八十二銀行、富山第一銀行 など
- 【情報通信業】** 福井新聞社、福井コンピュータホールディングス、三谷コンピュータ、永和システムマネジメント、天晴データネット、SCSKニアシオシステムズ、共同コンピュータ など
- 【サービス業】** 福井商工会議所、福井県民生生活協同組合、税理士法人合同経営会計事務所、税理士法人片岡経営会計事務所 など
- 【公務】** 福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部、福井労働局、金沢国税局、金沢地方税務局、石川県庁、富山県庁、福井市役所、敦賀市役所、大野市役所、金沢市役所、東京都特別区 など
- 【進学】** 福井県立大学大学院 など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(公民/商業)
※教職課程の単位修得が必要。

経営学科

Department of Business Administration

理論を学び、現場で磨く—福井だから育つ実践力

理論×体験で身につく“生きた経営学”

経営学・商学・会計学・情報などの基礎理論をしっかり学んだうえで、学んだ知識を実際の現場で確かめる体験の機会を多く設けています。福井にはキラリと

働く方の話を通して、教科書では分からないリアルな経営を学べます。「理論で理解し、現場で確かめる」。このサイクルを繰り返すことで学びはぐっと深まり、社会に出てからも自信を持って活かせる力が身につきます。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 多様なバックグラウンドを持つ教員スタッフ

企業・NPOで活躍、海外で挑戦など、さまざまな経験を持つスタッフが特徴です。多様なバックグラウンドを持つ教員が多数在籍することで、アカデミックな理論と実務的な経験とを融合して学ぶことができ、経営学への理解をより深めることにつながります。

3 地域との連携による実践的教育

福井の地域性を活かした地元企業や関連団体との連携により、多彩なゲストスピーカーをお招きする講義や、工場見学などのフィールドワークを積極的に実施。経営学の「生きた教科書」に触れて、感じて、楽しみながら学ぶことができます。

2 少人数での演習(ゼミ)が学びのメイン

少人数教育を掲げる本学の演習(ゼミ)では、教員1名が担当するのは一般的な基準よりも少ない13名以下のグループとなっており、教員やゼミのメンバーとの議論やグループワークが実施しやすい、双方向的な学修ができる体制になっています。

4 大学での学びが、社会で生きる力に変わる

経営学は実践的な学問分野ですから、大学の学びが社会に出てからも活かされる場面が多くあります。本学では、経済学・経営学の基礎理論を軸に、地域との連携でより実践的に学べるので、将来の進路選択の幅を広げることにつながります。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	経済学の基礎理論を学ぶ 経営学の基礎理論を必修として履修し、2年次からの専門的な学びに備えます。マクロ・ミクロ経済学など両学科に共通した科目も用意されており、学科の垣根を越えた学修ができます。	本格的に専門分野を学ぶ 本格的に経営学の専門科目を学びます。前期は「基礎ゼミ」、後期は「外書講読I」にて、少人数制を活かした丁寧な指導のもとで、3年次からの専門的な研究に必要な能力を高めます。	ゼミを中心に研究を深める 専門科目をより深く学ぶと共に、各教員の「演習I(ゼミ)」にて、文献講読やフィールドワークなどを通じ、専門分野に関する研究を掘り下げていきます。卒業研究の準備を行う期間です。	卒業研究・卒業論文 大学時代の総仕上げとしての学修と研究の大切な期間です。「演習II(ゼミ)」で、自ら研究テーマを設定して文献調査や実態調査などを実施し、卒業研究・卒業論文に取り組みます。
経営理論	経営学総論I・II 西洋経営史	経営戦略論I・II 人的資源管理論I・II 経営財務論、経営組織論I・II 流通論、マーケティング論 消費者行動論、日本経営史	生産管理論I・II 非営利組織論 産業デザイン	
企業・地域	企業論	中小企業論I・II 産業組織論、地域マネジメント論	地域経済論、国際経営論 欧米企業論	
情報・会計	統計学、簿記原理 簿記論I	情報管理論、簿記論II 原価計算論I・II、会計学I・II、 経営情報システム論	経営分析論 管理会計論 データ分析	
経済	マクロ経済学I・II ミクロ経済学I・II	財政学、金融論 国際経済学A		
法律		権利擁護を支える法制度 会社法、取引法	税法	
外書・演習		外書講読I、基礎ゼミ	外書講読II、演習I	演習II、卒業研究/研究論文
現代社会とその課題	特別企画講座A 経済学特講A	特別企画講座B・C・D 経済学特講B・C・D	特別企画講座E・F・G 経済学特講E・F・G	
その他の科目	キャリアデザイン概論I・II	福祉のまちづくり論 キャリアデザイン特論	社会的企業論	

Pick up

授業の紹介

企業の大きさ、その違いや特徴について
考えてみたことはありますか？

中小企業論II

山崎 淳 准教授

中小企業の中には、中小の規模を超えて、中堅企業、大企業へと成長を目指す企業がある一方で、規模の拡大はせず中小企業の規模で経営することを志向する経営者も少なくありません。それはなぜなのでしょう。教室での学びを終えたら実際に地域の中小企業経営者に質問してみましょう。新たな発見、多様な考え方に触れることができるでしょう。中小企業の理解を起点に企業、経営、さらに地域について理解を深めていきましょう。



財務データを用いて
企業を比較・分析

演習I(経営分析)

境 宏恵 准教授

ゼミ生は実際の業界や企業を選び、財務データを取得し、さまざまな比率や数値を求めて比較します。この結果には各社の強み弱みや経営戦略の違いが反映されており、新たな気づきを得られます。会計や財務の視点は過去の実績の評価だけではなく会社の将来を考えるうえで重要なので、将来仕事を行ううえで役立つスキルと判断能力を身につけることにつながります。





Students

Interview 在学生

**生きた経営学を学び、
地元企業や製造業へ貢献**

経済学部 経営学科
水江 康稀さん
福井県出身

高校時代の探究活動のテーマは「北陸新幹線による経済効果」。それを機に、地域経済活性化や福井をもっと知りたくって入学しました。地域の先には企業や経営者の存在があり、「ものづくり福井」を支える製造業にもつながります。ゼミでは「生産管理論」の一環として、大手メーカーや地元企業の工場見学に参加し、現場が授業内容と

つながることを実感した貴重な経験となりました。経営の実態に触れることで、経営状況や時流であるSDGsに関することを深く知ることができ、以降の研究に役立ちました。研究では先生から細かなところまでサポートがあります。さらに外部講師も多く、生きた経営学が学べることも当学科の大きな特徴であり自慢です。

Interview 卒業生

**多くの友人との交流や経験は
必ず仕事に活かされていく**

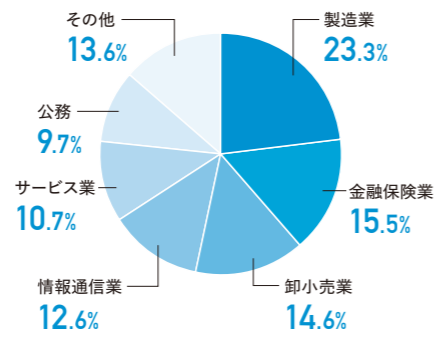
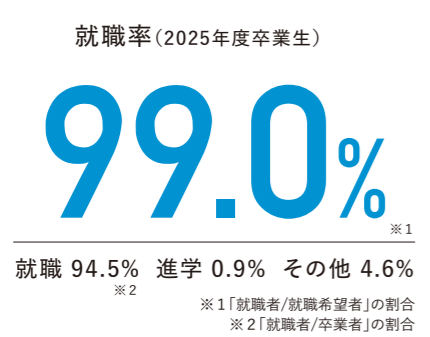
株式会社 松浦機械製作所 勤務
財部 和奏さん
経済学部 経営学科 2021年3月卒業 福井県出身

自分が携わった仕事が形(製品)になることに魅力を感じて就職を決めました。現在、組立本部全体の事務的サポート業務に従事しています。ゼロから大きな機械が組み立てられる工程を間近で見られるのは製造業ならではの、専門知識や仕事の幅が広がっていく楽しさがあります。大学時代で思い出深いのは、3人グループで苦労しながら

Graduates

ら研究を仕上げたことや、「校友会」として台風でスケジュール変更になっても成功させた学園祭です。皆で作上げる喜びや、物事を冷静かつ俯瞰して考え、実行したことは、今の仕事にも役立っています。大学生活は県内外多くの友人と交流でき、いろいろな経験もできる貴重な機会。その経験は必ず仕事にも活かされるはずですよ。

Career 卒業後の進路



- キャリア展望
- 民間企業
総務・人事・営業・製造・広告などの総合職
海外法人などの管理者
 - 銀行・証券・保険会社などの金融機関
 - 起業家(アントレプレナー)
 - 税理士・公認会計士・中小企業診断士・経営コンサルタント
 - 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
 - NPO、NGO、商工会議所、農協、生協、大学法人職員
 - 国家公務員(財務専門官・国税専門官含む)
 - 県や市町村の地方公務員
 - 高等学校教員(公民・商業)

- 卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)
- [製造業]** 福井村田製作所、セーレン、前田工織、アイシン福井、フクビ化学工業、サカイオーベックス、松浦機械製作所、福井鋸螺、日東シンコー、サカイエルコム、日本エー・エム・シー、三協立山、シンフォニアテクノロジー など
 - [卸小売業]** クスリのアオキ、ゲンキー、福井トヨタ、山崎金属、興和江守、白崎コーポレーション、ユニフォームネクスト など
 - [金融保険業]** 福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行、福井県信用保証協会、三井住友信託銀行、八十二銀行、アクサ損害保険福井センター、越前信用金庫 など
 - [情報通信業]** 福井新聞社、福井コンピュータホールディングス、三谷コンピュータ、ALL CONNECT、アートテクノロジー、永和システムマネジメント、天晴データネット、ビジュアルソフト など
 - [サービス業]** 税理士法人合同経営会計事務所、税理士法人上坂会計 など
 - [公務]** 福井県庁、福井県警察本部、北陸財務局、金沢国税局、富山県庁、石川県庁、福井市役所、鯖江市役所、坂井市役所、永平寺町役場、金沢市役所 など
 - [進学]** 福井県立大学大学院 など

- 取得可能な資格
- 高等学校教諭一種免許状(公民/商業)
※教職課程の単位修得が必要。

生物資源学部

Faculty of Bioscience and Biotechnology

生物の可能性を究め

未来の資源を創造する人材を育成

生物資源学部では、植物、動物、微生物といった「生物」を学び、それらを「資源」として利用し、社会に役立て、持続可能な社会の創生に貢献できる能力を養います。本学部は、「生物資源学科」と「創造農学科」の2学科からなります。生物資源学科では、生物資源学の「基礎から応用へ」を目指し、生物学・化学を基礎として食品や医薬品の開発、環境保全への貢献、新たな生物資源創出にかかわる最先端研究を展開します。創造農学科では「社会実装」をスローガンに、新品種や農業技術、食品の加工や製造、地域農政にかかわる教育・研究を通じて、食・農・環境の未来を担う人材を養成します。

どちらの学科も、高度で広い領域の研究・教育を通じて、生物資源にかかわる幅広い知識と技能を習得することができ、広い視野と豊かな創造性、実践力を身につけることができます。



学部紹介
ページはこちら



生物資源学科



創造農学科



Point 学部の特長

1 福井県全体を キャンパスとして活用

生物資源学科は歴史と文化が薫る知の拠点「永平寺キャンパス」、創造農学科は自然豊かな環境の「あわらキャンパス」にあります。また、福井県全体を学びのフィールドとし、県内各地で実習を行います。

2 「基礎から応用へ」 生物資源学科

動植物、微生物にかかわる自然科学を幅広く学び、食や生命、環境に配慮したもののづくりに活躍できる人材を育成します。研究設備が充実しているため、十分に研究に打ち込むことができます。

3 「社会実装を目指す」 創造農学科

福井県の豊かな自然をフィールドとし、100人を超える専門家(特任講師)から学び、新品種育成や商品開発などの社会実装、地域課題の解決など、社会に貢献できる人材を育成します。

教員・専門分野一覧

生物資源学科

深尾 武司 学部長・教授	植物分子生理学、気候変動に強いイネの開発
西原 昌宏 学科長・教授	植物分子生物学、代謝工学、花き、植物バイオテクノロジー
石川 敦司 教授	植物分子生物学、植物保護科学
伊藤 崇志 教授	食品化学、動物生理学、薬理学、福井農産物の健康効果
伊藤 貴文 教授	酵素化学、糖質系バイオマスの利用
風間 裕介 教授	ゲノム生物学、遺伝学、性染色体、重イオンビーム
片野 肇 教授	物質化学、生体関連物質の定量・性能評価法、精製技術
塩野 克宏 教授	植物生理学、植物分子遺伝学、根圏環境、植物-土壌相互作用
仲下 英雄 教授	植物保護科学、植物免疫、農薬、バイオスティミュラント
濱野 吉十 教授	応用微生物学・天然物化学、バイオ医薬品、次世代バイオ素材
日井 隆雄 教授	構造生化学、タンパク質工学
池田 美穂 准教授	植物発生生理学、組織培養、植物の形態形成、文化財原料植物
植松 宏平 准教授	分析化学、電気化学、液-液界面、フルオロラソ液媒
篠原 秀文 准教授	植物生化学、細胞間シグナル、ペプチドホルモン、コケ植物、進化
角田 智詞 准教授	植物生態学、植物と植食者の相互作用、土壌動物の生態系機能
西嶋 遼 准教授	植物遺伝学、情報生物学、ムギ属植物

長谷部 文人 准教授	応用微生物学・合成生物学、アミノ酸代謝、分子化学計算
松井 孝憲 准教授	食品機能学、農産物由来成分の抗加齢効果
丸山 千登勢 准教授	応用微生物学・天然物化学、生合成リデザイン、抗生物質
向山 厚 准教授	タンパク質科学、生物物理学、時間生物学、生物時計

創造農学科

木元 久 学科長・教授	応用微生物学、分子生物学
倉田 源一郎 教授	地域農政学
三浦 孝太郎 教授	植物分子育種学、植物分子生物学
森中 洋一 教授	蔬菜園芸学、植物育種学
加藤 久晴 准教授	植物病理学、植物分子生物学
黒川 洋一 准教授	食品機能分子学、生化学、蛋白質科学
篠山 治恵 准教授	花卉園芸学、植物育種学
高橋 正和 准教授	食品機能科学、食品化学
林 潤 准教授	植物分子生理学、植物分子細胞生物学
松本 大生 准教授	果樹園芸学
安井 康夫 准教授	植物遺伝育種学、栽培植物起原学
牧野 奏佳香 助教	森林科学、窒素循環、植生管理学

生物資源学科

Department of Bioscience and Biotechnology

「食」「生命」「環境」の基礎研究 ×
地域や企業と連携した応用研究

生物学や化学を基礎として、微生物・動物・植物の「生物資源」を網羅した研究・教育を行います。農業、食品、医薬、化学、環境分野の世界をリードする基礎研究から、それらの成果を活用し、福井の活性化を目指した地

域連携研究まで多種多様な研究を展開。学生は広い知識と実技を習得して生物資源学の面白さを学び、卒業研究では多様な研究領域から自分に合った研究室で研究を進め、専門的な技能・知識を深く体得できます。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 少人数教育による研究指導

教員1人あたりの学生数が2.5名の少人数教育により、密度の高い研究指導を受けることができます。「応用生化学」「分子機能科学」「分子生物学」「植物資源学」と幅広い領域から、各自の興味に合ったテーマで卒業研究に取り組みます。

3 研究成果の発信を通じた広くて深い学び

研究して得た成果は、国内外の学会や学術誌を通じて世界中に広く発信します。学生による学会発表では、優秀発表賞を受賞することも少なくありません。このような機会と経験は、大学での研究生活をより充実させるものとなります。

2 充実した実験装置と研究設備

質量分析装置や共焦点レーザー顕微鏡、遺伝子分析装置など充実した実験装置と、圃場や大量培養施設、実験動物施設などの研究設備が整い、これらを活用して先端研究に取り組みます。また、産学連携拠点を整え、企業との共同研究にも取り組んでいます。

4 実社会での研究開発を学ぶ

民間企業や公的機関の研究開発担当者を特任講師として招き、実社会で行われる研究開発を学びます。また企業や研究所の訪問では、現場での製造や生産を深く知ることができます。これらは大学での学びを深化させ、将来の進路選択に役立ちます。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	一般教養と生物学・化学の基礎を修得 一般教育科目では幅広い一般教養を学びます。専門科目では生物学・化学の基礎的な講義や実験を履修し、生物学と化学の基礎原理をしっかりと理解します。	専門科目・実験・実習で応用力を養成 応用的な専門講義と、生物化学実験、応用生物学実験の2つの実験から応用力を養います。企業や公的機関を見学する地域生物生産実習では、実社会について学びます。	充実の専門科目・実験で応用力強化、卒業研究への導入 より専門的な講義と実験・実習から応用力を熟成。専門科目はほとんどが選択制で、充実した科目数から興味に合うものを選択して受講できます。後期は研究室に配属し生物資源学実験を進めます。インターンシップなどの実社会での授業で社会との接点も学びます。	4年間の総仕上げ卒業研究 大学での学びの総仕上げとして卒業研究に取り組みます。研究室に所属し、自ら研究課題(研究テーマ)を設定して研究に取り組み、卒業論文を作成します。
生物学の基礎と応用	生物学Ⅰ・Ⅱ	遺伝学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ・Ⅱ 植物生理学Ⅰ、動物生理学 分子生物学Ⅰ・Ⅱ	育種学Ⅰ・Ⅱ、植物栄養学 分子生物学Ⅲ、植物病理学 植物生理学Ⅱ、生物有機化学 動物資源学、細胞免疫学 施設園芸学、果樹園芸学	
化学の基礎と応用	化学Ⅰ・Ⅱ	分析化学、有機化学 微生物学、応用微生物学Ⅰ 食品化学、食品衛生学	生物物理化学Ⅰ・Ⅱ、生物物質化学 生体高分子化学、応用微生物学Ⅱ 農産物利用学、栄養化学、農薬化学	
生物資源学の基礎と応用	統計学基礎 数学基礎 生物資源学概論Ⅰ 地学概論	環境生物学、応用気象学 土壌学、生態学Ⅰ、地圏環境学 生物資源学概論Ⅱ 地域生物生産実習	森林生理・生態学、生態学Ⅱ 農業経営論、技術者倫理、作物学 ゲノム生物学、情報生物学 応用昆虫学	
問題解決能力	生物学実験 化学実験 地域連携実習Ⅰ・Ⅱ	応用生物学実験 生物化学実験 英語発展Ⅰ・Ⅱ リサーチクレジットⅠ・Ⅱ	生物物理化学実験、生物活性分子化学実験 植物分子生物学実験、植物資源学実験 生物資源学特論Ⅰ・Ⅱ リサーチクレジットⅢ 科学英語、技術者と企業Ⅰ・Ⅱ 専門基礎研究	専攻演習、卒業論文

Pick up

研究の紹介

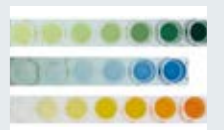
タンパク質科学分野

日井 隆雄 教授 伊藤 貴文 教授 向山 厚 准教授
食品・医療・化粧品分野で利用される酵素タンパク質の構造や機能について研究しています。



生物分析化学分野

片野 肇 教授 植松 宏平 准教授
医薬品・化学品や環境・健康の指標となる分子・イオンの分析法を作っています。



食品機能科学分野

伊藤 崇志 教授 松井 孝憲 准教授
福井県特産農海産物が持っている未知の健康増進効果や疾患予防効果を研究しています。



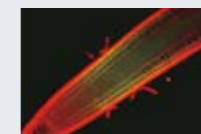
応用微生物学分野

濱野 吉十 教授 長谷部 文人 准教授 丸山 千登勢 准教授
微生物に由来する多様な代謝や酵素、生成物をものづくりへと応用する研究をしています。



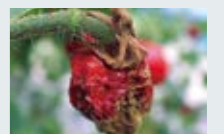
植物分子機能学分野

西原 昌宏 教授 篠原 秀文 准教授
多彩な植物の機能や未知な遺伝子の働きを解明し、応用につなげる研究をしています。



植物病理学分野

仲下 英雄 教授 石川 敦司 教授
作物を病気から守るため、植物と病原菌・共生菌の相互作用や免疫機能を解明しています。



植物遺伝資源学分野

風間 裕介 教授 池田 美穂 准教授 西嶋 遼 准教授
多種多様な遺伝資源を用いた有用遺伝子の同定や品種改良新技術の開発をしています。



環境植物学分野

深尾 武司 教授 塩野 克宏 教授 角田 智詞 准教授
気候変動に負けない持続的な作物生産のため、植物と環境の相互作用を研究しています。



授業の紹介



卒論研究の開始前でも最先端の研究を体験できる！

リサーチクレジット(地域連携演習Ⅰ・Ⅱ、リサーチクレジットⅠ・Ⅱ、生物資源学特論Ⅰ) 深尾 武司 教授

米国の大学では1年生のうちから研究員の一人となり、最先端の研究を体験できる「リサーチクレジット」と呼ばれる制度があります。生物資源学科では、2023年度より選択科目として、米国式「リサーチクレジット」を導入し、各研究室において研究・開発における考え方や実践的手法をマンツーマンで指導しています。従来の実験系科目が、実験手法や解析技術の習得に主眼を置いているのに対し、リサーチクレジットでは、科学では解明されていない未知の課題に挑み、その答えを導き出す活動を通じて、論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力などの汎用スキルを向上させることを目的としています。



Interview 在学生

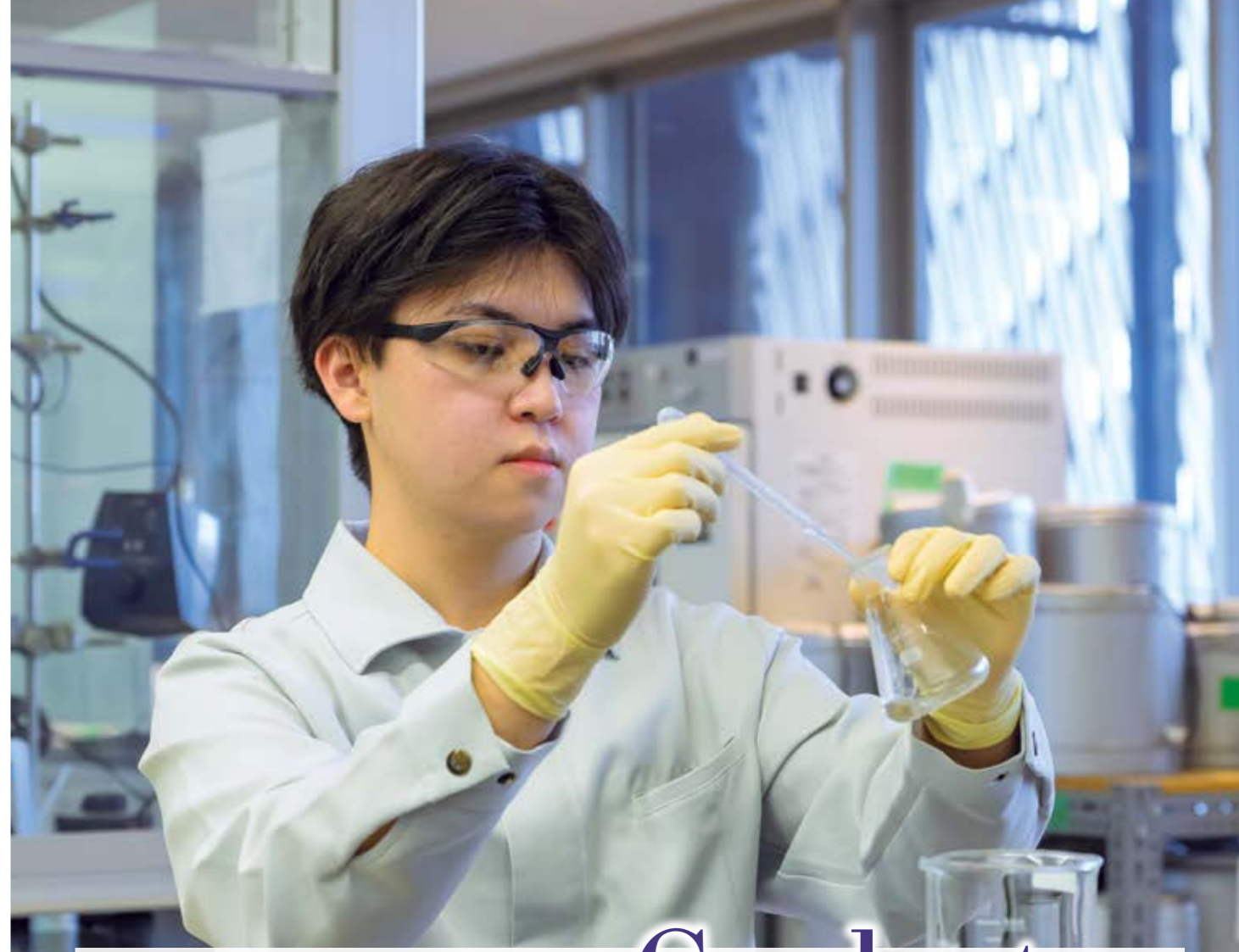
Students

リサーチクレジットで
研究意欲がもっと向上する

生物資源学部 生物資源学科
吉岡 空さん
福井県出身

薬学関連に興味があり県大のオープンキャンパスへ。雰囲気はもちろん、先生の話が面白く生物資源学科を選択しました。「リサーチクレジット」では2年次から実験や研究に参加。大腸菌などの微生物に興味が広がり、今後の研究への意欲がさらに高まっています。
県大は世界的に活躍する先生も数多く、最新設備も

揃っていて意欲的に学ぶ仲間もたくさんいます。だからこそやりたいことがどんどん増え、今はいろいろなことに積極的に挑戦しています。例えば、世界のいろいろな情報や知識を収集したり、留学相談もできる「World Café」(永平寺キャンパス)はお気に入りの場所。在学中に英語の学びも頑張っ、留学を経験するつもりです。



Interview 卒業生

Graduates

4年間の学びや視点、考え方が
開発業務を支えるスキルに

日華化学株式会社 勤務
泉田 圭亮さん
生物資源学部 生物資源学科 2024年3月卒業 福井県出身

現在取り組むプラスチックリサイクル向けの洗浄剤の開発業務では、実験とトライ&エラーの繰り返しの中で、課題に対して理論から仮説を立てて検証を行っています。時には理論と現実の差に悩むこともありますが、そこから新しいアプローチの発見もあり、課題を乗り越えていく過程そのものが、この仕事の魅力だと実感しています。大学での

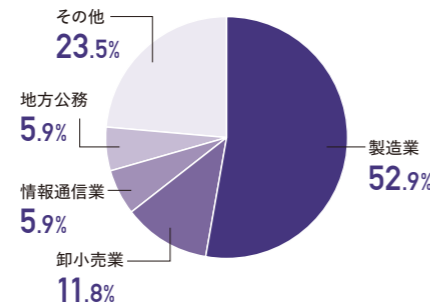
学びは分野こそ異なりますが、生化学の知識が商品の特性を考えるヒントになったり、環境負荷の軽減や持続可能性といった視点は現在の業務に役立っています。また、大学の実験で身につけた課題解決のプロセスや理論的思考力、さまざまな物事に対する好奇心は、働く今の私の根幹を支える重要なスキルになっています。

Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

就職 77.3% 進学 20.5% その他 2.3%



キャリア展望

- 民間企業 (食品・製薬・化学・種苗などの研究開発職・総合職)
- 環境コンサルタント
- 国家公務員(植物防疫官を含む技術系職員)
- 地方公務員(農業・環境・食品関連の技術職)
- 大学院進学

卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)

- [福井県内]** 福井村田製作所、セーレン、日華化学、前田工織、サカイオーベックス、ふじや食品、田中化学研究所、日東シンコー、勝山ファーマ、福井県環境保全協業組合、福井県民生活協同組合、福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部 など
- [福井県外]** ニプロファーマ、タカラバイオ、生見栄養薬品、フジパングループ、エースコック、京セラ、富士通Japan、スターバックスコーヒージャパン、滋賀県庁 など
- [進学]** 福井県立大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、神戸大学大学院、東京科学大学大学院、北海道大学大学院、金沢大学大学院、岡山大学大学院 など
- [大学院修了者]** セーレン、フクビ化学工業、日信化学工業、Mizkan、大塚食品、天野エンザイム、日本食品分析センター、日本メナード化粧品、福井県庁、三重県庁 など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科)
※教職課程の単位修得が必要。
- 修習技術者
※JABEE(日本技術者教育認定機構)認定校であり、プログラム修了により取得できる。
- 資格要件が得られるもの ※所定の単位修得が必要。
 - 自然再生士補
 - 危険物取扱者甲種
 - 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※採用者等が資格の有無を判断するため、就職後採用者等に確認すること。

創造農学科

Department of Sustainable Agriculture

多彩な専門家による実習を中心に 活きた「農学」を五感で学ぶ

創造農学科で学ぶ領域は、「食と農業」を中心とする環境・文化・生活といった社会全般です。1年生の専門科目では、専任教員に加え、100名を超える各方面の専門家(特任講師)による実習が中心となります。

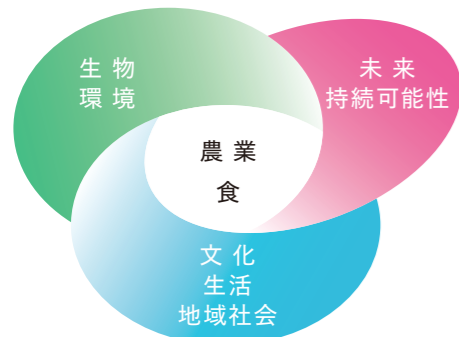
「食・農業・環境・文化・生活」を現場で聞いて、見て、体験し、考えて、話し合う実習と講義。多様な専門家の生き方から学び、興味を持った分野の理解を深め、社会の中で自分がどう活躍できるかを本学科で見つけましょう!



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長



- 1 農学の知識と技術を幅広く実践的に学ぶ**
実体験を重視したカリキュラムにより、将来さまざまな分野で活躍するうえで欠かせない幅広い知識と技術を身につけることができます。
- 2 自ら考えて課題を解決する能力を養う**
実習や研修で実体験をすると、さまざまな疑問や課題が生まれます。それらを自ら考えて課題を解決するノウハウを身につけることができます。
- 3 コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う**
実習や研修では、さまざまな人と話し、考えることが必要となるためコミュニケーション能力が身につく、課題解決の提案や報告ではプレゼンテーション能力が身につきます。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	食・農業・環境の全てを体験! 福井県全てをキャンパスにした体験を通し、疑問を調べたり、仲間と話し合いながら身につけた学びは一生の財産です。自分の畑で好きな農産物を生産し、加工や販売も行います。	実践と理論を通じて「面白い!」を発見 興味を持った専門科目を学び始めます。食と農業を中心に、環境、文化、社会とのつながりを体感し、論理的に考えて人に伝える力、仲間と共に行動する力を養います。	「面白い!」を深め自分の生きる道を考える 自分が興味のある分野を、専門の実験や講義でより深く学びます。教員や地域のプロフェッショナルとのさまざまな活動を通じて感動を共有する中で、将来生きる道を模索します。	好きな場所で好きな学びを深化 教員や地域のプロフェッショナルのもとで卒業研究に取り組みます。実社会の課題解決に取り組む研究の中で、自分がどう生きて行くかを見定めます。
専門科目	食農環境・文化概論、総合農学食農環境実習Ⅰ、食農環境演習Ⅰ、実践農業英語	食農環境実習Ⅱ、食農環境演習Ⅱ	食品加工実習、育種学実験Ⅰ・Ⅱ、野菜園芸学実験、花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、微生物利用学実験、植物保護学実験、地域農政学実験	専攻演習、卒業論文
集中講義	先端農業技術活用論、総合的的生物多様性管理論、地域農政論、地域森林利用論、農業市場論、農業経営論、野菜園芸学、花卉園芸学、果樹園芸学、植生管理学、微生物利用学、育種学Ⅰ・Ⅱ			
学部共通科目	農業インターンシップⅠ・Ⅱ、施設園芸学、作物学、農業戦略論 ほか			
	農産物利用学、食品化学、食品衛生学、植物病理学、農薬化学、動物資源学、応用気象学、土壌学、生態学Ⅰ・Ⅱ ほか			

Pick up

研究の紹介

食品 植物分子育種学

三浦 孝太郎 教授

イネの品質や収量に関する遺伝子の基礎的研究と、突然変異を利用した品種育成に取り組み、米粒が大きい「ピカソンタ」や、大粒でモチモチ食感の「ふくむすめ」を開発しました。



食品 食品機能利用学

高橋 正和 准教授

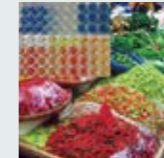
農産物食品に関する健康増進機能の基礎的解析と、機能成分を活用した食品を開発。県内企業と連携し、県産米や大豆が原料のグルテンフリーパンや植物性代替肉の開発に成功しています。



食品 食品機能分子学

黒川 洋一 准教授

農産物など由来の成分を対象として、機能性食品や医薬としての応用を目指しています。慢性炎症等「酸化ストレス関連疾患」などの発症モデルへの効果を検証します。



食品 植物育種学

安井 康夫 准教授

ソバやキヌアなど地域に重要な作物の遺伝資源を調査し、ゲノム解読を利用した品種育成に取り組んでいます。世界で初めてモチ形質を持つソバを開発しました。



農業 地域農政学

倉田 源一郎 教授

若者に注目されるリーディングファーム育成につながる商品やサービス開発、地域資源活用による農村コミュニティの活性化など福井の農業・農村が元気になる研究を進めています。



農業 野菜園芸学

森中 洋一 教授

野菜の特性評価や栽培に関する研究。福井県内での生産に適した品種選定や作型開発、水稲育苗ハウスの遊休期間の利活用を想定した無加温ハウスでの野菜栽培について研究しています。



農業 花卉園芸学

篠山 治恵 准教授

主に花を材料とした、育種技術について研究。現在は、生活に彩りや癒しを与える花や薬用成分を増加させた植物など、暮らしに役立つことを目指した植物の開発を行っています。



農業 果樹園芸学

松本 大生 准教授

温帯果樹の生理と栽培に関する研究を行っています。特に、アウトウやアケビの自家不和合性現象(雄しべが自分の花粉を拒絶する仕組み)と受粉管理方法について研究しています。



環境 微生物利用学

木元 久 教授

自然界から新種の微生物を分離して産業利用したり、カニ殻などの生物資源の有効利用について研究。微生物排水処理剤や機能性食品、研究用の細菌毒素の商品化に成功しました。



環境 植物環境病理学

加藤 久晴 准教授

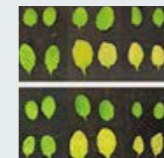
植物病原細菌は宿主植物に由来するさまざまな因子を感知して感染し、発病させます。この機構を解析することにより、新たな病害防除法の開発に寄与したいと考えています。



環境 植物分子生理学

林 潤 准教授

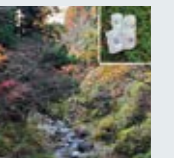
植物の老化や細胞死に関する遺伝子の研究を行っています。気候変動による環境ストレスに耐性のある植物の開発や長期間品質保持可能な農作物の開発に取り組みます。



環境 森林科学

牧野 奏佳香 助教

森林には生物多様性保全などさまざまな機能があるため、森林を保持・保全したく、森林の成長に重要な窒素の過不足やその原因の調査、森林資源の活用方法の探索などを行っています。





Interview 在学生

4年間で自分の世界を広げ
社会に大きく羽ばたきたい

Students

生物資源学部 創造農学科
前田 凛さん
福井県出身

農業や食物、いのちのことを学びたくて県大を選びました。農家だけでなく、工芸や眼鏡など“農とつながる文化”を学ぶフィールドワークが多いのが特徴で、幅広く知識を吸収しています。今は花への関心が高まり、葉の変色を防ぐ研究をしています。研究期間が長く、花は一斉に開花するので調査が追いつかないなど苦労もありますが、生産者

のロスを防ぐ一助になるはずと頑張っています。研究の成果といえば、県大育成品種の菊「エンジェルウィング」は当学科から生まれた自慢の花です。

大学では多くの人やコト、モノと出会い、自分の世界が広がるのを実感しています。4年間はあっという間なので、残りの県大生活でもやりたいことに精一杯挑戦します。



Interview 卒業生

大学で得た知識と経験で
若手新規就農者を支えていく

Graduates

福井県嶺南振興局 二州農林部 勤務
石川 陸哉さん
生物資源学部 創造農学科 2025年3月卒業 福井県出身

農業に興味があり、新設された創造農学科を選びました。在学中は座学に加えて、多くの実習のほか生産者の声を聞く機会、外部講師による授業、そば打ちや精進料理など幅広い学びがありました。福井県で山田錦(酒米)をもっと栽培しようと研究を深めたことも良い経験です。

この経験は、現在の新規就農支援業務に大いに役立つ

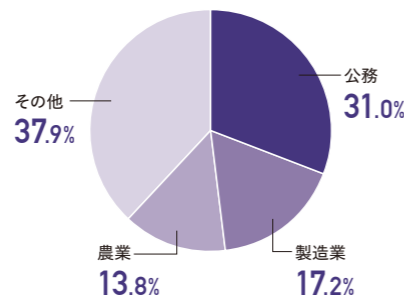
ています。例えば、農業の規模感や就農後の課題、就農者の気持ちなどは、在学中に多くの現場を見聞きしたからこそ想定できることも多く、就農希望者に親身に寄り添うことができているという自負があります。新規就農者の多くは若手です。支援業務を通じて福井の農業が未来へ継続されていくことが、仕事のやりがいになっています。

Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

就職 93.5% 進学 3.2% その他 3.2%



キャリア展望

- 農業(個人・法人)
- 農業関連企業(機械・施設・資材開発・施設園芸)、農業協同組合
- 食品関連企業(研究開発・品質管理・製造業務・販売促進)
- 環境関連企業(研究開発・調査・分析)
- 国家公務員(植物防疫)、地方公務員(行政・農学・林学)
- 高等学校教員(農業)
- 大学院進学

卒業生の主な就職先・進学先(過去3年間) ※2023年度~2025年度卒業生

[福井県内] 福井村田製作所、ふじや食品、AGC若狭化学、興和江守、サンワコン、白崎コーポレーション、三谷コンピュータ、ユニフォームネクスト、起業、福井県庁、福井県警察本部、福井県教育委員会 など

[福井県外] 島津製作所、キオクシアエンジニアリング、スジャータめいらくグループ、スギヨ、ユニバーサル園芸社、菱機工業、小西安農業資材、富美菊酒造、岡山県農業開発研究所、農林水産省植物防疫所、愛知県庁 など

[進学] 福井県立大学大学院、静岡大学大学院

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(農業)
※教職課程の単位修得が必要。

資格要件が得られるもの

- 食の6次産業化プロデューサー
※所定の単位修得が必要。

海洋生物資源学部

Faculty of Marine Science and Technology

海洋生物資源に関する基礎的知見の集積と 成果の社会実装を目指す

海洋生物資源学部は、「海洋生物資源学科」と「先端増養殖科学科」の2学科で構成されています。海洋生物資源学科は、水圏生物・環境・食と健康の3領域で構成され、海洋に関する総合的な学びを提供しています。水圏の生物やその生息環境、さらには水産資源の利用や健康機能に関する研究・教育を通じて、海洋環境や海洋生物資源に関するさまざまな問題に関心を持ち、科学・技術でその解決に貢献できる人材を育成します。先端増養殖科学科では、水圏生物の生命、環境、情報・社会科学の基礎研究を基盤として、水産増養殖に関わる「飼料・育成・育種・病気・流通・情報」など多様な分野を学びます。さらに、若狭湾や海外の養殖施設における実習で実践力を養い、多様な専門性を活かして、研究職・技術職、公務員、企業で活躍しながら持続可能な水産・環境・食の未来を担う人材を育成します。



学部紹介
ページはこちら

海洋生物資源学科



先端増養殖科学科



Point 学部の特長

1 日本海側唯一の水産・海洋系学部

海洋生物資源学部は福井県小浜市にあり、小浜キャンパスとかつみキャンパスを拠点とする日本海側唯一の水産・海洋系学部です。海はもちろん、湖沼や河川などフィールドワークに適した豊かな自然に囲まれています。

2 地域に根差した実践的な教育

教員陣によるきめ細かな学びに加え、さまざまなキャリアを持つ地域の方々から直接ご指導いただくなど、実践性の高い教育を行っています。これらにより地域・社会に貢献できる、行動力あふれる人材を輩出しています。

3 基礎から応用まで幅広い研究を網羅

海洋生物資源の持続的な利用を目的に、最新鋭の設備・機器を駆使して基礎から応用に至る幅広い分野の研究に取り組んでいます。公的機関や企業との共同研究を活発に実施し、その成果は地域・社会の発展に役立てられています。

教員・専門分野一覧

海洋生物資源学科

水田 尚志 学部長・教授	食品化学、水産化学
吉川 伸哉 学科長・教授	藻類生理
片岡 剛文 教授	微生物生態学
兼田 淳史 教授	沿岸海洋学、水産海洋学
近藤 竜二 教授	微生物生態学
佐藤 晋也 教授	藻類学、系統分類学、細胞学
小路 淳 教授	水産資源学、海洋生態学
杉本 亮 教授	生物地球化学、海洋生物環境学
松川 雅仁 教授	魚肉タンパク質の利用を中心とした水産加工学
山本 昌幸 教授	水産資源学、資源生態学
横山 芳博 教授	水産化学、食品化学、海洋分子生物学
井桁 庸介 准教授	水産海洋学、海洋物理学
今道 力敬 准教授	内分泌学、食品機能学
下畑 隆明 准教授	細菌学、食品微生物学
高尾 祥文 准教授	水圏微生物学、海洋ウイルス学
細井 公富 准教授	水産化学

先端増養殖科学科

松林 順 准教授	同位体生態学
矢部 いつか 助教	海洋物理学
山田 和正 助教	藻類生理生態学、細胞形態学
末武 弘章 学科長・教授	魚類生理学
奥澤 公一 特命教授	魚類育種学
佐藤 秀一 特命教授	水族栄養学、養魚飼料開発
田原 大輔 教授	魚類生理生態学、水産増養殖学
濱口 昌巳 教授	海洋生物生態学、海藻・海藻類のブルーカーボン機能評価
村下 幸司 教授	魚類栄養生理学
吉浦 康寿 教授	水族発生工学、魚類生理学
瀧澤 文雄 准教授	水族病理学、魚類免疫学
渡慶次 力 准教授	水産情報学、水産海洋学
西辻 光希 准教授	海藻ゲノム科学、バイオインフォマティクス、環境DNA
東村 玲子 准教授	漁業経済学(漁業管理:TACと子別割当、ズワイガニの「世界市場」の分析:国内外)
八杉 公基 准教授	動物生態学、行動学、情報光学

海洋生物資源学科

Department of Marine Science and Technology

水圏の未知なる領域、豊かさを科学的に研究 生物、環境、食と健康！ 多彩な研究領域を網羅

水圏は多くの生物が生きる場であり、人々の食生活、文化や交流を支える重要な場でもあります。

本学科は海、川、湖、湧水といった水圏について「生物」や「環境」「食・健康」といった研究領域から多角的に

学び、基礎研究から応用・実用研究まで数多くのプロジェクトを推進しています。

水圏について学ぶにふさわしい環境で、海洋生物資源の持続可能な利用について共に学び、研究しましょう。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 海、川、湖沼、湧水についてさまざまな視点で学ぶ
地球は「水の惑星」と呼ばれています。本学科では、海洋、河川、湖沼、湧水など水圏全体を研究対象とし、特定の水域を深く調査する研究に加え、広い範囲の水や物質の循環・輸送に焦点をあてた研究も進めています。

3 これからの水圏と社会の関わりについて学ぶ
小浜キャンパスの近くには若狭湾、三方五湖、河川や湧水といった豊かな自然があり、小浜は古くから京都の「食」文化を支えてきた鯖街道の起点の地でもあります。フィールドワークや民間企業への訪問などを通じた社会での学びも重要視しています。

2 水圏の生物、食と健康、環境について高度な専門的知識を学ぶ
本学科は水圏の「生物を知る領域」「生物を育む環境を知る領域」「食と健康を知る領域」から構成されています。水圏の生物やその生息環境、さらには水産資源の利用や健康機能に関する高度な専門的知識を学ぶことができます。

4 水圏に興味を持つ学生が集い、気づき合いながら学ぶ
水圏について幅広く学べる学科は全国的に見ても限られており、本学科には各地から水圏に興味を持つ仲間が集います。新たな出会いと多面的な学問領域の学びを通じて学生は成長しながら、現代の水圏が抱える諸問題の解決に向けて取り組みます。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
		自然科学の基礎を学ぶ	海洋生物資源の基礎を学ぶ	専門分野の応用力を身につける	教育・学修の総仕上げ
専門基礎科目 必修		化学Ⅰ 物理学Ⅰ 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 数学基礎 海洋生物資源学フィールド演習Ⅰ	化学Ⅱ、生化学 分子生物学、藻類学概論 大気・海洋学概論 魚類学、水産資源利用学 微生物学概論 海洋化学 生物学基礎実験 化学基礎実験 科学者および技術者の倫理 生物学応用実験 化学応用実験	地域環境実習 基礎演習	専攻演習 卒業論文
選択必修	水圏生物の生命現象の解明		動物生態学 水圏微生物生態学 藻類生理学	進化系統学 浮遊生物学 増養殖統計学Ⅰ 生態ゲノム科学・遺伝学	
	水圏環境の保全と修復		海洋物理学、沿岸海洋学 水産資源学 海洋環境情報学	水圏環境科学 海洋環境動態学 地球環境学	
	水圏生物資源の有効利用		食品化学 食品安全管理論	酵素利用学 食品工学、食品安全学 食品栄養学、食品微生物学	
選択	海洋生物資源に関わる幅広い視野の涵養	地学概論	海洋生物資源学フィールド演習Ⅱ 生命情報科学 小浜の食文化と歴史 海洋生物資源学特別講義Ⅰ	漁業制度論 データサイエンス演習 科学英語 水族発生工学 増養殖統計学Ⅱ 水族病理学 水産経済学	

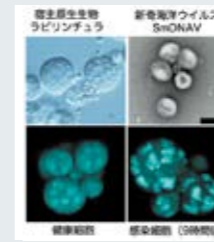
Pick up

研究の紹介

水圏微生物生態学研究室

近藤 竜二 教授 片岡 剛文 教授
高尾 祥文 准教授

海洋・湖沼・河川をフィールドにして、微生物の群集形成・細胞生理・生物間相互作用の仕組みを明らかにする研究を行っています。微生物を単離し培養や遺伝子分析を用いて、水圏生態系での物質循環を担う微生物の生態解明を目指しています。



海洋環境動態学研究室

兼田 淳史 教授 井桁 庸介 准教授
矢部 いつか 助教

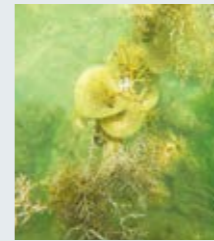
若狭湾などの沿岸域から日本海、太平洋などの外洋域までの流れや波、水質などの海洋環境を現場観測・水槽実験・数値シミュレーションなどさまざまな手法を用いて調べ、流れの発生機構や海洋環境の変動、海洋環境と生物の関係について研究しています。



藻類生命科学研究室

吉川 伸哉 教授 佐藤 晋也 教授
山田 和正 助教

生産者として水圏の生態系を支えている藻類を対象に、進化、形態形成、環境応答、藻類が作る物質の有効利用の研究をしています。藻類の特性を理解するための知見を積み上げると共に、資源としての藻類の利用に貢献できるように努めています。



水圏資源生態学研究室

杉本 亮 教授 小路 淳 教授
山本 昌幸 教授 松林 順 准教授

水産資源の変動機構の解明とその持続的利用に不可欠な生態系の構造と機能の理解を目的として、水圏生態系の物質循環や生物生産、水圏動物の生態や生物多様性に関する基礎的・応用的研究を行っています。



水産資源化学研究室

横山 芳博 教授 水田 尚志 教授
細井 公富 准教授

海洋生物資源に含まれる各種有用成分の探索とその構造・機能解明に関する研究や、養殖魚の鮮度維持や飼料改良による品質向上に関する研究を行っています。海洋生物資源を食料はもとより、化粧品や医薬品など生活関連素材として有効活用することを目指します。



食資源利用学研究室

松川 雅仁 教授 今道 力敬 准教授
下畑 隆明 准教授

食料資源として水産物を持続的に有効利用するために、魚肉タンパク質の品質制御や加工技術の基盤となる研究、水圏由来の有害微生物の制御を通じた食の安全と安心に資する研究および健康機能有用成分の探索に関する研究を進めています。



Students



Interview 在学生

疑問を解決、関心を高める
多分野の授業が面白い!

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科
木村 芽唯さん
京都府出身

ヒトとは違う生物、中でも水中生物のことを知りたくて当学科を選びました。「どのように違うのか? 一見、違うものでも共通点があるのかも?」との疑問の先にあるのは、多分野の授業です。海洋生物だけでなく環境や食品のことも学べ、私たちの暮らしや進路に役立つ知識や情報がたくさんあります。「地域活性化演習」でも、県大ならではの地域資源を活かした水産業などのフィールドワークがあり、「もっと知りたい!」と知識欲や好奇心が向上し続けています。

Teachers



Interview 教員

「おいしい」「不思議だ」の
興味関心が研究の原動力になる

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科
今道 力敬 准教授

海の恵みである水産物を用いて、人の「健康」を科学しています。「おいしい食」と「健康な生活」を結び付け、魚や海藻に秘められた未知の機能を探し出す研究を行っています。大切にすることは、データ解析のみならず、実際に海や市場といった現場へ足を運び、自らの目で実態を捉えること。現場での発見を知識と結び付け、生きた知恵として活用していく。その経験の積み重ねが、物事を広い視野で捉える「考える力」を育てます。「水産資源と食」の実践力を一緒に養いましょう。

Interview 卒業生

「食の安全」の意識が培われた
大学での学びが、今活かしている

Umios株式会社(旧:マルハニチロ株式会社) 勤務
藤原 圭吾さん
海洋生物資源学部 海洋生物資源学科 2024年3月卒業
静岡県出身

釣りが好きで、海洋の勉強がしたくて県大に入り、大学生活を満喫しました。研究室の教授の「世の中全体のためになる仕事だから楽しいよ」という言葉に刺激を受け、就職は水産業界へ。今は自社で養殖したマグロを荷受(卸売業者)に販売する仕事をしています。大学では専門知識を深めるとともに、この仕事をするうえで非常に大切な「食の安全」への意識を、学びの中で植え付けてもらいました。専門性の高い海洋生物の学部で学んだ意義を、社会人になって一層感じています。

Graduates



Interview 教員

未解決のことに目を向け、
自らが第一発見者になろう!

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科
山田 和正 助教

高校ではわかっていることを学ぶ、大学では何がわかっていないのかまでを学ぶ。私の専門である藻類は海を支える生物ですが、未だ誰も研究したことのない種も非常に多い。確立された手法がないなかでの研究は時に困難を伴いますが、自分が驚くべき発見をする可能性も大きい! 大学では多岐にわたる学問に触れ、ぜひ心の底から「面白い!」と思えることを見つけてください。小浜の自然豊かな環境と充実した最新機器のもとで、ともに未解決課題へ挑みましょう。

Teachers

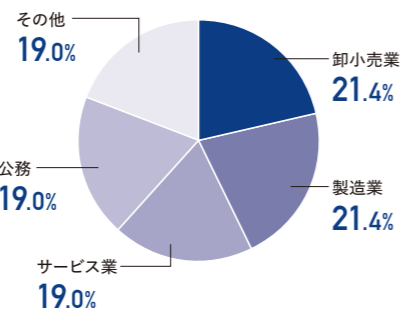


Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

就職 79.2% 進学 17.0% その他 3.8%



キャリア展望

- 食品・水産加工品の研究開発・品質管理
- 医薬品など化学製品の研究開発・販売促進
- 水産資源の確保と国内外市場の開拓・流通
- 海洋開発、環境ビジネス、環境コンサルタント
- 水族館、生物飼育産業、観賞魚関連企業
- 漁業・水産養殖業、漁協、漁家民宿経営など
- 情報通信業(システムエンジニアなど)
- 国家・地方公務員、試験研究機関など研究職
- 高等学校教員(理科、水産)
- 大学院進学

卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)

- [福井県内]** 福井県漁業協同組合連合会、福井中央魚市、小浜海産物、越前松島水族館、若廣、ふじや食品、セーレン、ゲンキー、清川メッキ工業、京福コンサルタント、福井県庁、小浜市役所など
- [福井県外]** Umios(旧:マルハニチロ)、キュービー、森永乳業、日清丸紅飼料、スギヨ、大水、マルイチ産商、山崎製パン、パローホールディングス、あきんどスシロー、はま寿司、西日本電信電話、五洋建設、関電プラント、日本海環境サービス、エステム、水産庁、海上保安庁海洋情報部、石川県庁など
- [進学]** 福井県立大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、筑波大学大学院、千葉大学大学院、東京海洋大学大学院、総合研究大学院大学 など
- [大学院修了者]** キュービー、エスピー食品、ヤマキ、新田セラチン、日本海洋事業、マリン・ワーク・ジャパン、福井県庁、京都府庁、千葉県庁、静岡県庁、三重県庁 など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科/水産)
※就職課程の単位修得が必要。
- 修習技術者
※JABEE(日本技術者教育認定機構)認定校であり、プログラム修了により取得できる。
- 資格要件が得られるもの ※所定の単位修得が必要。
- 自然再生士補
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※採用者等が資格の有無を判断するため、就職後採用者等に確認すること。

先端増養殖科学科

Department of Advanced Aquaculture Science

水圏生物の生命・環境・情報科学を学び

「未来の増養殖」を創造する力を育む

本学科は、水産科学、ゲノム科学、環境科学、情報科学など幅広い分野の教員による少人数制での研究指導を行います。また、設備が整った新しい飼育施設と、目の前の若狭湾を実験フィールドにして、増養殖の基礎

から応用までの知識と技術をシームレスに学ぶことができます。4年間で先端技術を実践的に活用する能力を身につけ、地域や国内はもとより、海外でリーダーシップを持って活躍できる人材を育成します。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 増養殖に関する基礎知識と専門知識を学ぶ

自然科学、数学、経済学などの基礎をしっかりと修得したうえで、増養殖に必要な知識を体系的に学び、思考して実践するための力を身につけます。

3 課題を設定し論理的に解決する能力を修得

社会的背景を理解して水産増養殖に関わる課題を設定し、解決のための計画を立案して実践します。そして、得られた結果を客観的に考察して合理的な結論をまとめ、社会実装するための能力を身につけます。

2 学んだことを実践する能力を修得

知っているだけでは、実際に修得した知識を使うことができません。本学科では、学んだことを養殖の現場で実行する実習に力を入れています。その中で、「なぜ」「どのように」と思考しながら実践する能力を身につけます。

4 得られた成果を他者に伝える能力を修得

課題解決に向けて、他者と相互に意思疎通を図りながら行動し、成果をまとめて文章と口頭で論理的にわかりやすく発表する能力を身につけます。

Pick up

研究の紹介

増養殖生態分野

自然共生増養殖学研究室

濱口 昌巳 教授

現在の増養殖は、生態系保全を行いつつ、自然環境の適正収容力等に配慮する必要があります。私たちの研究室では、海域、河川や湖沼で潜水や環境DNA技術を活用して生物多様性調査を行いつつ、自然と共生できる持続可能な手法による地域振興を目指しています。



増養殖生態分野

水圏保全生態学研究室

田原 大輔 教授

福井県特産種のアラレガコ(カマキリ)を中心に、アユやサバなど魚類の効率的な種苗生産技術や養殖方法の開発に取り組んでいます。今後は、放流に頼らない増殖方法に関する研究も進めています。



養魚育成管理分野

水族栄養学研究室

佐藤 秀一 特命教授

現在、世界の水産養殖業は著しい発展を遂げています。今までは魚由来の原料で作った飼料を与えてきましたが、水産養殖の発展に伴い、原料の供給が難しくなりました。そこで、魚を使わない飼料開発を行い、サステイナブルな養殖魚の創生を目指しています。

サステイナブルな養魚飼料の開発

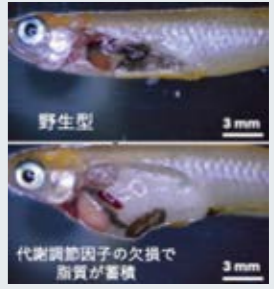


養魚育成管理分野

魚類栄養生理学研究室

村下 幸司 教授

魚がどのようにエサを感じて食べ、栄養を利用するのかという“体のしくみ”を研究しています。基礎的な研究でその原理を明らかにしながら、養殖で魚が良く成長できる条件やエサづくりに活かします。基礎と応用の両面から持続的な養殖に貢献します。

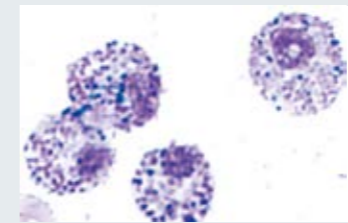


魚病・免疫分野

魚病学研究室

末武 弘章 教授

養殖業は世界的な成長産業です。同時に、魚病の発生も拡大しています。また、新たな養殖魚種も増えていますが、それに伴い新しい病気も現れてきています。病原体と魚介類の両方を理解し、その相互作用として魚病をとらえ、その対策を考えていきます。



魚病・免疫分野

魚類免疫学研究室

瀧澤 文雄 准教授

魚にも私たちヒトと同じような免疫系が存在し、感染症対策としてワクチン投与が行われています。私たちは魚類の免疫系を理解して養殖魚を感染症から守るために、魚の免疫細胞がどのように病原体と闘い、ワクチンによって活性化しているか研究しています。



育種・生物学分野

水産育種学研究室

奥澤 公一 特命教授

作物や家畜に比べて遅れている養殖魚の育種(品種改良)を研究しています。遺伝情報(ゲノム)を利用した最新手法による選抜育種・遺伝的改良を行って、早く成長する、病気に強いなど、養殖業の生産性を向上させる性質を持つ魚をつくっています。



育種・生物学分野

生物学研究室

吉浦 康寿 教授

ゲノム編集に加え、種間交雑によるハイブリッドや突然変異育種を活用して改良を加速し、安価で美味しい水産物の提供を目指しています。また、地球温暖化に対抗する高温耐性品種の育成や、自然集団との交雑を防ぐ不妊化技術の開発も進めています。



生命情報工学分野

動物情報工学研究室

八杉 公基 准教授

画像処理や深層学習を使った画像認識技術をベースに、養殖水槽を泳ぐ魚を撮影したカメラ映像から魚の成長や健康状態を調べるシステムの開発と、それを利用して競争や闘争といった水槽内の魚の行動や個体間の関係性を調べる研究をしています。



生命情報工学分野

海洋ゲノミクス研究室

西辻 光希 准教授

私たちは次世代シーケンサーと生命情報科学を駆使して、海藻、魚類、海草をはじめとするさまざまな生物のゲノム解読に取り組んでいます。解読したゲノムを用いて、例えば植物ではない花が咲かない海藻類の新品種作出技術の開発などの研究を行っています。



水産ビジネス情報解析分野

養殖ビジネス学研究室

東村 怜子 准教授

世界各地の水産業の現場を見て歩いています。カナダ、アラスカ州、インドネシア、ミャンマーなどで漁業と水産加工業の調査をしています。写真は、カナダで1週間毎日漁船に乗船した後で「もう乗組員として合格だな!」と言ってもらった時のものです。



水産ビジネス情報解析分野

水産情報解析学研究室

渡慶次 力 准教授

私たちは、情報科学を駆使して、水産業システム全体の最適化を提案していきます。そのため、水産現場との意見交換をもとに、他大学、国・県・市町、民間企業と協働しながら、海洋環境・水産資源・水産流通・水産物消費に至るまでの課題を解決していきます。



Students



Interview 在学生

**研究者の視点を身につけ
世界に研究論文を発表したい**

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
鈴木 陽さん 北海道出身

高校の時に海藻や海草、海産無脊椎動物に興味を持ち、今は最先端技術を活用した養殖や生態系保全、魚病、育種を専門的に学んでいます。甲殻類や水生生物のDNA分析における種類の判別や餌の研究は難しさもありますが、餌の解明が実は生物たちの暮らしや環境改善につながっていると面白いのです。在学中に挑戦したいことは、国際的なジャーナル誌に自分の研究論文を投稿することです。

Teachers



Interview 教員

**いろいろなことに興味を持ち
やりたいことを見つける4年間**

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
田原 大輔 教授

県大は研究環境に恵まれ、“現場”が残っているフィールドワークに最適の地。私の専門である淡水カジカ類の増養殖と希少魚の保全も、すぐそばに現場があることが研究を深められる大きな理由です。大学時代は多くのことに興味を持ち、やりたいことに挑戦できる貴重な時間。何がしたいか、今は漠然としていても大丈夫。多くの経験から学ぶ面白さに出合え、自分の進みたい道が見つかるはずですよ。

Students



Interview 在学生

**海外の養殖技術を見学
実験や研究に活かしたい**

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
友田 葵さん 福井県出身

海の生物が大好き。「魚類免疫実験」やゼミのメダカ研究などでは、難しいことや世話が大変なこともあります。結果が出るとうれしく次も頑張るといふ毎日です。3年次には初めて海外(フィリピン)を訪れ、現地の養殖現場や国際的な研究機関での学びを通じて、日本との違いを実感しました。県大は大学の規模は大きくないですが、先生との距離が近く、研究環境(設備)も充実。関心があることを徹底的に研究できる環境です。

Interview 教員

**水産業の課題を現場で見つけ
データを駆使して研究・解決へ**

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
渡慶次 力 准教授

水産物の生産から流通・販売に至る水産バリューチェーン全体の最適化、業界全体で利益を生む持続可能な水産業の形を研究中です。現場の方々との意見交換から課題を見つけ、関係団体や民間企業とも協働し、情報科学も駆使して解決へ。ビッグデータの解析や現場調査から深く細かく考えることも研究です。現場の方から感謝されることも多く、それがモチベーションになり、さらなる研究にもつながっています。

Teachers



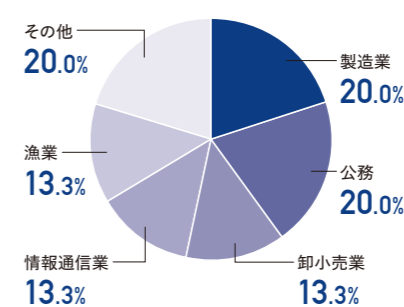
Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

就職 57.7% ※2 進学 42.3%

※1「就職者/就職希望者」の割合
※2「就職者/卒業生」の割合



キャリア展望

- 食品・水産加工品の研究開発・品質管理
- 医薬品など化学製品の研究開発・販売促進
- 水産資源の確保と国内外市場の開拓・流通
- 海洋開発、環境ビジネス、環境コンサルタント
- 水族館、生物飼育産業、観賞魚関連企業
- 漁業・水産養殖業、漁協、漁家民宿経営 など
- 情報通信業(システムエンジニアなど)
- 国家・地方公務員、試験研究機関など研究職
- 高等学校教員(理科、水産)
- 大学院進学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科/水産)
※教職課程の単位修得が必要。
- 資格要件が得られるもの
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※所定の単位修得が必要。採用者等が資格の有無を判断するので、就職後採用者等に確認すること。

卒業生の主な就職先・進学先(過去1年間)

- [福井県内] トヨタモビリティパーツ、福井システムズ、ビジュアルソフト、五月ヶ瀬、宇久置置網、福井県庁
- [福井県外] テスホールディングス、武蔵、エステム、ニコリオ、イトラスト、北海道栽培漁業振興公社、大藤釣具、香川県庁、羽咋市役所
- [進学] 福井県立大学大学院、東京海洋大学大学院

Curriculum		1年次	2年次	3年次	4年次
4年間の学びの流れ ※2026年度カリキュラム					
専門基礎科目必修		水産増養殖を学ぶための教養を身につける	水産増養殖の基本的な知識を学び応用力を養う	社会とのつながりを意識して実践能力を高める	課題を設定し、解決する能力を鍛える
専門基礎科目必修	講義	生物学Ⅰ・Ⅱ 化学Ⅰ 数学基礎	化学Ⅱ、生化学、分子生物学 水産増養殖学概論、海洋生物学、動物生理学 増養殖統計学Ⅰ、水族遺伝育種学Ⅰ 漁業制度論、科学者および技術者の倫理	基礎科学英語、専門科学英語	
	演習・実習・実験	海洋生物資源学フィールド演習	生物学実験、化学実験 養殖学実習Ⅰ、養魚育成学実験 魚類免疫学実験、国内養殖研修	養殖学実習Ⅱ、情報科学演習 遺伝育種学実験、増殖学実験 水産物流通演習、基礎演習	専攻演習、卒業論文
専門応用科目選択必修	講義 (先端育成科学 ゲム応用科学 情報学・社会科学)		水圏種苗生産学、養魚育成学、藻類養殖学 水族発生工学、水族病理学 国際海洋ビジネス論、水産経済学 生命情報科学、増養殖統計学Ⅱ	魚類生理生態学、飼料栄養学 魚類免疫学、水族遺伝育種学Ⅱ 水産物流通論、ICT応用工学	
専門応用科目選択	講義 (幅広い視野の涵養)	地学概論	食品安全管理論、水産資源学	大気・海洋学概論 藻類生理学、水産資源利用学 動物生態学、水圏微生物生態学 沿岸海洋学、海洋環境情報学	海外養殖研修
	演習・実習・実験				

看護福祉学部

Faculty of Nursing and Social Welfare Sciences

看護と福祉の力で 人を支える専門職を育む学部

本学部は全国でも数少ない「看護福祉学部」として1999年に開設されました。ヒューマンケアの理念のもと、人々の健康と生活を支えることができる専門職の育成を目指しています。カリキュラムでは、創造的な人間性を育みながら、看護と社会福祉に関する専門的な知識・技術・倫理観を体系的に学び、現場で活かせる実践力を高めます。少人数教育と丁寧な指導により、基礎から応用まで一歩ずつ力を伸ばします。さらに、シミュレーション教育や多職種連携の学びを通して、チームで支える力やコミュニケーション力も育てます。病院や福祉施設での実習、地域とつながる学びも充実しており、国家試験では毎年高い合格率を維持しています。海外研修に挑戦できる機会もあり、自ら考え行動する姿勢を養います。看護と福祉を融合した学びを通して人を総合的に理解し、地域と世界に貢献できる力を育てます。



学部紹介
ページはこちら

看護学科



社会福祉学科



Point 学部の特長

1 看護と福祉の融合で 人を総合的に理解

看護学は保健・医療、社会福祉学は生活・福祉を対象とし、「人の健康と生活」を共通テーマに学びます。専門性と倫理観を磨き、人を多面的に支える力を育てます。

2 地域と世界をつなぐ 人間性の涵養

地域の人々との交流や実習を通して社会性を高めます。海外大学との交流で国際的な視野も広げ、地域に根ざし世界に通じる人へと成長します。

3 ICTとシミュレーションで 実践力を高める

ICTを活用した授業やシミュレーション実習で、楽しく実践的に学べます。災害時も学びを続けられる環境で、現場で活かせる力を養います。

教員・専門分野一覧

看護学科

笠井 恭子 学部長・教授	基礎看護学
大島 千佳 学科長・教授	基礎看護学
岩谷 久美子 教授	母性看護学
大谷 昌弘 教授	内科学・消化器内科学
川村 みどり 教授	精神看護学
久米 真代 教授	老年看護学、認知症看護
小林 澄貴 教授	公衆衛生学、疫学
二本柳 玲子 教授	成人看護学、慢性期看護
林 祐一 教授	神経内科学、老年医学、薬理学
普照 早苗 教授	地域・在宅看護学
水谷 哲也 教授	内分泌学、分子生物学、生化学
東 知宏 准教授	基礎看護学
梅津 千香子 准教授	地域・在宅看護学
岡本 智子 准教授	老年看護学
金粕 仁美 准教授	小児看護学
成田 光江 准教授	医療福祉学、地域包括支援
長谷川 小真子 准教授	精神看護学
井狩 知幸 助教	公衆衛生看護学
岡田 恭子 助教	老年看護学
上谷 祐子 助教	小児看護学
坂部 敬子 助教	公衆衛生看護学
竹内 智子 助教	地域・在宅看護学

平井 宏美 助教	母性看護学
藤田 祐子 助教	慢性看護学
牧野 葵 助教	母性看護学
松崎 かさね 助教	文化人類学
矢島 直樹 助教	急性看護学

社会福祉学科

吉弘 淳一 学科長・教授	児童福祉、臨床心理、児童心理
今井 朋実 教授	ソーシャルワーク
梅谷 進康 教授	高齢者福祉、ソーシャルワーク
大久保 元正 教授	社会調査
岡田 隆志 教授	精神保健福祉、メンタルヘルス
坂口 昌宏 教授	社会保障、生活保護
田中 裕美子 教授	社会政策、非正規雇用、ジェンダー
法木 左近 特命教授	病理学
島中 耕 教授	社会福祉史
道信 良子 教授	医療人類学、グローバルヘルス、エスノグラフィ、ヘルス・コミュニケーション
山口 理恵子 教授	権利擁護、日常生活自立支援事業、成年後見制度
永井 裕子 准教授	地域福祉、ソーシャルワーク、実習教育
舟木 紳介 准教授	ソーシャルワーク理論、外国人・移民定住支援
牛場 裕治 助教	精神保健福祉、ソーシャルワーク
木村 多佳子 助教	保健医療ソーシャルワーク、社会福祉実習教育
藤野 真凜 助教	障害者福祉、ソーシャルワーク
吉岡 夏紀 助教	精神保健福祉

看護学科

Department of Nursing Science

人々のいのち・くらしを 守り支える看護職を育成

ヒューマンケアの理念のもと、人々の「いのち」と「くらし」を守り支える看護職を育てます。学びの中心にあるのは、「人」を深く理解し、その生活に寄りそう姿勢。実践的な学びを重ね、多様なニーズに応えられる確かな

知識と技術を伸ばします。仲間と語り合いながら視野を広げ、自分の看護観を磨けるのも大きな魅力。保健・医療・福祉をつなぎ、チームを動かす力を身につけ、未来の地域を支える専門職として羽ばたく準備ができます。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 ICTを活かし臨床判断力を伸ばす

多職種連携ハイブリッドシミュレータや小児シミュレータを使い、臨床の場を再現した演習を行います。多様な事例を通して、専門知識の応用力や臨床判断力、看護技術をしっかり磨くことができます。

3 多様な現場で「生きた看護」を学ぶ

病院・施設・行政など幅広い現場で看護学実習を行い、対象者のライフサイクルや健康状態に合わせた看護を実践します。実習を通して、豊かな感性や倫理観、多様なニーズに応える実践力が身につきます。

2 地域との交流で伝える力を育てる

1年次の「健康生活支援演習」では、地域の方々との交流を通して、対象を理解し信頼関係を築くコミュニケーション力を早い段階から養います。交流後は、地域の健康や生活の課題について学びを深めます。

4 看護のマネジメントと研究を深める

4年次の「看護マネジメント実習」でリーダーシップやマネジメントを学びます。「卒業研究」では研究の基礎を身につけ、看護職に求められる科学的思考力と専門性を探求する姿勢を育てます。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	看護の基礎 専門基礎科目では人体の構造・機能や病気の成り立ちなどを学び、専門科目では看護技術、看護理論など看護の基礎を学びます。	看護の対象・場の理解 看護の対象である、さまざまなライフサイクル・健康レベルにある人々や病院、施設、在宅などの療養生活の場を理解する専門科目が加わります。	看護の実践 「看護学実習」では、多様な人々と信頼関係を築きながら、広く深く看護の実践能力を身につけます。保健師の資格取得を目指す人は、関連科目を履修し4年次の実習に備えます。	看護の発展 学修領域が看護の発展へと広がり、「看護マネジメント学」「災害看護学」「看護情報学」などを学びます。卒業研究では自主的・計画的に研究を遂行し、研究論文を完成させます。
共通関連科目	病気・人間・社会福祉のまちづくり論	社会政策、居住福祉論 医療福祉学、社会調査の基礎		
専門基礎科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床病態学Ⅰ・Ⅱ 精神保健 公衆衛生学 社会保障・社会福祉概説	臨床栄養学・生化学 臨床薬理学、微生物・免疫学 病態生理学、臨床病態学Ⅲ・Ⅳ 疫学、保健医療福祉行政論 保健統計学		
専門科目	看護の基礎 看護学概論、看護理論 基礎看護技術、臨床看護技術 健康生活支援演習 基礎看護学実習Ⅰ	看護過程展開論 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅱ 看護倫理学		
	看護の対象・場の理解と実践方法	母性看護学概論 小児看護学概論 成人・老年看護学概論 緩和ケア論、急性看護学 セルフケア支援論 老年看護援助論 地域・在宅看護学 精神看護学概論、精神看護学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 公衆衛生看護活動論Ⅰ 学校保健Ⅰ	母性看護学、母性看護学演習 小児看護学、小児看護学演習 急性看護学演習、セルフケア支援演習 老年看護援助演習、地域包括支援論 地域・在宅看護学演習 精神看護学演習 公衆衛生看護活動論Ⅱ 政策形成過程演習、 公衆衛生看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 公衆衛生看護管理論 産業保健論、学校保健Ⅱ	
	看護の実践		母性看護学実習、小児看護学実習 急性看護学実習、セルフケア支援実習 緩和ケア実習、老年看護援助実習 精神看護学実習、地域・在宅看護学実習 地域包括支援実習	公衆衛生看護活動展開実習 公衆衛生看護管理実習
	看護の発展		看護研究方法論	卒業研究、看護マネジメント学、 看護マネジメント実習、看護教育学、 災害看護学、看護情報学、看護倫理発展セミナー がん看護発展セミナー、生殖看護発展セミナー 小児看護発展セミナー、精神看護発展セミナー 家族看護発展セミナー、認知症看護発展セミナー

Pick up

授業の紹介

年齢や病気を問わず

すべての人に必要な緩和ケアを修得する

緩和ケア論

二本柳 玲子 教授

緩和ケアは終末期だけのものではありません。しかし日本では「緩和ケア」イコール「終末期ケア」という誤解が未だ多い現状です。がんや生命を脅かす病と診断されたときから起こり得る、身体的・心理社会的・スピリチュアルな苦痛-全人的苦痛-を和らげる知識と技術が全ての看護師に求められています。患者へのケアの実際、家族や遺族へのかかわりなどを授業や演習を通して多面的に学びます。



生きる力を大切に、強みに焦点を当て

精神に障害を持つ人への看護実践を考える

精神看護学実習

川村 みどり 教授、長谷川 小真子 准教授

「精神看護学実習」は、精神の健康の維持・増進、回復に必要な知識・技術・態度を統合し、精神に障害を持つ人への看護実践の基礎的能力を養うことを、目的としています。実習では患者さんの強みを見つけ、それらを最大限活かしながら、患者さんとのかわりを深めています。また、患者さんが精神症状と折り合いをつけ、目標とする生活が実現できるような看護を考え、実践しています。





Interview 在学生

専門知識と技術、団結力を
看護の現場でも活かしたい

当学科は他学科と比べて授業や演習が多く、実習もあるので大変です。でもその大変さは「学んで楽しい」「もっと学びたい」という意欲に変わっていきます。1年次からの基礎的な看護技術をはじめ、グループでの演習では皆で協力し合うことも。クラスメイトとのかかわりが多く、全員で乗り越えようとする団結力も生まれます。

Students

看護福祉学部 看護学科
多田 光冴さん
福井県出身

好きな授業は「基礎看護技術」や「臨床看護技術」で、学ぶほどに知識や技術の習得を実感します。一方で「精神看護学」は難しいですが、理解を深めようと頑張っているところです。実習では、優しく指導して下さる看護師や先生のおかげで楽しさを感じています。県大の4年間でしっかり学び、多くの人を支えられる看護師になりたいです。

Interview 卒業生

人生の節目を支える仕事に
誇りと喜びを感じる

看護師と保健師の資格を取得し、母子保健係として子どもの健診や育児相談会などを担当しています。現場では大学で学んだ小児看護学や母性看護学、公衆衛生看護学を活かし、お母さんたちが笑顔になったり、「訪問に来てくれたから頑張れました!」と言っていただけることも。妊娠から子育てという人生の節目を支える仕事に誇りを感じてい

Graduates

福井市こども家庭センター 勤務
福嶋 美憂さん
看護福祉学部 看護学科 2021年3月卒業 福井県出身

ます。講義や実習で身につけた“地域をみる”“集団を支援する”視点も、健診データの傾向分析、地域の課題に応じた教室や支援プログラムの企画に役立っています。3~4年次は実習で多忙を極めましたが、それを乗り越えられたのは一緒に頑張る仲間がいたから。学年全体が一つのチームのようで、今も交流が続いています。

Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

※「就職者/就職希望者」の割合



卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)

看護師

[福井県内] 福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井厚生病院、福井循環器病院、光陽生協病院、公立丹南病院、公立小浜病院、嶋田病院 など

[福井県外] 東京大学附属病院、京都大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、慶応義塾大学病院、千葉大学医学部附属病院、金沢大学附属病院、東京医科歯科大学病院、名古屋市立大学病院、藤田医科大学病院、国立国際医療研究センター病院、滋賀医科大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター など

[進学] 敦賀市立看護大学(助産学専攻科)、大阪大学大学院、滋賀県立大学大学院 など

保健師 都道府県、市町村、企業

養護教諭 小学校、中学校、高等学校

進学について

・大学院 修士課程・博士後期課程への進学

2023年度、大学院健康生活科学研究科(博士後期課程)が開設されました。福井県内の看護系大学では初の博士後期課程となります。大学4年間で学んだことを、修士課程で発展させ、さらに博士後期課程へ進学するという一貫した教育を受けられます。

博士後期課程では、看護学と社会福祉学を融合した領域横断的な視点から研究を行います。大学院へ進学することで、看護学を深めるだけでなく、健康課題と生活課題の両方の視点から考えられる視野の広い、実践者、教育・研究者への道が広がります。

取得可能な資格・免許状

・看護師国家試験受験資格
・保健師国家試験受験資格
※保健師課程の単位修得が必要。

・養護教諭一種免許状
※教職課程の単位修得が必要。

国家試験合格率

※大学等の新卒者の合格率

・看護師 98.3% 全国平均 94.1%

・保健師 93.3% 全国平均 89.9%

厚生労働省から発表された2025年度国家試験の学校別合格率において、本学は全国平均を上回る高い合格率を示しています。

社会福祉学科

Department of Social Welfare Science

支援を必要とする人を掘り起こし支援につなぐ
多様な人々が幸せに暮らせる共生社会を目指す

本学科は人間の幸せ、人間らしく生活を送るための社会の実現を目指し、社会的な支援を必要とする人々のサポート方法やそれを支える法律・制度・倫理等について学ぶ学科です。具体的には講義科目・演習科目・実習をバラ

ンスよく学年ごとに配置し、高度な専門性・実践力・人間力を兼ね備えたソーシャルワーカーを育成しています。また学びの場は学内にとどまらず、地域とのつながりを通して地域課題解決に向けたフィールドワークも行っています。



学科紹介
ページはこちら



Point 学科の特長

1 看護学科との連携で医療・保健の知識も修得

健康の概念や病気・障害の特性を知ることは、社会福祉士や精神保健福祉士が相談や支援を行ううえで極めて有用です。看護学科との共通関連科目により、実践で役立つそれらの知識を幅広く得ることができます。

3 国家試験受験資格と教員免許状の取得

本学科では、国家資格である社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することが可能です。さらに教職課程を選択すれば、高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得することができます。取得後の国家試験合格率は100%になっています。

2 少人数教育できめ細かに学修指導

1年生から学科、学部を超えた導入ゼミを開講し、指導は徹底した少人数方式で行います。2年生からは、特に社会福祉専門分野の教員が学生の個性を尊重しながら、福祉現場での実習から卒業研究、資格取得にいたるまで、きめ細かに学修指導を行います。

4 地域活動を行う当事者や実践者と共に学ぶ

実習以外の講義科目においても、県内の社会福祉法人等と連携して行うフィールドワークやゲストによる講義など、地域生活やその諸課題、専門職の支援の実際を学ぶ授業が豊富に用意されています。

Curriculum 4年間の学びの流れ

※2026年度カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	社会福祉の基本と共通科目を学ぶ 多様な一般教育科目と共に、共通関連科目で医療・保健・福祉の接点を学びます。また、社会福祉学概論などの専門科目を通じて、ソーシャルワーカーへの学修の歩みを始めます。	専門科目の学びが本格的に 社会福祉について幅広く学んでいきます。さらに社会福祉基礎演習(ゼミ)では、情報収集やプレゼンテーションの方法などの基本的な技術も学びます。	援助技術を身につけ現場実習を行う 演習と実習指導を通じて、ソーシャルワーカーとして必要な価値、知識、技術などを修得します。後期には県内の社会福祉関係機関や施設で2か月弱のソーシャルワーク実習(選択)を行います。	卒業研究に取り組みソーシャルワーカーとしての知識を総合する 前期には、精神保健ソーシャルワーク実習(選択)を行います。また4年間の学修のまとめとして卒業研究を提出します。さらに、学科内のサポートのもとで、2つ(社会福祉士・精神保健福祉士)の国家試験の受験に備えます。
共通関連科目	病気・人間・社会 居住福祉論 福祉のまちづくり論	社会政策、医療福祉工学 社会調査の基礎		
専門科目	社会福祉学概論 社会理論と社会システム 法学概論、現代人権論 医学概論 ソーシャルワーク論/演習	アンケート調査の設計と分析 社会保障論、児童家庭福祉論 高齢者福祉論、障害者福祉論 社会福祉発達史、地域福祉論 国際福祉論 スクールソーシャルワーク論 ケア概論、所得とニーズの保障 社会問題論 発達心理学、心理学概論 精神医学、精神保健 精神保健福祉の原理 ソーシャルワーク論/演習/実習指導	公的扶助論、保健医療と福祉 更生保護論 社会福祉管理運営論 ソーシャルワーク特別講義 権利擁護を支える法制度 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論 ソーシャルワーク論/演習/実習/実習指導 精神保健ソーシャルワーク論/演習/実習指導	共生社会論 社会的起業論 ソーシャルワーク特別講義 精神保健ソーシャルワーク演習/実習指導/実習
総合部門	現代福祉問題論、入門演習	社会福祉基礎演習、外書講読	社会福祉演習	卒業研究

Pick up

授業の紹介

地域共生社会に

ソーシャルワークはなぜ必要か?

共生社会論

岡田 隆志 教授

4年次生がこれまでの学びを活かし、地元・福井を舞台に地域の課題や強みに向き合う授業です。文献調査や現地の視察、聞き取りを通して、人々の暮らしや声に直接触れながら、地域共生社会とソーシャルワークの関係を考えていきます。仲間や教員、住民との対話を重ねるなかで、「地域を基盤としたソーシャルワーク実践とは何か」を自分の言葉で表現していくことを目指します。



「働くこと」から

社会問題を考える

社会福祉基礎演習

田中 裕美子 教授

ゼミ形式の2年次生の授業です。私のゼミでは「働くこと」がテーマです。「社会福祉学科なのに働くこと？」と思うかもしれませんが、多くの人は働いて生活費を得ています。もし、仕事があれば生活に困窮し、貧困状態に陥る可能性もあります。働くことは、社会福祉や社会のあり方も深くかかわっています。ゼミでは、さまざまな社会問題を幅広い観点から考える力を養います。





Interview 在学生

Students

大きな夢を実現するためのサポート体制が心強い

看護福祉学部 社会福祉学科
和田 優羽さん
福井県出身

私には、JICA(国際協力機構)所属という大きな夢があります。今はまず社会福祉士を目指し、社会福祉制度の授業やボランティア活動などを通じて専門知識を深めています。中でも楽しいのは実習です。当事者だからこそ見えることや感じることもあり、そこで初めて教科書の知識と、実習や制度との関係性を理解できるようになりました。理解

するほど社会福祉のあり方を深く考えるようになり、もっと学び、覚える必要があるなあと痛感しています。

県大はすべてにおいてサポートが厚く、心配や不安にも迅速に対応してくれます。先生との距離が近く、マンツーマン感覚で気軽に相談できる関係性を築けるのも特徴。夢の実現を支えてくれる最適な環境です。



Interview 卒業生

Graduates

現場で行き詰まった時こそ大学の学びを振り返る

社会福祉法人 越前市社会福祉協議会 勤務
明 ひなたさん
看護福祉学部 社会福祉学科 2025年3月卒業 福井県出身

私は社会福祉士として、地域の高齢者の暮らしやすさをサポートしています。認知症地域支援推進員として「チームオレンジしゃきょう」に参画し、認知症になっても安心して暮らせる町を皆で目指しています。ただ実際の現場では、「高齢者」や「障害者」の方は言葉でひとくりにできないさまざまな人生経験をし、感じている困りごとも千差万別。

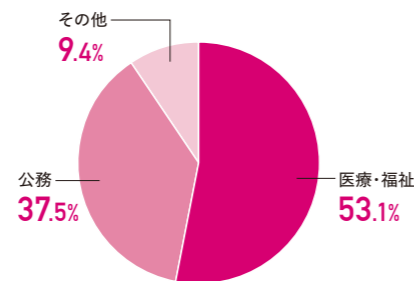
業務が思ったように進まないことも多々あります。そんな時こそ、県大で学んだ知識や実技、コミュニケーション法、フィンドレー留学経験などを振り返り、利用者にとってより良い福祉サービスを提案し、一緒に考えていくようにしています。いろいろな人の人生に伴走しながら深く関わること、これがこの仕事の魅力だと思っています。

Career 卒業後の進路

就職率(2025年度卒業生)

100%

※「就職者/就職希望者」の割合



キャリア展望

- 生活相談員・支援専門員
- 高齢者施設職員
- 障害者支援施設職員
- 児童指導員・児童福祉司
- ケースワーカー
- 医療ソーシャルワーカー(MSW)
- スクールソーシャルワーカー(SSW)
- コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
- 矯正施設(刑務所・少年院など)福祉専門官
- 大学院進学

卒業生の主な就職先(過去5年間)

- [福井県内]**
福井県社会福祉協議会、越前市社会福祉協議会、足羽福祉会、光道園、かすみが丘学園、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井村田製作所、福井県庁、福井市役所 など
- [福井県外]**
各種社会福祉法人、日本年金機構、東京都庁、神奈川県庁、岐阜県庁、横浜市役所 など

取得可能な資格・免許状

- 社会福祉士国家試験受験資格
※指定科目の修了が必要。
- 精神保健福祉士国家試験受験資格
※指定科目の修了が必要。
- 高等学校教諭一種免許状(福祉)
※教職課程の単位修得が必要。

国家試験合格率

※大学等の新卒者の合格率

- 社会福祉士 **100%** 全国平均 78.4%
- 精神保健福祉士 **100%** 全国平均 85.4%

厚生労働省から発表された2025年度国家試験の学校別合格率において、本学は全国平均を上回る高い合格率を示しています。

恐竜学部

Faculty of Dinosaur Paleontology

恐竜を含む古生物学や地質学を通して
現代社会の諸課題を解決する人材を育成

恐竜学部では、福井県の豊かな自然環境と、恐竜化石を中心とした調査研究のノウハウを活かし、恐竜を含む古生物や地質、古環境について幅広く学びます。これらの学問は、生命がどのように進化してきたのか、地球環境がどのように変化してきたのかを明らかにするだけでなく、現在の環境問題や自然災害を理解するうえでも重要な役割を担っています。本学部では、フィールドワークや福井県立恐竜博物館との連携、さらにCTスキャンや3Dデータ解析などの最新技術を活用した教育・研究を通して、自然科学の基礎と実践的な研究手法を身につけます。また、化石や地層などから得られる情報をもとに科学的に考える力を養い、自然と社会の関係を多角的に理解できる人材を育成します。恐竜学部は、恐竜学と地質学を融合した日本唯一の学部として、地域から世界へと活躍する人材を育てることを目指しています。



学部紹介
ページはこちら



Point 学部の特長

1 福井県立恐竜博物館との連携

勝山キャンパスは恐竜博物館に隣接するため、施設や標本等の相互利用による連携や、研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有も行い、博物館と一体化した新しい教育・研究システムを目指します。

2 福井県をまるごと使ったフィールド科学の実践

地球科学では、地層や岩石が記録する情報を現場で読み解き、論理的に考察する必要があるため、フィールドワークを重視します。福井県の地質遺産や県外・海外のフィールドも視野に入れ、思考力や判断力、情報収集スキルを身につけます。

3 デジタル技術を活用した新分野の展開

最新のデジタル技術を活用し、古生物・地質学をさらに発展させていきます。大型CT撮影装置をはじめとした機器で、多様な形や大きさの化石や地形をデジタル化し、それらのデータを活用した、新しい教育・研究を行います。

教員・専門分野一覧

西 弘嗣 学部長・教授	地質学、古生物学、古海洋学
神谷 隆宏 学科長・教授	古生物学、古環境学
安藤 寿男 教授	地質学、古生物学、堆積学
大石 善隆 教授	生態学
河部 壮一郎 教授	脊椎動物の比較形態学
柴田 正輝 教授	古脊椎動物学
高田 裕行 教授	古生物学
土屋 正史 教授	実験古生物学、海洋生物学
法木 左近 特命教授	病理学
藤田 和彦 教授	微古生物学、古環境学

村山 雅史 教授	古海洋学、古環境学
山田 努 教授	同位体地球化学、古環境学
今井 拓哉 准教授	古脊椎動物学
鹿納 晴尚 准教授	デジタル古生物学、微古生物学
中村 英人 准教授	有機地球化学、分子地球生物学
服部 創紀 准教授	古脊椎動物学
林 圭一 准教授	微古生物学、層序学、古環境学
大山 望 助教	古生物学、堆積学
木下 峻一 助教	デジタル古生物学、微古生物学

恐竜・地質学科

Department of Dinosaur Paleontology and Geology

2つのコースで 研究スキルを磨く

3年次に2つのコースに分かれます。「恐竜・古生物コース」では、恐竜などの脊椎動物から微古生物まで古生物に関連する分野を、その生態から分布まで広く学びます。「地質・古環境コース」では、地層や堆積物

の分析を通して、その形成過程や性質を理解し、古環境を推定する手法を学びます。それぞれのコースで高度な専門知識と技術を身につけると共に、コミュニケーション能力、思考力、表現力を養います。



学科紹介
ページはこちら



Point コースの特長 恐竜・古生物コース

- 1 恐竜をはじめとした古生物全般を体系的に学ぶ**
恐竜をはじめとした古生物の情報は、最新の研究で日々更新されています。それらを理解するため、1年次は恐竜や生命の進化の基礎を学び、以降はより発展的な内容を学習し、4年間で体系的な知識を身につけて恐竜・古生物への理解を深めます。
- 2 現生生物をヒントに過去の生物を探索する**
恐竜をはじめとした古生物は、現在実際に生きて動く姿を見ることはできません。そのため、まずは現生生物について解剖や観察・解析を通して理解を深め、化石と比較することで、生物の進化や過去の生物の生き様を解き明かしていきます。

Point コースの特長 地質・古環境コース

- 1 地球の過去を読み解く知識を身につける**
化石を含む地層は、長い時間と複雑な過程を経て私たちの目の前に現れます。その地層から「限定された過去の記録」を可能な限り引き出すために、野外で実際に地層を観察し、そこから情報を得る手法を学びます。
- 2 過去の地球環境を復元する**
恐竜時代の地球はどのような環境だったのか。地層に含まれる微細な化石や、鉱物を最先端の分析機器を用いて分析することで、地質時代に正確なタイムスケールを入れ、過去の地球を高い解像度で復元します。

Pick up

研究の紹介

地層と化石から探る地質時代の地球環境と生態系

安藤 寿男 教授

恐竜がいた中生代以降の地層から堆積環境や堆積様式、地史を読み解き、化石(主に二枚貝)の分類や生態、生態系を復元しています。白亜紀層や新生代の地層の研究にも挑戦します。



【コケにできないコケ】しゃがんでみえる世界

大石 善隆 教授

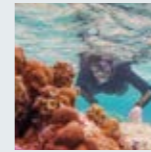
小さく目立たず「コケにされがちなコケ」に着目し、地球環境形成における重要性を踏まえながら、健全なコケの生存戦略と生態系で担う役割を明らかにする研究を行っています。



「海の昆虫」貝形虫から生物進化の姿に迫る

神谷 隆宏 教授

新種が「いつ・どこで・どのように」生まれたのか? この謎を解くため、石灰質の殻を持つミジンコ・貝形虫の現生種と化石種を研究。日本海で起きた進化の実態が解明されました。



恐竜の内部構造を紐解くデジタル技術による研究

河部 壮一郎 教授

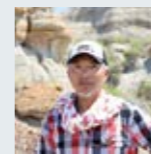
CTスキャンをはじめ、さまざまな3Dデジタル技術を駆使し、恐竜の脳などの骨格内部構造を解析。化石から新たな情報を引き出し、恐竜の生態や進化の新たな側面を明らかにします。



福井の恐竜が示す前期白亜紀アジアの恐竜進化

柴田 正輝 教授

前期白亜紀にアジアで繁栄した植物食恐竜イグアノドン類を中心に研究。各地の同グループと比較し、福井の恐竜の進化的・古生物地理学的位置を解明するための調査を行っています。



微化石群集を通して過去の地球環境を知る

高田 裕行 教授

微化石である底生有孔虫から過去の地球環境を研究。数百万年前の深海生種から、韓国南東部や若狭湾沿岸の過去1万年間までを対象とし、今後は白亜紀の研究にも取り組む予定です。



現生生物の生態と進化から探る化石生物の生き様

土屋 正史 教授

単細胞真核微生物(原生生物)の生態や進化について、特に微生物との共生適応や海陸分布の変遷に伴う種分化過程を、現生生物の培養、分子系統・安定同位体解析から解明しています。



恐竜時代の環境を復元する

西 弘嗣 教授

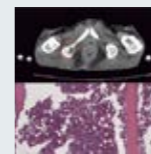
有孔虫の化石を用いて、過去1億5千万年間の地層や海洋底の年代を決めたり、環境を復元する研究を行っています。今は、白亜紀を中心に温暖な白亜紀の気候変動を研究しています。



デジタル画像解析による病理学と恐竜学の融合

法木 左近 特命教授

人体病理学を専門とし、解剖前にCTを用いる死亡時画像診断(AI)による高精度な死因究明を研究してきました。その知見と経験を活かし、恐竜学との融合を目指しています。



星砂が語る海洋環境と気候変動の歴史

藤田 和彦 教授

星砂として知られる大型底生有孔虫の生態や化石を研究しています。有孔虫の殻や種構成の変化を調べることで、過去の気候変動や海水準変動など、地球環境の変遷を明らかにしています。



海底に残された記録から地球の歴史を解明

村山 雅史 教授

研究船の海洋掘削で得られた海底の地層(海洋コア)を分析し、過去の海洋環境や地球の進化の歴史を解明しています。海洋コアには恐竜が生きていた時代の環境も詳細に記録されています。



同位体と洞窟研究で解き明かす古気候の変動

山田 努 教授

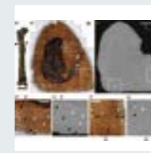
鍾乳石や骨・貝殻に含まれる同位体を分析し、過去の気温や降水量などの環境変化を研究。また、洞窟調査や3D測量を通じて、地球環境の変動や自然現象の解明にも取り組んでいます。



高輝度X線マイクロCTによる恐竜化石の微細構造

今井 拓哉 准教授

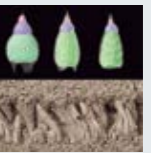
高輝度X線マイクロCT解析を使って、国内外で発見される骨化石内部に残されたミクロスケールの微細構造を可視化し、成長速度や骨への栄養供給など、絶滅した恐竜の生態に迫ります。



CTと3D計測技術で化石と博物館資料を可視化する

鹿納 晴尚 准教授

μX線CTや3D計測技術で化石や博物館資料を非破壊で解析し、内部構造や形態を研究しています。また、デジタルデータを活用した展示や博物館資料の保存活用にも取り組んでいます。



分子化石が語る地球史～有機地球化学～

中村 英人 准教授

地層や化石中に残る生物由来の有機物を化学的に解析し、肉眼では見えない「分子の指紋」から、地球環境史・生命史にアプローチする分子地球生物学的研究を進めています。



化石の分類と現生種比較でみる獣脚類の進化史

服部 創紀 准教授

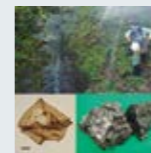
主に獣脚類を研究対象とし、福井やタイで発見された化石の分類を研究。また、恐竜類を含む主竜類の後肢形態と機能について、鳥類へ至る進化過程での変化を明らかにしています。



微化石から読み解く地層の年代と地球環境

林 圭一 准教授

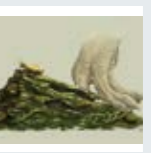
野外での地質調査をベースとして、地層中の渦鞭毛藻の化石を用いて地層の形成年代や当時の古環境を明らかにする研究をしています。また、石炭などの地下資源の研究にも取り組んでいます。



化石記録とフィールドワークで解明する昆虫進化

大山 望 助教

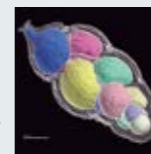
中生代・古生代の昆虫相と植物との関係をフィールド調査で探り、環境変動と昆虫進化の関連を解明。デジタル解析で化石の形態観察や古生態検討に新視点を加える研究も進めています。



デジタル技術を駆使しマイクロ化石から過去を解明

木下 峻一 助教

マイクロX線CTを用い、有孔虫など石灰化石の水温、pHなどに対する環境応答を調査。フィールド調査や飼育実験を通して、過去、未来の環境の復元や予測を目指しています。



		1年次	2年次	3年次	4年次
		多様な教養科目と地球科学の基礎を学ぶ 文理横断的に幅広い知識を身につけ、物事を多面的に考え行動できる能力を身につけます。	専門基礎知識と調査研究手法を修得する 恐竜をはじめとした古生物学や地質学・古環境学に関する専門基礎科目を中心に学び、専門知識と調査研究手法を修得します。	より高度な専門知識と技術を身につける 「恐竜・古生物コース」「地質・古環境コース」の2つのコースに分かれ、少人数で専門応用科目を学びます。また、実験や実習、フィールドワークを通して、課題解決能力や表現力、思考力、コミュニケーション能力を修得します。	卒業研究を行い研究結果を執筆・発表する これまでに修得した専門知識・技術を基に、担当教員の個別指導を通して、研究計画を実践し、成果を執筆発表する能力を身につけます。
一般選択科目		脊椎動物の進化、地球史入門 地球環境学概論、恐竜学			
必修	講義	生物学序論 地学概論 古生物学概論 地層学 海洋生物学	植物生態学、地球年代学 科学英語、進化生物学 地球化学序論 古生物学I(脊椎動物) 日本列島形成史 デジタル古生物学概論 地球環境変動学、地球化学 海洋底地球科学		
	演習		地質図学演習	地球科学フィールド研究	卒業演習I・II、卒業研究
	実験・実習	地球科学フィールド実習I	地質調査法実習I 地球科学フィールド実習II 古生物学実習I 地球科学基礎実験、古生物学実験 デジタル古生物学研究法実習		
専門科目 選択必修	講義		岩石・鉱物学 地球物理学 恐竜学特論 ジオパーク学	古生物地理学 古生物データサイエンス学 古生物多様性学 古生物学II(微古生物) 古生物学III(無脊椎動物) 災害・防災学I コンピュータグラフィック概論 古植物学、応用地質学 GIS・リモートセンシング学	災害・防災学II
	演習			古生物学課題演習 地質学課題演習	
	実験・実習			古生物学実習II、地質調査法実習II 地球化学実験、海洋地球科学実習 恐竜発掘実習	
学芸員課程科目	講義		博物館概論、博物館経営論 博物館教育論、博物館展示論 博物館情報・メディア論	博物館資料論 博物館資料保存論 生涯学習論	
	実験・実習				博物館実習



Career 卒業後の進路

キャリア展望

- 博物館学芸員、研究者、教員(理科)
- 地質・土木・建設産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業(測量に関する地質系のデジタル技術産業など)
- 公務員(土木)
- 大学院進学

取得可能な資格

所定の単位修得(選択制)により、下記の免許・資格が取得できます。

- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 測量士補
- 学芸員

Interview

一期生・二期生の皆さんより!

日本初の恐竜学部で1年間学んだ一期生からは、学部の学びで感じたことや後輩へのメッセージ、新たに入学した二期生からは、今後の意気込みを聞きました!



恐竜の生態、博物館展示、デジタル古生物学を学びたいです!

中生代の生態系がどのように変化していったかについて詳しく知りたい!

過去の環境と現代の環境を学び、比較することで、地球の変化の仕組みを学びたい!

興味を持った分野とことん向き合えるように頑張りたいです。

座学だけでなくフィールドワークも多いので、貴重な体験を通じて得た専門知識は定着しやすいです。

研究者になる夢を叶えるため頑張ります!

二期生



一期生

授業が楽しくて仕方がない!!

地学系の分野を学びたいなら、この学部は日本で最上位に入るほどの物的資源が豊富に揃っています!

さまざまな過去の環境を教えてくれる地層の面白さを教わりました。また、同じ興味を持つ仲間と学ぶ日々は成長の糧になっています!

他の学部もユニークなので、多分野の学生と交流ができ、お互いを高め合えるのも県大の魅力です。

Students

New Campus!



2026年4月開設!

恐竜学部生のための勝山キャンパス!

勝山キャンパスは、恐竜化石の産地として世界的に知られる勝山市に新設した教育研究拠点です。学内には分析機器やデジタル技術を備えた教育研究施設が整備され、講義・実習・研究を一体的に行うことができます。隣接する福井県立恐竜博物館との連携により、実物資料を活用した学びや研究が可能で、地域の地質環境も活かした多面的な教育が展開されます。



最先端の分析機器やデジタル技術を活用した研究環境と、地域の豊富な自然・地質資源を組み合わせ、古生物学や古環境学、地質学などを総合的に学ぶ新しいキャンパスです。

地域政策学部

Faculty of Regional Policy

福井で学び、地域を変える
 パワフルな人材を育成する



学部紹介
 ページはこちら

地域の持続的発展に欠かせない地域イノベーションの創出に必要な理論と実践を体系的に学ぶ、全国初の学部を目指します。そのフィールドは、ものづくり産業はもちろん、芸術・文化や観光、コンテンツ制作などのクリエイティブ産業、それらを支える地域づくりの主体(自治体、金融、まちづくりNPO)まで多岐にわたります。

1年次の初年次ゼミでは、永平寺キャンパス周辺の地域で地域調査入門を学び、2年次からは福井まちなかキャンパス(アオッサ)で3つのユニットに分かれて、充実した専門科目を学びます。地域データ分析、フィールド演習、実践英語は、2年から3年にかけて積み上げ式で学び、企業や自治体の方々からの講義やワークショップ、3年、4年でのゼミでは自ら課題を見出し、解決策を提案する力を養成します。これらを通じて地域社会で活躍する人材に育っていくことを期待しています。



※2027年4月開設予定の福井まちなかキャンパス(画像はイメージ)



福井まちなかキャンパス
 (AOSSA内 1・3・5F) ※2027年4月開設

キャンパスは
 福井駅から徒歩1分!

福井駅

Point 学部の特長

1 地域に関する豊富な知識を持つ人材の育成

歴史や文化、産業、自然など、地域に存在する資源を活用して、地域社会に大きな変化をもたらすため、経済や経営の基礎理論とともに、産業立地や地域経済に関する専門知識や、日本や世界の諸地域の実情に関する豊富な知識を習得します。

2 高度な分析技術と論理的な表現能力の育成

フィールドワークやデジタル技術を活用したデータ分析手法などによって、地域社会を分析する技能を身につけます。また、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話力と文章作成力を身につけた、現場に強い人材を育成します。

3 課題解決に向けて協働する能力の育成

実際の地域課題をテーマにした地域フィールド演習や、県内企業や自治体における就労体験型学習などにより、課題解決に向けて関係者と互いに協力しながら施策を立案し、その実現を目指して地域の方々と協働する能力を身につけます。

教員・専門分野一覧

松原 宏 学部長・教授	経済地理学	鈴木 洋太郎 教授	産業立地論、グローバル企業論
三橋 浩志 学科長・教授	地域イノベーション政策、地域政策学	前田 陽次郎 教授	農業経済学、経済地理学
青木 和人 教授	地理情報システム(GIS)、空間情報学	宮町 良広 教授	経済地理学、地域発展論
朝倉 由希 教授	文化政策、アーツマネジメント論	勝又 悠太郎 准教授	経済地理学、地域産業論、インド研究
石丸 香苗 教授	森林科学、ブラジル研究	加藤 裕美 准教授	文化人類学、東南アジア地域研究
漆間 アンドレア 教授	都市地域環境学、環境デザイン論	高野 翔 准教授	ウェルビーイング、まちづくり
大木 由美子 教授	経営理念、組織文化、企業倫理、経営者史、戦略論	當麻 雅章 准教授	空間経済学、応用計量経済学
北島 啓嗣 教授	流通業の経営戦略、戦略論、マーケティング	宮崎 友里 准教授	観光政策、自治体政策論
杉山 友城 教授	地域活性論、地域産業論、中小企業経営論	森嶋 俊行 准教授	観光地理学、経済地理学

地域イノベーション学科

Department of Regional Innovation

地域イノベーションについて 基礎から応用へ段階的に学ぶ

地域政策学部では、2年次から福井駅から徒歩1分の「福井まちなかキャンパス」を拠点に、県内各地域をはじめ、国内外で実際の地域課題をテーマとしたフィールドワークを行います。また、地理情報システムなど情報

システムを活用した演習によって分析能力を養成します。さらに、実際の課題解決に取り組むコーポ実習、国内留学制度などにより、県内及び県外の地域についても実践的に学ぶことができます。



学科紹介
ページはこちら



Point カリキュラムの特長

1 ユニット制による少人数教育

地域イノベーション学科には地域産業、地域創造、地域づくりの3つのユニットがあり、2年次以降、学生はいずれかのユニットに所属し学んでいきます。さらに、演習や卒業研究を通して教員の指導を受け、一貫した少人数教育を受けられます。

3 地域の課題解決に関する実践的教育

地域政策学部では、地域分析の方法や地域の実情などについて、地域の経済界や自治体等と連携しながら講義や演習を行います。学生は地域の課題解決に取り組み、1年次から段階的かつ実践的に学んでいきます。

2 専門性の深化と多様性

各ユニットとも、「ユニットコア科目」「ユニット発展科目」の2つの科目群からカリキュラムを構成しています。これにより、専門性を高めると同時に、専門分野と関連する幅広い分野の科目を履修することができます。

4 ユニットそれぞれに特色ある科目

地域産業ユニットでは地域産業論など既存産業の振興、地域創造ユニットでは地域文化論など地域資源を活用した新産業の育成、地域づくりユニットではウェルビーイングなどまちづくり施策と関連した、特色ある科目を提供しています。

Pick up 研究の紹介

地域産業ユニット

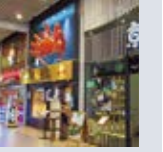
経済地理学

松原 宏 学部長・教授
産業立地の理論・実態・政策について研究しています。立地論を基礎理論として、実際の立地を検討するとともに、政策に関わってきた経験を活かして、政策立案について、一緒に取り組めればと考えています。



国際産業立地論

鈴木 洋太郎 ユニット長・教授
企業の海外進出など経済活動のグローバル化について、産業立地論の視点から研究しています。日本食のグローバル化を反映した、タイのバンコクでの写真です！



マーケティング

北島 啓嗣 教授
マーケティングは、主として企業行動を中心に研究されてきました。しかし、近年、その成果を地域や地域を支える非営利組織に応用する分野が拡大しています。



農業地域政策

前田 陽次郎 教授
農業分野の産業政策や担い手問題の研究を行ってきました。最近では農産物輸出やインバウンド観光など、日本の農村が海外ともつながっている状況を研究しています。



経済地理学

宮町 良広 教授
経済の地域間格差がなぜ生じるのか、地域が発展するにはどうすればよいのかを国際的視点に立って研究しています。高校と大学の連携にも取り組んでいます。



経済地理学

勝又 悠太郎 准教授
地場産業のイノベーションや現代的な存立形態の在り方について地理学的な視点から研究しています。また、インドと北海道をフィールドとした研究も進めています。



地域創造ユニット

地域経営学

杉山 友城 ユニット長・教授
福井県内の地域を舞台に、持続可能な地域マネジメントの理論と実践を研究しています。永平寺町の活性化や越前水産地再生などの実践に取り組んでいます。



文化政策

朝倉 由希 教授
芸術・歴史等の文化資源は、人や社会に多様な価値をもたらします。数値化しにくい価値も重視しながら、文化振興に実践的に携わり、地域発展に活かす方策を研究しています。



森林生態学

石丸 香苗 教授
地方における地域資源としての環境、アマゾン熱帯雨林の森林利用と生産、東日本複合災害での森林復旧など、人と自然資源の関係について研究を行っています。



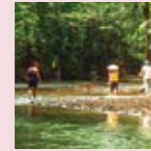
経営理念(パーパス)論

大木 由美子 教授
起業家の理念や思いが企業文化をどう形づくるかを研究しています。インタビューやフィールドワーク、アンケート分析など、研究に応じて多様な方法を用いています。



文化人類学

加藤 裕美 准教授
社会や集団の中で継承される習慣や考え方、行動、人間関係などを、主に東南アジアと福井を対象に参与観察やインタビューといった手法を通して研究しています。



観光地理学

森嶋 俊行 准教授
工場や鉱山の遺跡といった産業遺産の保存活用と産業観光をテーマとしています。文化遺産や伝統工芸が地域の未来をどのように作っていくかを考え、実践につなげていきます。



地域づくりユニット

地域政策学

三橋 浩志 学科長・教授
地域イノベーションのメカニズムとエコシステムを研究しています。また、地域づくりに関する学校教育での探究活動の理論と実践、社会実装も進めています。



ウェルビーイング

高野 翔 ユニット長・准教授
地域のウェルビーイング(幸せ実感)を深める「居場所と舞台」に注目した研究活動及びまちづくり活動を進めています。



空間情報学

青木 和人 教授
地理空間情報を活用した地域課題の可視化と政策支援を研究しています。福井空襲や福井豪雨災害などの地域のデジタルアーカイブに学生たちと取り組んでいます。



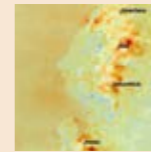
空間計画論

漆間 アンドレア 教授
福井県を中心に、都市と山間農村・沿岸漁村を含む周辺地域との相互作用が生む景観変容を研究し、都市計画・地域計画と地域の歴史・文化の関係を研究しています。



空間経済学

當麻 雅章 准教授
人や企業の経済活動が集積・分散する要因等に関する研究をしてきました。最近では衛星画像等を用いて地域の経済活動を把握する手法について研究を進めています。



観光政策論

宮崎 友里 准教授
地域観光について、観光資源に注目しながら研究しています。地域が眼差しの対象となると同時に、地域が眼差すものは何なのか。地方自治体の動向にも着目します。



	1年次	2年次	3年次	4年次
	基礎知識の習得 1年次では、地域イノベーションを行うための基礎的な知識を学びます。	専門性を深める 2年次以降では、想定する進路により3つのユニットに分かれ、学びを深めます。	より実践的な知識の習得 3年次ではより実践的、専門的な知識を学び、また、国内留学、コオプ実習の機会があります。	地域イノベーション実践 4年次では、学んだ知識を活用し、地域の課題解決に取り組みます。
学科共通	初年次ゼミ 経済学の基礎A(ミクロ) 経済学の基礎B(マクロ) 地域イノベーション入門 経営学入門 経済統計入門 初年次ゼミとは？ レポートの書き方など、大学での学び方を身につけます。 地域イノベーション入門とは？ 教員の研究紹介などから、各ユニットの具体的なテーマを学びます。	経営学基礎 地域フィールド演習Ⅰ 地域データ分析Ⅰ・Ⅱ 実践英語Ⅰ・Ⅱ 地域発展論、経済地理学 地域環境論、空間経済学 地域イノベーション特論Ⅰ 地域イノベーション特殊講義Ⅰ さまざまな科目を受講できる？ 学生は、自身が所属するユニットの科目に加え、他のユニットの科目も受講できます。	演習Ⅰ・Ⅱ 地域フィールド演習Ⅱ・Ⅲ 海外地域研究A・B 地域データ分析Ⅲ・Ⅳ 空間計量経済学 実践英語Ⅲ・Ⅳ マクロ空間構造論 日本史、世界史Ⅰ・Ⅱ 人文地理学、自然地理学 地域イノベーション論 地域イノベーション特論Ⅱ 地域イノベーション特殊講義Ⅱ コオプ実習とは？ 企業等で課題解決を経験し「考えて行動する姿勢」について学びます。 国内留学とは？ 首都圏または地方圏にある大学へ留学し、他の地域について学びます。	演習Ⅲ・Ⅳ 卒業研究 ゼミはある？ 3年次以降、演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳがいわゆるゼミになります。学生は主担当の教員をはじめ、ユニットの各教員から指導を受けることができます。
ユニット毎の専門科目	地域産業ユニット 地場産業の振興・発展のための専門教育 地域における産業の実態を学び、地域の特性を活かした産業の振興・発展に必要な理論と政策を学修	地域産業論、産業立地論 地域マーケティング論 農山漁村活性化論 グローバル企業論 企業と地域	地域産業活性化演習 産業集積論、農産物貿易論 技術経営、経営戦略論 スタートアップ企業論 管理会計論	
	地域創造ユニット 起業家育成など新産業創出のための専門教育 地域の資源(歴史、文化、自然)の価値を活用した新しいビジネスの創出に必要な理論と政策を学修	地域マネジメント論 文化人類学 アーツマネジメント論 観光産業論、公益事業論 地域共創	地域共創演習、地域文化論 オープンイノベーション論 クリエイティブシティ論 地域交通論、地域金融論 ローカルメディア論	
	地域づくりユニット 持続可能な地域社会の発展のための専門教育 地域社会の現状と課題を理解し、公共政策・まちづくりを企画・立案するために必要な理論と政策を学修	地域づくり論 環境デザイン論 ウェルビーイング論 自治体政策論 地域政策	地域イノベーション政策 地域政策立案演習、知財管理論 ローカルキャリア論 地域社会論、まちづくり論 地方財政論、環境経済学	

Career 卒業後の進路

キャリア展望

製造・流通・金融・情報通信関連の総務・企画・営業部門

- 地域産業のイノベーションをマネジメントする仕事
- 地域の観光や文化などの情報発信に関する仕事
- 農林水産業や製造業等の地域産業の経営企画や海外営業に関わる仕事

地方自治体、コンサルタント、NPO法人

- 地域政策やまちづくりに関わる仕事
- 地域の持続的発展を目指す自治体
- 経済団体やNPO法人などの仕事
- 産学官金の連携を担う仕事
- 国内各地や海外との地域間の連携を促進する仕事

起業、事業承継

- クリエイティブ産業等の新しい産業を創出するスタートアップ企業の経営などの仕事
- 地域の産業や会社の継続を支援する仕事

高等学校教員(地理歴史)

大学院進学

取得可能な資格

所定の単位修得(選択制)により、下記の免許・資格が取得できます。

- 地域調査士
- GIS学術士
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- ふくい地域創生士

Interview

一期生の皆さんに抱負を聞きました！

地域政策学部の記念すべき第一期生となった74名。今後4年間、福井県内や国内他地域、海外でのフィールドワークや研究で、地域の新しい価値を創造するさまざまな知識を実践的に学びます。



2年次からのまちなかキャンパスでの学びも楽しみ！

地元福井をもっとよい街にできるように積極的に学んでいきたい。

大学生活での人との出会いを大切にしたい。



地域について同じ学部の仲間たちと本気で考えられるのが楽しみ！

他学科の学生とも積極的に関わり、自分とは異なる分野を学ぶ人の話を聞くことで視野を広げたい。



フィールドワークで実際に地域へ足を運び、住民の方々と関わりながら地域について学べることに期待しています。

実際に足を運んで得た経験を活かし、福井県の魅力やあまり知られていない観光地を県内外の人々に伝えていく方法を考えていきたい！

これまでに感じた地域課題について、専門的な視点から学べるのが楽しみです！



さまざまな地域課題に対して柔軟な解決方法があると思うので、地域の基礎を丁寧に学びたい。

Students

国内留学で異なる地域の文化や課題に触れ、福井を客観的に捉え直すことで、よりよい地域づくりに活かしたい。



地域活性化に貢献できる人材になるために、地域の課題や現状を学び、フィールドワークなどを積極的に取り組みたい。

フィールドワークで関わる地域に対してイベントや企画をやりたい！



幅広い知識と判断力を育む 講義科目

大学での授業は、各学部・学科の専門知識を学ぶ専門科目と、広い視野を獲得するための科目が用意されている一般教育科目に分かれています。
一般教育科目の単位は主に1年次に取り、多様な視点から物事を見ることができる、広い教養を持った専門家の育成を目指します。



Curriculum

カリキュラム

※2026年度カリキュラム。科目は変更となる場合があります。

必修科目	英語	英語A、英語B、英語C、英語D
	情報	ICTリテラシー、データサイエンス基礎、情報科学
選択科目	キャリア	キャリア形成論
	英語	英語発展IA～VIA、英語発展IB～VIB
	情報	データサイエンス応用、プログラミング基礎・応用、情報処理演習、メディア情報リテラシー、情報技術者(国家試験)ほか
	人文科学	哲学、倫理学、宗教学、歴史学、東洋思想、西洋思想、東洋史、西洋史、現代家族論、社会学 ほか
	社会科学	政治学、経済学、経営学、法学、日本国憲法、国際社会と法、現代人権論、異文化理解と多文化共生
	健康科学	体育実技、スポーツ科学、運動処方論
	自然科学	統計学基礎、解析学、代数学、物理学、バイオサイエンス基礎、脊椎動物の進化、地球史入門 ほか
	地域	恐竜学、福井を学ぶ、多文化共修フィールドワーク ほか
	第2外国語	中国語、韓国朝鮮語 ほか
	導入教育	導入ゼミナール、教養ゼミナール



語学教育

確かな語学力と国際的な視点をたずさえ、多文化共生時代を生きる

外国語を学べば、それだけ多くの人や情報とのつながりが生まれます。異なる文化を深く知り、異なる世界観にも触れられます。英語はもちろん、中国語、韓国朝鮮語、ドイツ語、フランス語、ロシア語も自由に学べる環境で、実践力と国際感覚を高めましょう。

Curriculum

4年間の学びの流れ

	使える英語を身につける	1年次	2年次	3年次	4年次
必修	あらゆる分野に応用できる基礎力	英語A～D 聞く・話す・読む・書く+語彙・文法の基礎固め			
選択	グローバル時代に必要な実践力	英語発展I～VI 興味関心・目的に合わせた発展学習			
留学	多文化共生に向けた異文化理解力	海外研修プログラム 目的・レベル別の語学研修			

語学教育プログラム

国際センター 森 英樹 教授

国際センター ヨコタ ミヨ 教授



聞くため、書くため、話すために読む

聞きとれない英語でも読んだらわかったという経験はないでしょうか。ところが、読んでわからない英語は聞いてもわかりません。書いたり話したりもできません。担当している授業では、英語で読む量、読む質、読む速度を上げることに重点を置いています。確かな読解力は、英語に限らず、コミュニケーション能力を高める原動力だからです。授業で扱うのは特別な英語ではありません。インターネット上の身近な記事やニュースなど普段使いの英語です。読む力を鍛えて、英語で理解できること、表現できることを増やしていきましょう。

キャリアを踏まえた実践的な英語学習

本学ではさまざまな専門性・背景を持つ教員が英語に携わっています。例えば私が担当する科目では、所属学部で活用できるように、看護福祉学部では現場に必要な英語基礎力を養い、地域政策学部では、日本の企業やものづくりに関する内容を英語で学びます。選択科目では、インターンシップレターの書き方、電話でのやりとりなど、将来の仕事を見据えた実践的スキルを養います。英語が得意な学生も不得意な学生も、国内外で働く場合でも、英語を使う機会は増えています。その時にしっかりと対応できるよう、幅広い学びを提供しています。

教員・専門分野一覧

国際センター

横山 芳博 副学長(総括)・センター長・教授

森 英樹 副センター長・教授 言語学、日英語対照

ヨコタ ミヨ 教授 形質・自然人類学、職業安全、英語

古藪 真紀子 准教授

国際開発、ジェンダーと開発、平和構築

Jared Denman 准教授

日本学

吉住 晃 准教授

英語教育、英語スピーキング

渡邊 綾 准教授

応用言語学、英語教育、会話分析

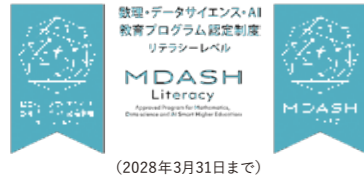
情報教育

情報センター
紹介はこちら



数理・データサイエンス・AI教育、DXの推進、ICT利用支援

AIの活用やデータ分析、プログラミング等、専門教育の基盤となる知識や技能を学ぶ「全学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を提供しています。本学のプログラムは、応用基礎レベルも含めて、どの学部の学生でも履修できます。



全学数理・データサイエンス・AI教育プログラムでは、基礎的素養を養う「リテラシーレベル」と現実の課題を解決する為の実践的な能力を育成する「応用基礎レベル」を実施しており、どちらも文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に認定されています。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム (リテラシーレベル)

データサイエンス基礎 情報センター 徳野 淳子 教授
田中 武之 准教授
谷川 衝 准教授



データリテラシーの修得

多様な専門分野に応用できるデータリテラシー（データを読み解き、適切に活用する能力）の修得を目標とした授業です。データを扱うために必要なExcel等の基本操作、データを読み解き、説明できるように、可視化手法や記述統計学の基礎を演習形式で学習します。また、産業界からゲストスピーカーをお招きし、身につけた知識や技能が社会でどのように活かせるかを考えます。

取得可能な資格

情報処理推進機構が実施する「ITパスポート」や「情報セキュリティマネジメント試験」、日本ディープラーニング協会が実施する「G検定」などの資格取得を支援する授業があります。

ICTを用いた学習環境

自分のパソコンを持参して個人やグループで学ぶことができるアクティブラーニング室やプログラミング等の演習で使用する情報演習室があります。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム (応用基礎レベル)

プログラミング応用 情報センター 村田 知也 准教授



最新のAIを活用したアプリ開発の実践

常に最新のAI技術を取り入れたプログラミング演習を行っています。探求型の実践的な演習として、株価予測アプリの開発や企業の実データを用いた売上予測アプリの開発、脳の画像データから病気の有無を分類するアプリの開発など、多彩なプロジェクトに取り組んでいます。これにより、高度なプログラミングスキルとAI技術の応用力を身につけることを目指しています。

学生のための情報関連の相談窓口



「情報センター」では、学内Wi-Fiへの接続やパソコン利用等に関するさまざまな相談に応じています。

教員・専門分野一覧

情報センター
横山 芳博 副学長(総括)・センター長・教授
徳野 淳子 副センター長・教授 情報科学、教育工学
田中 武之 准教授 数理工学、信頼性工学

谷川 衝 准教授 天文学、データサイエンス、数値シミュレーション
村田 知也 准教授 情報工学、プログラミング教育、VR、ゲーム、AI
眞田 嵩大 助教 理論計算機科学、圏論的意味論

一般教育

共通教育
情報はこちら



世界の中での自分の位置を知る

本学が教養教育を通して目指すのは、多様な知識を有し、確固とした視点に基づいた確かな判断を下し、行動することができる人間の育成です。各学部の専門教育と連携しながら、総合的な視野を育てる教育を提供します。

一般教育科目例

体育実技 共通教育センター 石原 一成 教授



スポーツで学び、仲間とつながる

体育実技は、男女が同じクラスで学ぶ一般教育科目です。週1回の授業を通して心身の健康づくりに取り組みます。スポーツを楽しみながら、「種目を学ぶ」のではなく「種目で学ぶ」という姿勢を大切にしています。単に技術向上を目指すだけでなく、体力の向上や生涯にわたってスポーツに親しむための基礎的な知識と能力を実践的に身につけていきます。また、学部を越えた学生同士の交流が生まれ、仲間と協力しながらコミュニケーションを深めることも大切なねらいです。運動が得意でない方もどうぞ気軽に受講してください。

社会学 共通教育センター 加藤まどか 准教授



この社会の「当たり前」をとらえ直す

私たちは、自分が生きている社会の影響を強く受けており、その磁場から抜け出すのは容易ではありません。しかし社会の「当たり前」を成り立たせている論理や仕組みを理解したり、他の社会での「当たり前」と比較したりすることで、その磁場から少し距離をとることは可能です。この授業では、学校で教育を受ける、職場で働く、人と支え合う、食物をとって生きる等の局面において、「当たり前」とされる見方をとらえ返していきます。この社会の「当たり前」を再考することは、より柔軟な見方を促し、自らの選択肢の幅を広げることに繋がります。

教養ゼミナール (法的に考える) 共通教育センター 根田 恵多 准教授



法的思考で社会を捉える、討論で視野を広げる

少人数でじっくり学ぶゼミ形式の授業です。社会で起こるさまざまな問題を、法の考え方を手がかりに整理し、自分なりの答えを探していきます。前半は憲法・民法・刑法等についての基本的なテキストを使って、「原則と例外」から考えるという法的思考の基本を身につけます。後半は班ごとに判例を調べ、表現の自由、プライバシー、夫婦別姓、障害、学校の校則など身近なテーマについて発表・討論します。学期の半ばには、福井地裁に裁判傍聴にも行っています。受講生同士で対話しながら視野を広げ、考える力を伸ばしていきます。

教員・専門分野一覧

共通教育センター	亀田 勝見 教授 中国思想史	加藤 まどか 准教授 社会学
北島 啓嗣 副学長(地域連携)・センター長・教授	木村 小夜 教授 近代国文学	根田 恵多 准教授 憲法学、比較憲法学(アメリカ)
石原 一成 副センター長・教授 健康・スポーツ科学	長岡 亜生 教授 アメリカ文学	渡邊 浩一 准教授 哲学

「知の活用」を学び、豊かに現代社会を生き抜く人材を育てる

日々複雑化・高度化する社会の課題を解決し、持続可能な社会を実現する鍵は、「知の活用」にあります。本学大学院には、特色のある4研究科8専攻が設置され、「知の活用」を学ぶ上で最適な学修環境を提供し、専門的知識・能力の活用を図る人材の育成と高度な学術研究を推進しています。



充実した支援制度

長期履修制度

博士前期課程／修士課程／博士後期課程

職業を有している等の事情により、2年(後期課程は3年)では履修が困難な場合、2年(同3年)分の授業料で3年または4年(同4年、5年または6年)かけて履修することができます。

リサーチ・アシスタント

博士後期課程

教員が行う研究プロジェクト等において、研究補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

教育訓練給付制度

経済・経営学研究科(博士前期課程)
看護福祉学研究科/健康生活科学研究科

一定の条件(雇用保険上)を満たし修了した院生に対し、授業料等の2割(上限10万円)に相当する額をハローワークから支給する教育訓練給付制度の講座に指定されています。

フィールドワーク研修旅費助成

博士前期課程／修士課程

授業の一環として、実地調査、情報収集等の研究活動を行う場合において、その研修に要する旅費を助成します。

ティーチング・アシスタント

博士前期課程／修士課程

学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

学会参加旅費助成

博士後期課程

研究領域の最新情報の把握と自らの研究成果発表を行う場合において、その学会参加に要する旅費を助成します。

経済・経営学研究科 Graduate School of Economics and Business Administration

経済・経営学研究科では、学部からの進学者だけではなく、海外からの留学生、現役の社会人、退職後に改めて深い学びを希望する方など、多様な院生が互いに刺激し合いながら研究に励んでいます。大学院での研究には、教員からの知識を受け取るだけでなく、主体的に自らの研究課題を設定し、先行研究を調べ、新たな知見を得ようとする姿勢が求められます。学術論文として研究の成果を発表するまでの道のりは決して楽なものではありませんが、本研究科には研究活動をしっかりとサポートすることのできる教員が揃っています。また、教員との距離が近いという本研究科ならではの長もあります。

地域・国際経済政策専攻 博士前期課程 2年

- 経済学に基礎を置き、地域公共政策、国際経済の研究を行います。
- 修士論文を書いて、修士(経済学)の学位を取得できます。

経営学専攻(ビジネススクール) 博士前期課程 2年

- 経営学・会計学に基礎を置き、企業経営・管理の研究を行います。
- 修士論文またはプロジェクト研究に取り組み、修士(経営学)の学位を取得できます。

経済研究専攻 博士後期課程 3年

- 理論と政策を一体化させた高度な学術研究を行います。
- 修士論文を書いて、博士(経済学)の学位を取得できます。

看護福祉学研究科 Graduate School of Nursing and Social Welfare Sciences

看護福祉学研究科は、看護学専攻と社会福祉学専攻からなり、医療・看護学から社会福祉学までの幅広い領域を対象として扱います。両専攻が共に学べる共通科目を置くと共に、それぞれの専門科目を学修できるボーダーレスなカリキュラムを組んでいます。研究において必要な高度な専門知識、方法論、論理的思考や生命倫理を指導します。また、通信情報技術(ICT)の積極的活用による遠隔での授業・研究指導にも対応します。Virtual Reality(バーチャルリアリティ)などのDXの利用や他専門分野との融合研究も推進します。将来の高度専門職・研究者・教育者を担うリーダーとなる人材を育成します。



看護学専攻 修士課程 2年

- 看護学専攻は看護マネジメント学、健康科学・基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、地域・在宅看護学、公衆衛生看護学の9領域を設けています。
- 看護マネジメント学領域は日本看護協会の認定看護管理者審査要件を満たしています。
- 養護教諭一種免許状を有している人は、「養護教諭専修免許状」を取得できます。
- 修士(看護学)の学位を取得できます。

社会福祉学専攻 修士課程 2年

- 社会福祉学専攻は、北陸で最初に開設された福祉系大学院です。
- 毎年行われる研究報告ワークショップや中間発表会で研究のブラッシュアップを図ります。
- 修了生は、福祉・保健・医療・教育・司法・労働等の多方面の分野で全国的に活躍しています。
- 修士(社会福祉学)の学位を取得できます。

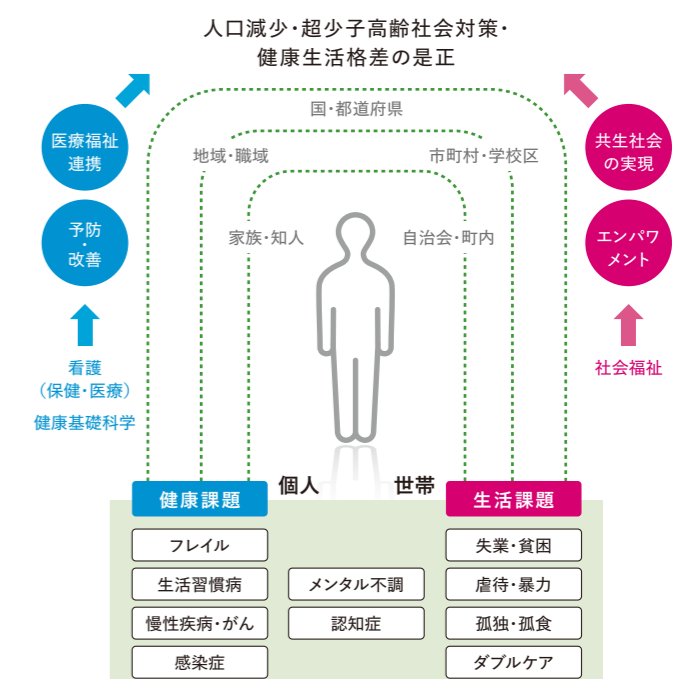
健康生活科学研究科 Graduate School of Health and Human Life Sciences

健康生活科学研究科は、2023年(令和5年)に開設した福井県内では初の看護系博士後期課程です。本研究科では、保健・医療を担う看護学と福祉を担う社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に研究する「健康生活科学」という新学問領域を立ち上げ、「Well-being(健康と幸福)に向けた共生社会」を目指す研究の推進と研究者の育成を目的とします。

健康生活科学専攻 博士後期課程 3年

- 健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な研究者、基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる大学教員や行政担当者を養成します。
- 博士(健康生活科学)の学位を取得できます。

社会全体のWell-being(健康と幸福)の向上

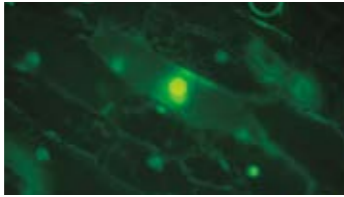


生物資源学専攻 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

豊かな自然に囲まれた地域特性を活かし、微生物、動物、植物を含む多様な生物資源を作出・開発します。また、これらの生物資源を素材として遺伝子、酵素・タンパク質、代謝産物などの生物機能を分子レベルで解明し、これらの成果に基づく応用開発を行います。加えて、有用微生物や食品の機能性の探求だけでなく、環境との調和を考える上で重要な植物資源の保護や生態学的研究、地域農政、古生物学なども研究しています。

分子生物学

生化学、分子生物学、分子細胞生物学の手法を用いて、植物細胞の諸機能を支える遺伝子やタンパク質の働きを解明することを目指しています。具体的には、植物が保持するシグナル情報伝達系、病害抵抗性、形態形成、特化代謝産物生産、プログラム細胞死の仕組みを解明しています。更に、これらの成果を応用して新規植物資源の開発を試み、食糧分野や環境分野への貢献を目指しています。



植物資源学

栽培植物およびそれに近縁の野生植物について、現地調査、採集材料・実験系統の遺伝分析を行うと共に、有用形質の発現機構を分子生物学的に解析し、その育種的利用を図っています。植物と環境の相互作用のメカニズムを生理学的、生態学的に究明し、気候変動に適応した植物の作出やカーボンニュートラル・環境保全に配慮した植生管理法の開発をしています。



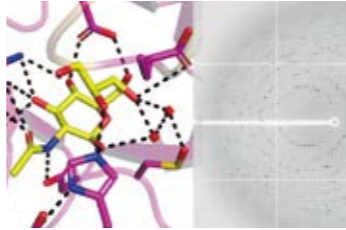
分子機能科学

有用微生物の探索、微生物機能に関する基礎および応用研究を行い、微生物および酵素を応用した産業的有用物質の生産とその機能の開発を目指しています。各種食品成分が示す多彩な生理機能を動物個体や組織・細胞レベルで究明し、機能発現機構を解明すると共に、微生物酵素などを利用した機能性食品の創製を目指した基礎研究を行っています。



応用生化学

生体機能の解明とその工学的応用に関する基礎研究として、タンパク質・酵素の立体構造解析および機能発現メカニズムの理解、タンパク質工学を利用した機能改善、新規分子素子の設計および高感度分析法の開発、バイオセンサーやバイオ電池の開発、生物電気化学的手法を用いた生体膜モデル系の基礎研究とその応用に関する研究などを行っています。



創造農学

農作物の品種改良・生産・利用に関する研究、生物資源や微生物の活用に関する研究、地域農政に関する研究を行っています。これらの研究成果を統合し、「農の新時代」の実現を目指します。



古生物学

古代の生命の記録である化石を用いて、生命進化や古環境を解明することを目指しています。特に恐竜を中心とした脊椎動物化石について、国内外の野外調査を重視しながら、CTを使った頭骨の内部構造の解析や現生脊椎動物との比較研究、恐竜時代の脊椎動物の分類学的・生態学的研究を行っています。



海洋生物資源学専攻 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

日本海・若狭湾など大学を取り巻く多様性に満ちた海域をフィールドに海洋生物資源の持続的な利用を目指して多角的な調査研究を実施します。魚介類や藻類など海洋生物の生理・生態に関する基礎的研究と共に、有用資源の増養殖に関する研究、海洋環境やその保全に関する研究を行います。加えて、海洋生物の原料学的特性の解明、新機能性食品開発などの応用・開発研究を行います。

水圏生物生態学

水圏生物の生態、環境応答、環境適応、多様性などの解明を目指し、水圏の一次生産を担う藻類の生物多様性や適応進化、形態形成や生活環の制御機構、独立栄養や繁殖に関する生理生態、魚類を中心とする水圏動物の回遊生態や生物多様性、水圏生態系の生物生産や食物網構造ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。



海洋生物培養学

水圏生物の生物学と増養殖技術の新たな展開を目指し、動物生理学、遺伝学、ゲノム科学、海洋動物培養学、水族病理学、免疫学などを基盤として、基礎的および応用的な教育・研究を行っています。特に、先進的なゲノム科学を基盤とし、成熟産卵の制御、成長促進、魚病対策、育種などのために、実験室のみならず、養殖場などの学内外で広く研究を行っています。



海洋生物育成学

水圏生物の増養殖技術と生物多様性保全の新たな展開を目指し、海洋生物・生態学、水圏生態学、行動学、水産資源学、水族栄養学などを基盤として、基礎的および応用的な教育・研究を行っています。特に、現在進歩の著しいバイオテクノロジーを基盤とし、成熟産卵の制御、餌料生物の培養、物理化学的および生物的環境の制御、成長促進、養魚飼料開発、生物多様性保全などのために、実験室のみならず、養殖場などのフィールドでも研究を行っています。



海洋生態環境学

海洋や湖沼などの水圏環境を物理学的、化学的、微生物学的に解明することを目指しています。海洋物理学や水理学を基盤とした海洋の流れや波浪に関する研究、生物地球化学や微生物の生理学や生態学的側面から物質循環過程や水質に関する研究、ならびに水圏環境の物理的・化学的・微生物学的諸過程と生物生産の相互作用に関する研究を行っています。



海洋生物資源利用学

海洋生物資源を、食料をはじめ化粧品・医薬品など生命関連素材として高度利用することを目指しています。水産物の安全性、鮮度、機能性に関する研究、魚介類コラーゲンの性状解明・有効活用に関する研究、未利用資源からの生理活性物質の探索とその応用研究など、海洋生物資源を有効利用するための研究を基礎から応用まで幅広く展開しています。



海洋情報科学・社会科学

次世代の水産養殖技術の創生を目指し、情報技術を駆使して、ゲノム科学に基づいた養殖技術や画像解析による養殖管理手法の開発を進めています。また、持続可能な水産業の確立を目指し、マーケティングやビジネスモデルの構築などをテーマに、情報科学・社会科学の立場からも教育・研究を進めています。



カリキュラム 博士前期課程

[基礎科目]	
分子生物学	植物分子生物学/応用分子細胞生物学/分子生物学専攻演習/分子生物学専攻実験
植物資源学	遺伝資源学/生物生産環境学/植物資源学専攻演習/植物資源学専攻実験
分子機能科学	微生物機能学/食品機能化学/分子機能科学専攻演習/分子機能科学専攻実験
応用生化学	構造生物学/生体機能分子工学/応用生化学専攻演習/応用生化学専攻実験
創造農学	実践育種学/実践園芸学/創造農学専攻演習/創造農学専攻実験
古生物学	生物進化学/地球環境史学/古生物学専攻演習/古生物学専攻実験
[専門科目]	
	天然分子機能学/生体物理化学/地域生態学/植物感染生理学/薬物作用学 植生管理学特論/英語発表技法/バイオインフォマティクス特論/農産物機能利用学特論

[研究科共通の授業科目] 分子進化学特論/生命機能有機化学特論/光合成特論/生殖生物学特論/動物遺伝子工学特論/細胞培養工学特論/食料・農業政策特論

博士後期課程

[専門科目]	
分子生物学	分子生物学特別研究
植物資源学	植物資源学特別研究
分子機能科学	分子機能科学特別研究
応用生化学	応用生化学特別研究
創造農学	創造農学特別研究
古生物学	古生物学特別研究
[選択科目]	
	博士論文指導S・F

※2026年度カリキュラム科目は変更となる場合があります。※演習・実験・研究のIS・IF・IIS・IIFは省略しています。

カリキュラム 博士前期課程

[基礎科目]	
水圏生物生態学	藻類学/水圏生態学/水圏生物生態学専攻演習/水圏生物生態学専攻実験
海洋生物培養学	海洋生物培養学/海洋生物培養学専攻演習/海洋生物培養学専攻実験
海洋生物育成学	海洋生物育成学/海洋生物育成学専攻演習/海洋生物育成学専攻実験
海洋生態環境学	海洋生態工学/海洋微生物生態学/海洋生態環境学専攻演習/海洋生態環境学専攻実験
海洋生物資源利用学	生物資源利用学/食品機能化学/海洋生物資源利用学専攻演習/海洋生物資源利用学専攻実験
海洋情報科学・社会科学	海洋情報科学・社会科学/海洋情報科学・社会科学専攻演習/海洋社会科学専攻実習/海洋情報科学専攻実験
[専門科目]	
	専門特別講義I~VI/水圏生物生態学特論I・II/海洋生物培養学特論/海洋生物育成学特論/海洋生態環境学特論I・II/海洋生物資源利用学特論I・II/海洋情報科学・社会科学特論I・II/水圏遺伝資源学特論

[研究科共通の授業科目] 分子進化学特論/生命機能有機化学特論/光合成特論/生殖生物学特論/動物遺伝子工学特論/細胞培養工学特論/食料・農業政策特論

博士後期課程

[専門科目]	
水圏生物生態学	水圏生物生態学特別研究
海洋生物培養学	海洋生物培養学特別研究
海洋生物育成学	海洋生物育成学特別研究
海洋生態環境学	海洋生態環境学特別研究
海洋生物資源利用学	海洋生物資源利用学特別研究
海洋情報科学・社会科学	海洋情報科学・社会科学特別研究
[選択科目]	
	博士論文指導S・F

※2026年度カリキュラム科目は変更となる場合があります。※演習・実験・研究のIS・IF・IIS・IIFは省略しています。

地域経済研究所 Research Institute for Regional Economics

地元・地方から世界・地球まで 地域経済の発展に貢献する研究機関

地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。少子高齢化は人口減少を招き、企業の後継者不在問題は、魅力的な働く場を失わせます。また、医療や介護の現場を中心に、人手不足が深刻な状況に陥るなど、多種多様な問題を地域は抱えています。地域経済研究所では、地域のリアルな実態を客観的に把握し、理論と現場のハイブリットな調査や分析を通じて、地域経済の活性化に向けた研究活動を行っています。また、経済界への情報提供や行政機関への地域課題の解決に向けた協力、県内企業のグローバルビジネス支援など、多種多様な機関と連携・協働しながら、学術系シンクタンクとしての役割を果たしています。



CloseUp!

北陸新幹線開業による福井県経済の変化を分析

2024年3月、北陸新幹線の金沢―敦賀間が開業しました。地域経済研究所では「北陸新幹線プロジェクト」を立ち上げ、地域経済や都市構造に関する統計データの分析や地図作業などを2024年度から3年間にわたって行いました。また2025年10月にハビリンホールで地域経済研究フォーラム「北陸新幹線による福井の変化と今後の政策課題を探る」を開催するなど、研究成果を広く地域の方々と共有できるイベントも開催しています。



地域経済やグローバル経済などの最新情報の発信

地域経済やグローバル経済、地域企業の経営、Well-being(幸福)、DXなど、多様なテーマを設け、対面形式やオンライン形式でのセミナー開催や、地域分析のためのデータベースをWebで公開するなど、コンテンツの充実を図っていきます。



国内外の研究機関との連携

北九州市立大学の地域戦略研究所、大韓民国大邱政策研究院と連携協定を結んでいます。2025年8月には、大邱政策研究院から3名をお招きし、「韓国の国土政策と地方高速鉄道―日本との比較」をテーマに、グローバル地域研究セミナーを開催しました。

教員・専門分野一覧

地域経済研究所 松原 宏 地域政策学部長・所長・教授 佐々井 司 教授 人口学、社会保障、統計分析、社会調査 ※兼任教員：地域政策学部の教員18名

図書館 Library

学生と教員が知を深めるための情報シンクタンク

図書館では、図書や学術雑誌の収集・整備を通じて、学生・教員の学修、教育、研究活動を支援しています。また、地域に開かれた図書館として、県民の方々にも閲覧・貸出サービスを広く提供しています。図書館・室は永平寺、小浜、勝山の各キャンパスに設置されています。



蔵書は約40万冊にのぼり、毎年、図書約3,000冊、学術雑誌約450種、電子ジャーナル約4,000種(SpringerLink、Business Source Premier など)を購入しています。また、東洋経済DCL、CAS SciFinder、Web of Science等、多様なデータベースも整備しています。さらに、永平寺キャンパス図書館の閲覧室内にはアクティブ・ラーニング・スペースを設け、グループ学習や授業での活用を支援しています。

生物資源開発研究センター (生物資源学部附属施設) Research Center for Bioresources Development

「農」に関わる多くの人たちと連携・交流

生物資源開発研究センターは、本県に適した農作物の新品種開発や新微生物資材、環境調査、地域農政課題解決策などの研究成果(シーズ)を民間企業や地域農業者、行政などのニーズとマッチングすると共に、成果品の社会実装を担う大学発ベンチャー「県大アグリ」と連携しながら、産官学共同で地域農業振興への貢献を目指しています。



また、創造農学科開設を契機として、「農」に関わる多くの農業経営者や企業団体、行政、大学教員による「ふくい農力アップ!ネットワーク」を設立しました。毎年開催する情報交換会などが契機となり新プロジェクトも始動しています。今後とも地域との連携・交流をさらに進め、地域課題の解決や人材育成に取り組んでいきます。

海洋生物資源臨海研究センター (海洋生物資源学部附属施設) Research Center for Marine Bioresources

先端増養殖科学科との相乗効果

海洋生物資源臨海研究センターは、水産海洋研究に欠かせない魚介類の飼育設備と実験に必要な高度な分析機器を備えた「かつみキャンパス」の施設です。さらに、目の前に広がる小浜湾で増養殖研究や環境調査をするための調査船「セリオラII」を所有しています。



これらは、海洋生物資源学部共通の施設、機器として教員・学生に利用されています。また、先端増養殖科学科の研究講義棟と新しい飼育棟が供用されました。先端増養殖科学科との相乗効果を発揮して、互いの機能を補完し合うことができ、さらなる教育の充実と研究の深化が期待されます。

古生物研究における “リアル”と“デジタル”の融合

福井県には日本最大の恐竜化石発掘現場があります。1989年に始まった発掘調査は、2023年まで30年以上にわたり継続され、鳥類を含む7種の新種の恐竜類が発見されました。2023年には福井県立恐竜博物館がリニューアルされ、年間100万人以上が訪れる日本随一の自然史系博物館となっています。

こうした「恐竜王国」福井において、「学生が恐竜を研究できる場」を提供し、恐竜の研究拠点になることを目的とし、2013年に恐竜学研究所が設立されました。本研究所では、恐竜博物館との密接な連携による展示標本や発掘現場を活用した、いわゆる“リアル(フィジカル)”な研究を中心に据えつつ、最新機器を使用した“デジタル”な研究手法も取り入れ、質の高い研究を展開しています。

さらに、福井県内にとどまらず、国内外での発掘調査や標本調査を通じて、多様な研究機関とのネットワークを構築し、恐竜だけでなく幅広い古生物の研究を進めています。近年では、CTスキャン技術を活用した研究にも力を入れ、最新技術を駆使した研究手法の確立と新たな分野の開拓を進めています。



福井県立恐竜博物館

新種の恐竜を発表

2023年9月、福井県で6番目となる新種恐竜(鳥類を除く)を発表しました。この恐竜は、走るのに適した体型を持つ「ダチョウ型恐竜」として知られるオルニトミモサウルス類に属します。従来、ティラノサウルス上科に特有と考えられていた特徴がこのグループにも見られることを示す重要な発見であり、「福井の暴君(ティラノ)もどき」を意味する *Tyrannomimus fukuensis* (ティラノミムス・フクイエンシス) と命名されました。オルニトミモサウルス類としては日本初の新種です。さらにこの発見により、このグループの起源が従来より700年以上遡る可能性が示され、進化や分布の拡がり考察する上で貴重な知見が得られました。



ティラノミムスの全身復元骨格

CloseUp!

デジタル技術が明らかにする恐竜の生態

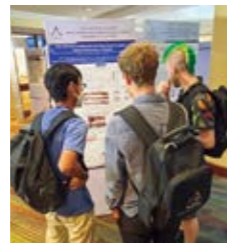
発掘調査に加え、CTスキャンを活用した研究にも注力しています。骨化石を破壊せずに内部構造を解析できるため、未知の恐竜の生態を解明する重要な手法となっています。本研究所では、多様な化石をCTスキャンし、恐竜のケガや病気など、当時の生活環境を明らかにしていきます。



ミイラ化したブラキロフォサウルス、通称“レオナルド”の皮膚痕で覆われた左前肢(左)と断面画像から復元した骨化石の様子(右)

海外ネットワーク

現場重視の恐竜研究機関として、福井県立恐竜博物館や中国、タイなどの国内外の博物館・研究機関と連携し、共同研究や交流を積極的に推進しています。海外での学会参加に加え、福井県でも国際シンポジウムを開催し、研究レベルのさらなる向上を目指しています。



多様な分野との交流

本研究所は、開所以来、多様な研究機関と交流を重ね、密接な連携を築いてきました。国内外の大学や博物館、研究機関に加え、産業技術総合研究所発ベンチャーである地球科学可視化技術研究所とバーチャル技術を活用した研究や、地域主導型の実践的なオープンイノベーションを推進しています。

地域連携 Regional Cooperation

地域連携
情報はこちら



福井県全域を 教育・研究のフィールドに 地域の持続可能性を支える 大学を目指して

本学では、地域貢献活動を大学一丸となって進めるため、学部の枠を越えた全学的組織として2017年に「地域連携本部」を設立し、2025年には「地域連携センター」として新たなスタートを切りました。地域の課題と学術研究をつなぐ役割を果たすため、県内企業との共同研究や商品開発、大学発スタートアップの創出支援、研究成果の情報発信など地域とタイアップしたさまざまな取り組みをコーディネートしています。



教員・学生・職員・地域が一体となり、チームで連携しながら、答えのない問いに共に挑む実践活動の場



活動紹介

私たちは地元福井県内のさまざまな場面で「推し活」を展開!

- 地域課題に貢献：課題解決のための共同研究・受託研究・学術指導の実施、学内ファンドなど
- 地元企業の経営課題を解決：ふくい企業価値共創ラボ
- 広報・情報発信：大学HP・SNS・ラジオ等を通じた地域への情報発信
- 各種イベントでの発信：地域産業展示会やビジネスマッチングイベントへの参加(例：大学見本市、テクノフェア、マッチングHUB、アグリビジネス創出フェアなど)
- 研究成果の発信：研究シーズ集の発行を通じた研究内容の紹介
- 社会実装・知財支援：知的財産関連セミナー開催、研究成果の社会実装支援
- スタートアップ創出支援：TeSH(Tech Startup HOKURIKU)などを通じた起業支援

CloseUp!

FPUの「推し活」は、いち「推し」の研究の魅力を広く伝え、応援の輪を広げていく活動です。

推し活①/地域から全国へ。FPU研究シーズ発信の軌跡

本学は、全国規模の展示会やマッチングイベントに積極的に出展することで、研究成果の社会実装と地域連携の拡大に取り組んでいます。

- ・ 大学見本市～イノベーション・ジャパン(初出展)
 - ・ ジャパン・インターナショナル・シーフードショー
 - ・ アグリビジネス創出フェア(初出展)
 - ・ 北陸技術交流テクノフェア
 - ・ Matching HUB Hokuriku 2025
- [東京ビッグサイト] [福井県産業会館] [ANAクラウンプラザホテル金沢]



推し活②/ビジネスアイデアコンテストに参加

金沢で開催された北陸発の産学官連携マッチングイベント「Matching HUB Hokuriku 2025」の「学生ビジネスアイデアコンテスト M-BIP」に本学経営学科の学生が入選し、ポスターセッションを行いました。本イベントは、学生のアイデア、研究成果をビジネスに活かすべく、地域の若い力をイノベーションにつなげ、北陸地域の活性化と人材育成を目的としています。



教員・専門分野一覧

地域連携センター	
北島 啓嗣 副学長(地域連携)・センター長・教授	國崎 大恩 教授 教育哲学、教育思想史、教師教育
黒田 祐二 副センター長・教授 臨床心理学、教育心理学	樋口 人志 特命教授 産学連携、知的財産、技術移転



グローバルな未来への挑戦をバックアップ

さまざまな留学・海外研修プログラム

福井県立大学には、さまざまな留学・海外研修プログラムがあり、学びに合わせて選べます。補助制度もあります。

英語発展個人研修

夏季または春季休暇中の2～5週間/イギリスまたはオーストラリア

シンガポール異文化コミュニケーション研修: Beginner

夏季休暇中の1週間/シンガポール

Lōkahi: 英語で学ぶハワイ文化研修 長期留学

春季休暇中の2週間/アメリカ

福井県立大学の海外協定校*へ半年～1年間 ※アメリカ、カナダ、イギリス、韓国、台湾、中国、ベトナム、タイ

学部などで実施する研修など

看護福祉学部のフィンドレー大学短期研修(アメリカ)や海洋生物資源学部の養殖インターンシップ(フィリピン)など。

他にも、ゼミや研究室単位で海外活動が実施されています。また、海外協定校が主催するサマープログラムなどの機会もあります。

リラックスした空間での多文化交流

- ワールド カフェ
○ World Café/永平寺キャンパス
- オーシャンズ エックス
○ Ocean's X/小浜キャンパス

学内に外国人インストラクターとの英会話や多文化交流を楽しめる「World Café」と「Ocean's X」を設けています。これらの交流スペースは、留学生による外国語勉強会や、学生同士での留学、海外旅行の情報共有、各種イベントなど、学部や学年に関係なくさまざまな交流ができる場として利用され、学生スタッフたちが意欲的に活動に関わっています。



外国人留学生との交流

福井県立大学では、さまざまな国・地域から外国人留学生を受け入れています(9か国・地域から42名)。※2026年4月時点

チューター制度

外国人留学生をサポートする日本人学生チューターを採用しています。チューターは外国人留学生と接し、互いの文化や考え方の違いに触れることで、異文化理解を深めることができる貴重な体験です。

外国人留学生の交流の場としての「World Café」

World Caféはさまざまな国からの留学生が集う憩いの場でもあり、日本人学生と留学生の交流イベントも開催しています。また、留学生が気軽に相談できるよう、ワンストップ相談窓口を設けています。

- 英語力の向上と国際化をより一層推進するため、2025年4月に「国際センター」を設置しました。3つのチーム(語学教育、海外派遣・交流、外国人学生支援)で、グローバルに活躍できる人材の育成を目指します。
- 実践的な語学力や多文化理解等、国際感覚を身につけたグローバル人材の育成の場として、2027年4月にオープン予定の「福井県立大学 Global Gateway」の整備を開始しました。



先輩体験談

交換留学

留学先:中国/吉林大学
期間:11ヶ月



経済学部 経済学科
大友 智弘さん

日本ではわからないその国の様子を実感できるのが最大の魅力

日本に対する中国の経済的影響力に興味があり留学。前期は中国語、後期は国際経済や貿易を学んでいます。中国語は漢字なのでわかりやすく、特に四字熟語は親しみがあり覚えやすいです。現地の食事や習慣、街歩きを通じて、ニュースで見聞きする中国とは異なる一面を感じられるのが留学の醍醐味。また、エジプト人のルームメイトとの交流も楽しんでいます。将来は中国語を活かした仕事や海外で活躍したいと考えています。



異文化コミュニケーション研修

研修先:シンガポール/シンガポール・ポリテクニク
期間:1週間



海洋生物資源学部 先端増殖科学科
一瀬 樹羽さん

英語に囲まれた環境で学ぶことで、英語運用力が最大限に引き出された

海外で生きた英語に触れたいと思い参加しました。英語の授業と、最終日には英語でのプレゼンテーションに挑戦。私の班はシンガポールの「Seafood culture, Fishery industry」をテーマに、インタビュー内容の提案や資料を、議論を重ねながら作成して発表しました。聞き慣れない英単語にも遭遇しましたが、相手は英語のプロ。良い意味で相手に甘えることで、自分の英語運用力が最大限に引き出され、短期間で積極的に英語を話せるようになりました。



語学留学

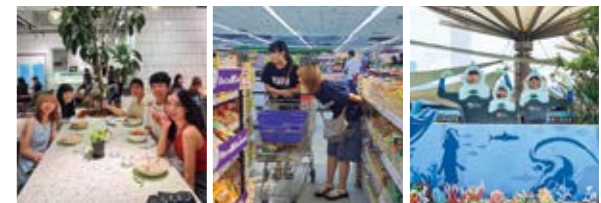
留学先:フィリピン
期間:1ヶ月



経済学部 経済学科
田村 環和さん

個人&グループレッスンに加え、現地でできた友人との交流が楽しい

在学中を有意義に過ごそうと留学に参加し、英語の個人レッスンとグループレッスンを経験しました。最初は知っている単語を駆使しながらの会話でしたが、個人レッスンでは先生との「雑談」が勉強だったのでとても楽しく、リスニングはすぐに慣れたという感じでした。現地の友人との買い物や食事や英会話へのハードルがかなり低くなり、身近になりました。この経験を活かして、今後も積極的に新しい環境に飛び込んでいきたいです。



海外ボランティア

活動先:フランス
期間:1ヶ月



経済学部 経営学科
石田 尚也さん

多国籍の参加者から学んだ自由な言動と挑戦することの大切さ

在学中に何かを頑張りたいと海外でのボランティアを選びました。午前中は墓地の清掃や広場の解体作業など地域のボランティア団体と活動。午後はフリーで、サッカーやサイクリング、休日には近くの街や海への小旅行などを楽しみました。ボランティアのメンバーはさまざまな国から来た約10人。彼らの自由な言動は、空気を読み過ぎて悩むこともある自分には大きな刺激になりました。今後も何事にも挑戦し、もっと広い世界を見たいと思っています。



キャリアサポート・就職支援

Career Support

君の「やりたい!」を全力でサポート

就職活動では大学での学びや経験によって培われた自分自身を分析し、強みや熱意を企業等に正しく伝えることが求められます。県大には就職活動の拠点となる「キャリアセンター」があり、さまざまな支援プログラムと個別の面談を通して、学生一人ひとりに寄り添った、きめ細かな就職支援を行っています。多くの県内企業との信頼関係を活かし、地元根差した優良企業の求人情報を揃えて、就職活動をサポートします。

就職サポートの例

- 就職活動オリエンテーション
- インターンシップ対策
- 自己分析・自己PRの作成
- エントリーシートの書き方
- 内定者就職活動体験報告会
- 面接に向けたマナー講座 など

就職希望の学生

ほぼ全員が就職

99.8%

就職率(2025年度卒業生)

県大では、社会に出てから役立つ実践的な知識やスキルを身につけるため、地元企業人による講義や現場での学びを重視した授業が充実しています。さらに、就職アドバイザーの丁寧なサポート体制により、高い就職率を毎年実現しています。

公務員就職の

実績も多数

公務員の就職者数
(2025年度)

75名

2025年度の就職者のうち、約2割の学生が国家公務員や地方公務員として就職しています。

年次別スケジュール		
	就職活動スケジュール	キャリアセンター就職支援
1~2年次		<ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアガイダンス
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自己分析 ■ 業種・業界・企業研究 ■ インターンシップ ■ エントリーシート準備 ■ 会社説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就職ガイダンス ■ 業界研究セミナー ■ 業種・業界説明会 ■ (随時)個別相談 ■ エントリーシート個別面接対策
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選考開始(筆記試験・面接試験) 	

就職ガイダンスの開催

年間を通じて、就職活動に必要な業界研究や自己分析の方法など、就職活動についてイチから学べるテーマ別のガイダンスを実施。また、就職活動体験報告会では、内定を得た先輩の体験談やアドバイスを聞くことができます。



企業説明会の開催

県内外から企業を招き、学生向けの業界・企業研究セミナーや個別企業説明会を開催しています。さまざまな業種の企業の人事担当者やOB・OGから、学生が直接説明を受けられる機会を設けています。



個別面談

民間企業での採用実務やキャリアコンサルティングに熟達した就職アドバイザーが常駐。学生の相談に個別対応し、丁寧にアドバイスしています。エントリーシートの添削や面接試験を想定した実践的な指導なども随時行っています。



公務員対策も充実

大手公務員対策の専門学校と連携した公務員試験対策講座を学内で受講できるほか、官公庁人事担当者やOB・OGを招いた学内官公庁説明会や内定者報告会を開催。公務員として働きたい学生の皆さんをバックアップしています。



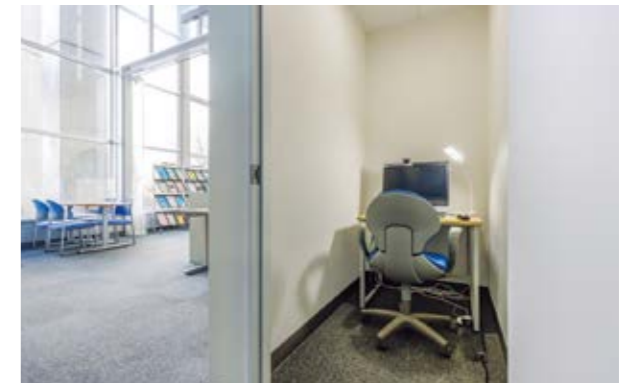
インターンシップ

インターンシップとは、学生が企業などで就業体験を行う制度で、実際に職場に触れることで仕事への理解を深めるものです。県内外のインターンシップ情報を集めて提示するほか、事前ガイダンス等の事前指導を行っています。



WEB面接用個室ブース

就職活動のオンライン化に伴い、静かな環境で就職活動に取り組めるWEB面接用個室ブースを設置しています。授業の合間などに、企業説明会や面接、WEBテストを受けることができます。



図書・雑誌の閲覧

就職試験対策・面接対策に役立つ参考書や経済雑誌、公務員採用試験の問題集など就職活動に役立つ資料を豊富に取り揃えています。



求人情報閲覧システム「つぐみナビ」

学内専用の閲覧システム「つぐみナビ」では、各企業から寄せられた求人情報のほか、先輩の就活体験記を閲覧できます。



教員一覧 | キャリアセンター | 北島 啓嗣 副学長(地域連携)・センター長・教授

自分を知った自己分析を
今後のキャリアや人生に活かす

ものづくりへの興味と、持続可能な製品開発の取り組みに共感して就職を決めました。専門分野だけでなく、情報を収集・整理し、考えを理論的にまとめて伝える力を育てる県大の学びは、働く上での土台になると思います。ゼミやグループワークでは、議論し分担して成果を出す協働も学びました。

就活を始めるまでは、自分の性格や、やりがいを感じるものがわかっていませんでしたが、キャリアセンターでの自己分析で自分の強みや弱みははっきり見えてきました。この結果は今後のキャリアアップにも役立つと思っています。



内定先 フクビ化学工業株式会社

経済学部 経済学科
阿古 七海さん

就活中の不安を親身にサポート
面接の練習が本番に活きる

生物系に興味があって入学。少人数制の授業やゼミでの学びは多分野にわたり、視野が広がったことで、就活では多くの企業を比較検討でき、多彩な事業を積極的に展開している企業を選びました。

キャリアセンターでは、エントリーシートの書き方や面接練習をサポートしていただきました。面接では、タイプが異なる2人の先生と練習を重ねることで、本番でも柔軟な対応ができるようになりました。就活中は不安な気持ちになることもありましたが、時には面接練習をオンラインで行うなど、いつでも親身に寄り添ってくれて心強かったです。



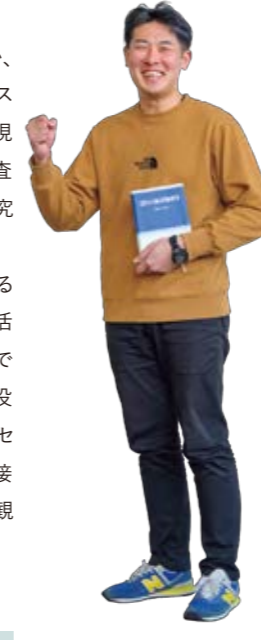
内定先 セーレン株式会社

生物資源学部 生物資源学科
宮本 董さん

自分だけの強み、「引き出し」が
就活を乗り越える支えになる

大学では海洋生物の専門知識のほか、乗船調査や海洋観測方法、メンテナンスなども学びました。それらを活かせる現場での仕事を求めて決めた就職先。調査船に乗り、未知の世界が広がる海の探究を、観測技術を通じて支える仕事です。

就活では、自分の強みをアピールすることが大事です。私は勉強以外に課外活動やアルバイト、資格取得などの経験で「自分の引き出し」を増やし、面接にも役立てることができました。また、キャリアセンターでのエントリーシート添削や面接練習、相談を通じて、自己分析や将来観を明確にできたことも大きかったです。



内定先 日本海洋事業株式会社

生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻
山田 拓海さん

実習での経験と自分の強みを知り
目指していた災害看護師に

4年間で印象深いのは、基礎看護実習と領域別看護実習です。毎日記録に追われ大変でしたが、友人たちと切磋琢磨して乗り越えることを経験。救護ボランティアや救命講習では多様な考え方やその背景、時間の使い方も学びました。これら多くの学びで得た看護観をもとに、常に迅速かつ適切に対応できる看護師、そして災害看護師として活躍するのが目標です。

キャリアセンターでの小論文指導と面接指導では、強みや弱みだけでなく、経験や学生生活を通して自分なりの価値観や大切にしていることを明確にでき、自分を知る良い機会になりました。



内定先 福井赤十字病院

看護福祉学部 看護学科
酒井 咲来さん

面接に合わせた強みのアピールと
パターン練習で希望企業内定へ

小さい頃から自動車が大好き。レース観戦や仲間とのドライブ、構造の話題など、人生のそばにはいつも自動車がありました。だから、日本のものづくり産業を支え、自分と同じ自動車ファンのために働きたいと就職先を決めました。県大で学んだ生産管理や原価管理、情報経営の知識は、仕事でフルに活用できそうです。

私には多くの強みや活動履歴があると自信がありましたが、面接ですべてを話せるわけではありません。キャリアセンターでは面接に合わせた適切な強みを検討し、さまざまなパターンの面接練習を実践。その積み重ねが内定につながりました。



内定先 株式会社 アイシン福井

経済学部 経営学科
中野 紗良さん

憧れの先生を目指した4年間
人生の財産となる仲間もできた

高校時代の恩師は、勉強に対して消極的だった私に寄り添いながら、学ぶ楽しさを教えてくださいました。この先生のようにになりたい、農業の知識を深めたいと県大に入学。教育実習では、母校の生徒たちの成長を目の当たりにして感動！高校農業科教員への決心がつきました。そして就活中に会った友人たちは、職種や目標は違えど高い志を持つ仲間。かけがえない財産になりました。

教員に求められることのひとつが、物事を多面的に考えること。面接練習でもそのことを重点的に行うなど、きめ細かく対策いただき、夢を実現できました。



内定先 福井県教育委員会

生物資源学部 創造農学科
保田 泰希さん

増養殖の知識と経験を活かして
福井県の水産業を盛り上げていく

先生方から学んだ増養殖学の知識や経験を福井県の水産分野に活かしたい。その想いが「福井県が目指す持続可能な魅力あふれる稼げる水産業」の推進につながり、公務員専願へ。卒業研究「三方湖に生息するタモロコ資源回復」での環境DNA調査や組織切片作製の技術も、水産資源の保全や管理に活かせると考えています。

周囲の内定を聞きながらの公務員試験勉強は、不安で押しつぶされそうになることも。キャリアセンターではそんな不安にも耳を傾けていただき励ましていただきました。面接や集団討論の練習など、最後までやりきれたことに感謝しています。



内定先 福井県庁

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
田辺 太一さん

キャリアセンターのように
利用者が安心して頼れる存在に

就職は児童分野を考えていましたが、子どもの健全な発育や親子の適切な関係を守るために、障害のある親の支援ができる障害分野に変更。きっかけは実習やインターンシップでのさまざまな経験です。社会人になったら、利用者が安心して頼れる存在になれるよう頑張りながら、児童分野にもアンテナを張るつもりです。

就活中の頼れる存在がキャリアセンター。履歴書の書き方から面接練習、立ち居振る舞いまで、基本からアドバイスいただけました。履歴書では、志望動機や強みについて考えを引き出していただき、納得いく文章にすることができました。



内定先 社会福祉法人 六条厚生会

看護福祉学部 社会福祉学科
本田 千尋さん



ライフセービング部



キッズボランティアサークル「れいんぼー」



農業部



Open the Sesame



剣道部



アメリカンフットボール部



パラグライダー部



裏千家茶道部



アカベラ部 Tran-Baccano



男子アイスホッケー部



女子アイスホッケー部



アコースティックギターサークル部



映画サークル



恐竜サークル「DiNo」



写真部



軽音楽部



エシカルサークル



福井県立大学 よっしゃこい



ジャグリングサークル Jackal



福井県立大学 管弦楽部



ダブルダッチサークル Getchew



ダンス部 JEEZ



BBSサークル



文芸部

永平寺キャンパス | 学生会

学生会は永平寺キャンパスの大学祭「白樺祭」を中心に、学内で行われるイベントの運営を目的とした団体です。大学を盛り上げるためのイベントの企画・運営を通して、講義では学ぶことができない多くの経験ができます！



Club and Circles

クラブ&サークル紹介

かけがえない仲間と出会える魅力的なクラブ・サークルがたくさん！

永平寺キャンパス

- [体育系]
- ・アメリカンフットボール部
- ・カパディサークル
- ・弓道部
- ・剣道部
- ・サッカー部
- ・女子アイスホッケー部
- ・女子バレーボール部
- ・水泳部
- ・スノースポーツ部
- ・ソフトテニス部
- ・ソフトバレーサークル
- ・ダブルダッチサークル Getchew
- ・男子アイスホッケー部
- ・男子ソフトボール部
- ・男子バスケットボール部
- ・男子バレーボール部
- ・男子フットサル部
- ・男女硬式テニス部
- ・男女バドミントン部
- ・ダンス部 JEEZ
- ・バスケットボールサークル
- ・パラグライダー部
- ・ハンドボール部
- ・福井県立大学 カヌー部
- ・福井県立大学 軟式野球サークル
- ・福井県立大学 よっしゃこい
- ・陸上競技部

- ・チャレンジサポートサークル(CSサークル)
- ・つぐみラポ
- ・七盤サークル
- ・日本遊戯振興会
- ・人間関係構築サークル
- ・農業部
- ・ハイキングサークル
- ・福井県立大学 管弦楽部
- ・福井県立大学クイズ研究会 FABRIQ
- ・福井県立大学 ジャグリングサークル Jackal
- ・文芸部
- ・Pokerサークル Exploit
- ・ソドゲームサークル
- ・星空サークル
- ・YOLOサークル

小浜キャンパス

- [体育系]
- ・小浜キャンパス アイスホッケー部
- ・小浜キャンパス アメリカンフットボール部
- ・小浜パラグライダー部
- ・球技サークル
- ・ダンス部 JEEZ 小浜支部
- ・バドミントンサークル
- ・バレーボール部
- ・ライフセービング部

- [文化系]
- ・油絵部
- ・映画サークル
- ・音楽サークル
- ・軽音楽部
- ・おばま水族館 学生メンバーサークル
- ・美食サークル
- ・文芸サークル
- ・遊狩漁部

あわらキャンパス

- [文化系]
- ・スパイス研究会

勝山キャンパス

- [文化系]
- ・勝山学祭実行委員会
- ・北陸地学探求サークル TITAN

クラブ・サークル
情報はこちら



小浜キャンパス | 海友会

海友会は小浜キャンパスの大学祭「白樺祭」や新しく小浜に来る2年生の歓迎会等、大学のイベントの運営を行っています。人数は少ないですが、互いに協力しながらさまざまな役割に携わることで、貴重な経験と思い出を得ることができます！

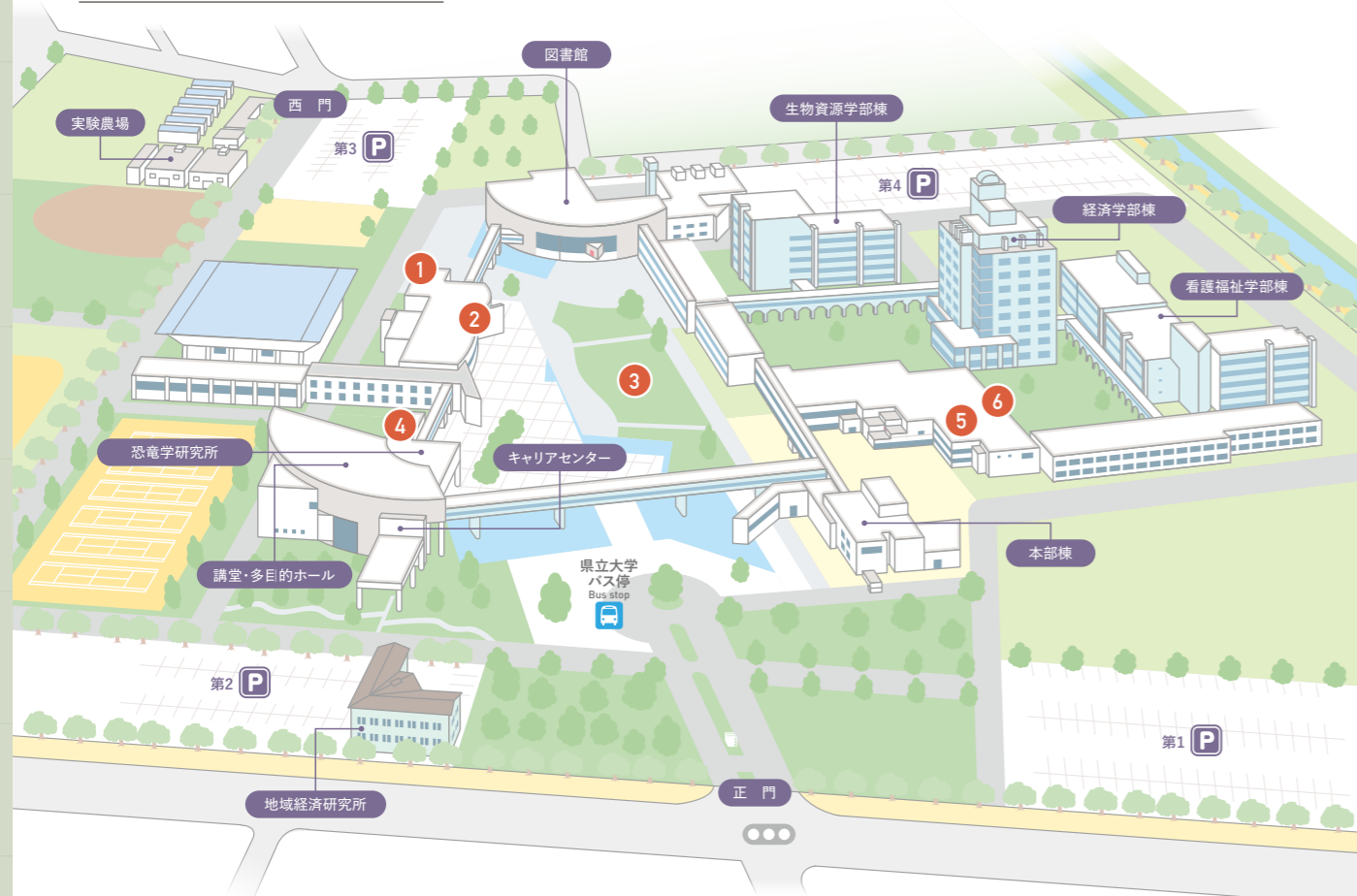
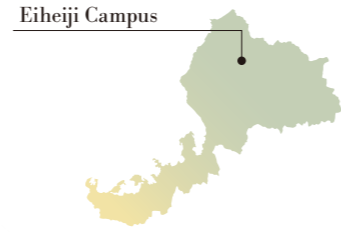


永平寺キャンパス

禅の里 永平寺町に位置する、広大で緑豊かな学術研究フィールド

経済学部／経済学科・経営学科
生物資源学部／生物資源学科
看護福祉学部／看護学科・社会福祉学科

Eiheiji Campus



1 - 県大レストラン
豊富なメニューとリーズナブルな価格帯が人気。学生だけでなく一般の方も利用可能です。



2 - 学生会館
昼食時や休憩時、自習時などで自由に利用が可能。「学生チャレンジスペース」もあります。



3 - フォーラム(広場)
永平寺キャンパスの中央にある広場。天気の良い日は学生たちの憩いのスペースになります。



4 - World Café
お茶を飲みながら外国人インストラクターと気軽に英会話！留学相談も実施しています。



5 - アトリウム
授業の空き時間に友達と集まり会話を楽しむなど、学生が自由に使える空間です。



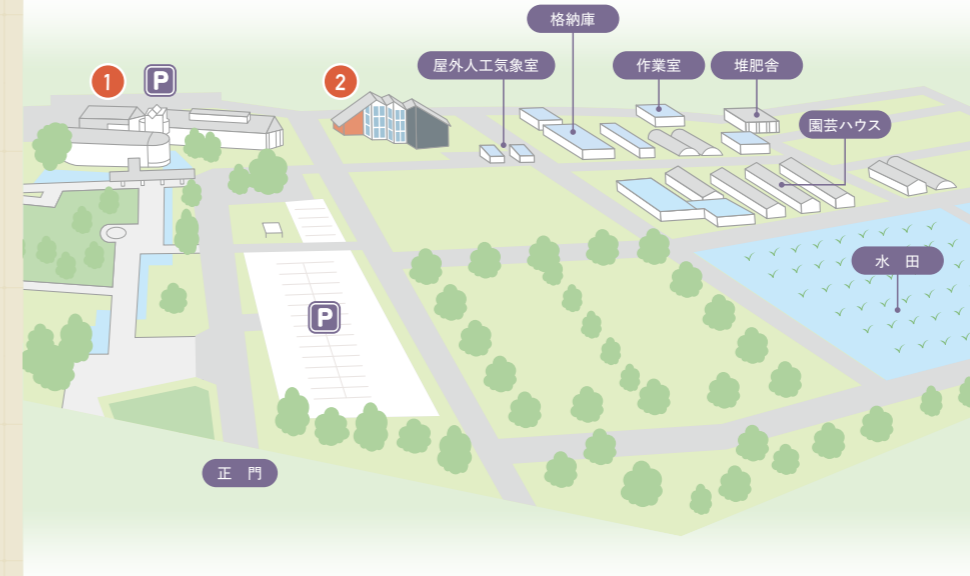
6 - 共通講義棟内 大講義室
永平寺キャンパスで一番大きな講義室。およそ300人が一度に講義を受けられます。

あわらキャンパス

あわらの自然豊かな里地里山のフィールドがそのまま学び場に

生物資源学部／創造農学科

Awara Campus



1 - 食農交流棟
6次産業化を推進する人材育成のため、食品加工技術向上と交流のためのスペースがあります。



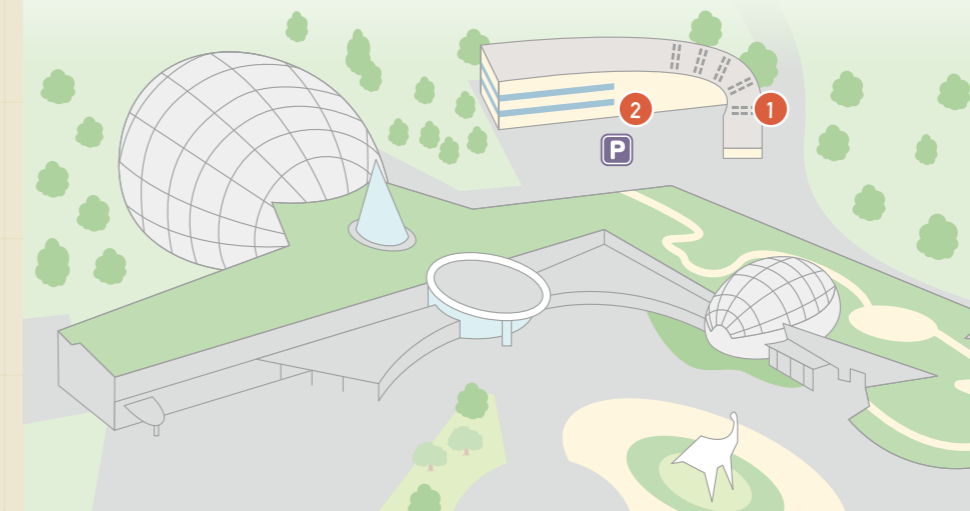
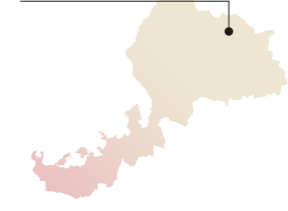
2 - 教育棟
木造1階建てで創造農学科生の学びの拠点。講義室や実験室、調理室、医務室などがあります。

勝山キャンパス

日本有数の恐竜研究拠点である福井県立恐竜博物館に隣接し、博物館との連携が整う

恐竜学部／恐竜・地質学科

Katsuyama Campus



1 - アブドミナルホール
1階から3階の吹き抜けと屋外の芝生広場をつなぎ、学生・教員・地域の方が交流できる空間です。



2 - CT解析ラボ
大型CTで標本を壊さず内部を可視化。1m超の大型化石も解析可能な研究拠点です。

小浜キャンパス

雄大な日本海を目前に望む開放感あふれる
キャンパス

海洋生物資源学部／海洋生物資源学科・先端増養殖科学科



Obama Campus



1 ー 海洋環境工学実験棟
波や潮流などを再現する装置を取り付けた4種類の水槽のほか、先進的な設備を備えています。



2 ー 県大レストラン&キッチンBoo
海が見えるレストランで地産地消にこだわったバイキングが楽しめます。県大生は割引価格。

学生生活サポート

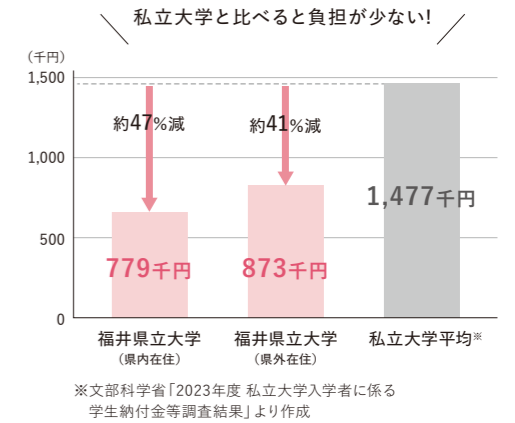
Student Support

修学に必要な費用等

入学科・授業料等 (2026年4月現在)

	福井県内に在住の方	福井県外に在住の方
入 学 料	188,000円	282,000円
授業料(年額)	535,800円	
その他(学生保険等)	約55,000円*	
合 計	778,800円	872,800円

※2025年度の実績であり、金額が変更される場合があります。



奨学金

日本学生支援機構の奨学金

● 貸与奨学金

区 分		貸与月額
第一種(無利子)	自宅通学者	20,000円、30,000円、45,000円から学生が選択した額
	自宅外通学者	20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から学生が選択した額
第二種(有利子)		月額20,000円～120,000円の間で、1万円単位で学生が選択した額

● 給付奨学金(修学支援新制度)

※カッコ内は生活保護世帯等の金額

区 分	給付月額			
	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分
自宅通学者	29,200円(33,300円)	19,500円(22,200円)	9,800円(11,100円)	7,300円(8,400円)
自宅外通学者	66,700円	44,500円	22,300円	16,700円

その他の奨学金

地方公共団体、公益法人、民間企業等が行う奨学金制度があります。

募集がある場合に大学ホームページに掲載します。

入学科・授業料減免制度

各制度の詳細は、対象機関のホームページ等でご確認ください。

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」

修学支援新制度の対象となっている者は、入学科、授業料の減免を受けることができます。

福井県独自の「2人扶養世帯の県内大学等授業料減免制度」

修学支援新制度の対象となっている者かつ福井県内の進学者に対し、福井県独自の上乗せ支援を行います。

福井県立大学独自の授業料減免および納付期限延長の制度

大学院生、留学生を対象とした授業料減免および納付期限延長の制度があります。

充実した相談体制

教員による学生相談

大学での学びや生活、健康、進路など、さまざまな悩みや不安に対して、各学科・学年ごとに配置された学生相談担当教員が相談に応じます。

修学、生活などの相談

「授業に出席できない」「大学になじめない」「自信が持てない」など、学生生活の悩み事に、専門知識や援助技術を持つキャンパスソーシャルワーカーが相談に応じます。

身体や心の悩み相談

健康診断や健康相談、メンタルヘルス相談、カウンセリングなどに、看護やカウンセリングの専門スタッフ(学校医、保健職員、カウンセラー)が応じます。

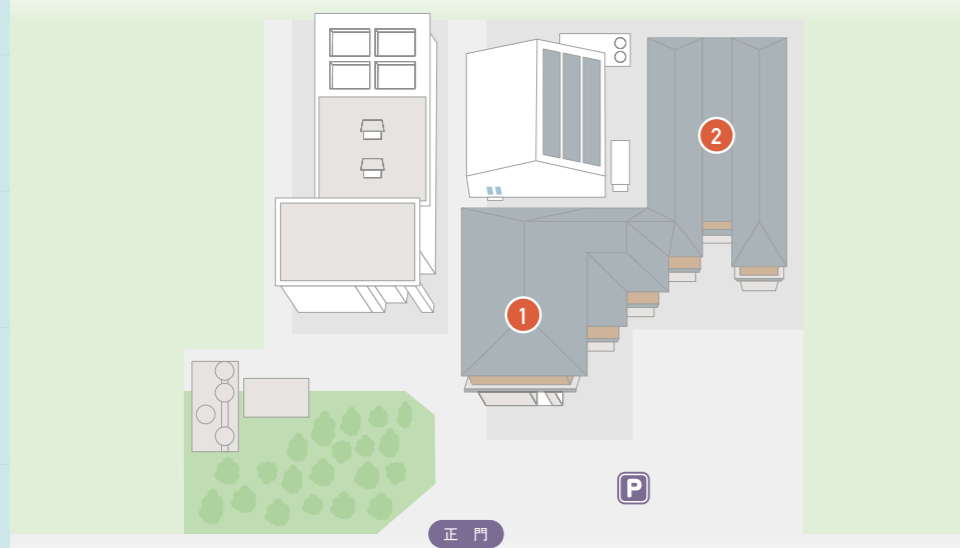
かつみキャンパス

キャンパス前の若狭湾を活用する先端増養殖科学の
教育・研究拠点

海洋生物資源学部／海洋生物資源学科・先端増養殖科学科



Katsumi Campus



1 ー 研究講義棟
教員と学生のスペースが隣接し、コミュニケーションが円滑に行えるよう工夫されています。



2 ー 飼育棟
養殖魚を育成する大型水槽を備えた飼育実験室、魚を飼育管理できる小型魚類飼育室を設置。

県大LIFE

大学生活は学ぶこと以外にもサークルや趣味、アルバイトなど楽しみはいっぱい。県大生の「自宅暮らし」「一人暮らし」それぞれの魅力とリアルを、先輩から紹介してもらいました！

自宅暮らし



#私のイチオシ!



大学2年時に取得した大型バイク免許。県内の道の駅に行くのが楽しみ!

仲間が増え、視野が広がって自分の考え方も確立される

永平寺キャンパス 経済学部 経済学科 表 洸平さん

大学生になり、自分の考えを求められることが多くなりました。フィールドワークが多い日本経済史ゼミでは県内各所を訪ね、楽しさを実感しながら経済との関係性を探るとともに、仲間たちや先生のそれぞれの見方や考え方を知る良い機会になっています。休日はバイク。入学後に免許を取得し、大好きな福井県の良さを再認識しながら走っています。

自分STYLE



中学生から続けている剣道は4段。忙しさと乱れがちな心が整い、ストレス解消にもなっています。



フィールドワークで陶芸を体験。仲間と過ごす時間も長いので、付き合っても深まります。

自宅暮らしは時間や生活にゆとりがあります!

Kouhei Omate

大学と地域、留学で学びの幅が広がり深まる

あわらキャンパス 生物資源学部 創造農学科 松浦 穂乃佳さん

祖父母が営む農業を継ぎたくて入学。農学以外に地元のことも知ろうと、「MAK.JC」(三国・芦原・金津青年会議所)の市民サポーターにも参加しています。イベントで知り得た地元の魅力や多くの方々との交流は、学びにも活かすつもりです。1年次には海外留学も経験。英語でのアピール力が強化できました。在学中にファームステイも予定しています!

自分STYLE

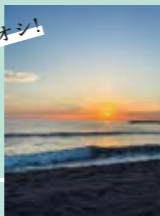


地元のイベントには積極的に参加。農業サークルで育てたジャガイモを使ったお菓子を販売したことも。



初海外のシンガポールはすべてが新鮮で刺激的! 学内「World Café」での英会話も役に立ちました。

#私のイチオシ!



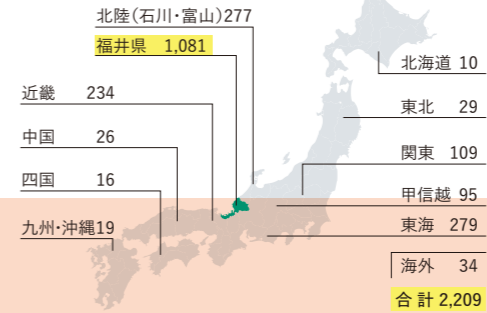
大好きな三国の海。季節ごとに変わる表情が素敵なんです!

自宅暮らしで貯金をしています。貯めたお金で旅行へ!



Honoka Matsuura

出身地域別学生数
(学部・大学院)



自然豊かで芸術的、おいしい“福井”を探す

永平寺キャンパス 看護福祉学部 看護学科 奥野 芽依さん

高校時代とは比べものにならないくらい、交友関係や行動範囲が広がっています。友達といろいろな話題で盛り上がり、おいしい店を探して出かけたり、絶景を見に行くなど楽しみが尽きません。特に今熱中しているのは美しい景色をプリント写真で残すこと。自然豊かなスポットや観光地はもちろん、実は県大の校舎外観も芸術的で素敵です。

自分STYLE



星空が綺麗な六呂師高原。南六呂師エリアは、星空の世界遺産ともいわれる星空保護区にも認定!



毎朝お弁当を作っています。寝坊できないプレッシャーがありますが、規則正しい生活ができています。

#私のイチオシ!



写真がプリントできるカメラで気に入ったその一瞬を撮影!



一人暮らし

一人暮らしは“自由”。節約や節電を考えるので“自立”も早いかも?

Mei Okuno

大好きな海の近くで思う存分、研究に没頭する

小浜キャンパス 海洋生物資源学部 海洋生物資源学科 二株 翠洋さん

大学周辺は海や山、川があり、研究に最適な環境です。藻類生命科学研究室での実験とサンプリングの日は充実している反面、行き詰まることも。そんなときは院生や先生に相談して改善しながら、仲間と一緒に次のステップを考え確実に前進していくのが面白いです。アルバイトを通じた交友や交流も、視野を広げるよい刺激になっています。

自分STYLE



パラグライダー部に所属。県内外の行く先々で空を飛ぶ仲間とは強い絆を感じています。



自宅から数分で海! 学内レストランから見える小浜湾の表情は見ている飽きません。

ポケットサイズのメモ帳は、ふとしたアイデアや院生・先生の助言がすぐ書ける優れモノ!

#私のイチオシ!



研究やアルバイトの時間を自由にやりくりできる!



Akihiro Futakabu

客員教授



青山社(株) 筆頭代表CEO、
総務省 地域創造アドバイザー
朝比奈 一郎



一橋大学 国際・公共政策大学院
客員教授
安間 匡明



京都大学 名誉教授
池上 惇



福井県立恐竜博物館 主任研究員
一島 啓人



京都大学 名誉教授
伊東 光晴



東京大学 名誉教授、
兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長
岩槻 邦男



写真家、(一社)京都会所 代表理事
エバレット・ケネディ・ブラウン



東京大学 名誉教授、
高崎健康福祉大学 農学部長
大政 謙次



作家、医師
海堂 尊



国際大学 学長
橋川 武郎



(株)NHKエンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー
堅達 京子



伊藤忠商事(株) 名誉理事
小林 栄三



大本山永平寺 監院
小林 昌道



高知大学 名誉教授、
越知町立 横倉山自然の森博物館
地域おこし協力隊
近藤 康生



地球科学可視化技術研究所(株)
所長
芝原 暁彦



中国 中国科学院 古脊椎動物古人類学
研究所 所長(教授)
徐 星



元 北陸電力(株) 相談役、
元 北陸経済連合会 特別顧問
新木 富士雄



エステー(株)アドバイザー、
青山学院大学 コミュニティ人間科学部
客員教授
鈴木 幹一



イギリス スコットランド エディンバラ大学
地球科学部古生物学・進化学 専任教授
スティープ・L・ブルサッテ



(株)JTB相談役(元社長・会長)、
福井県観光アカデミー 元学長、
JATA(日本旅行業協会) 元会長
田川 博己



元 福井市立郷土歴史博物館長(市理事・
学芸員)、神職・歌人
角鹿 尚計



カナダ ロイヤルオンタリオ博物館
古脊椎動物部門長
デイヴィッド・C・エバンス



アメリカ モンタナ州立大学
ポーズマン校 地球科学科 教授
デイヴィッド・J・ヴァリックキオ



福井県立恐竜博物館
副館長(研究体験)
寺田 和雄



立命館大学 古気候学研究センター
センター長・教授
中川 毅



丹羽連絡事務所 チーフエコノミスト
中島 精也



東京都立大学・首都大学東京 名誉教
授、明治大学 研究・知財戦略機構 研究
推進員
中林 一樹



福井県立恐竜博物館 指導研究員
野田 芳和



早稲田大学 教授
平山 廉



法政大学 キャリアデザイン学部 教授
廣川 進



カナダ アルバータ大学
理学部生物学科 教授
フィリップ・J・カリー



シンフォニアテクノロジー(株)
取締役会長
武藤 昌三



異文化コミュニケーター、
元 国際連合人間居住計画(国連ハビタット)
親善大使
マリ・クリスティーン



立教大学 名誉教授
溝尾 良隆



福井県立恐竜博物館
副館長(調査展示)
宮田 和周



宇宙飛行士、
日本科学未来館 名誉館長
毛利 衛



(株)日本総合研究所 主席研究員、
(株)日本政策投資銀行 地域調査部
特任顧問
藻谷 浩介



富士通(株) シニアアドバイザー、
前 気象庁長官
森 隆志



放送大学大学院 文化科学研究科 教授、
名古屋大学 名誉教授
山内 豊明



studio-L 代表
山崎 亮



ノンフィクション作家、
福井県年輪博物館 特別館長
山根 一真



宮内庁参与、(一財)地域創造 会長、
元 内閣府事務次官
山本 信一郎



東京大学 名誉教授
養老 孟司

History

- 1920 福井県農業試験場内に福井県農業技術員養成課程を設置
- 1966 福井県農業短期大学校に改称
- 1975 福井県立短期大学(農学科、経営学科、看護学科)を開学
- 1982 第二看護学科を開設
- 1984 専攻科地域看護学専攻を開設
- 1992 開学[福井キャンパス(経済学部・生物資源学部)]
初代学長に坂本慶一が就任
- 1993 小浜キャンパス(海洋生物資源学科)、
生物資源開発研究センターを開設
看護短期大学部を併設
- 1994 看護短期大学部を福井キャンパスに移転
- 1996 大学院修士課程を開設
- 1998 大学院博士課程を開設
第2代学長に常協恒一郎が就任
- 1999 看護福祉学部を開設
- 2001 看護短期大学部を閉学
地域経済研究所を開設
- 2002 学術教養センターを設置
- 2003 海洋生物資源臨海研究センターを開設
大学院看護福祉学研究科を開設
- 2004 第3代学長に祖田修が就任
- 2006 大学院にビジネススクールを設置
- 2007 公立大学法人に組織変更
- 2009 海洋生物資源学部を開設(小浜キャンパス)
- 2010 第4代学長に下谷政弘が就任
キャリアセンターを開設
- 2013 恐竜学研究所を開設
- 2016 第5代学長に進士五十八が就任
福井キャンパスの名称を永平寺キャンパスへ変更
- 2017 地域連携本部を開設
- 2020 あわらキャンパス開設
生物資源学部創造農学科を開設
- 2022 かつみキャンパス開設
海洋生物資源学部先端増養殖科学科を開設
- 2023 第6代学長に岩崎行玄が就任
大学院健康生活科学研究科を開設
情報センターを開設
- 2025 恐竜学部を開設
国際センター、地域連携センター、共通教育センターを開設
- 2026 勝山キャンパス開設
地域政策学部を開設

入試DATA

▶ 志願者・合格者・倍率(2026年度入学生)

学部	学科	一般選抜・前期日程					一般選抜・後期日程					一般選抜計(A)				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済学部	経済学科	35	212	191	62	3.1	20	387	118	20	5.9	55	599	309	82	3.8
	経営学科	35	168	153	50	3.1	20	182	62	20	3.1	55	350	215	70	3.1
	計	70	380	344	112	3.1	40	569	180	40	4.5	110	949	524	152	3.4
生物資源学部	生物資源学科	14	68	60	29	2.1	17	137	46	26	1.8	31	205	106	55	1.9
	創造農学科	11	16	16	14	1.1	5	27	4	4	1.0	16	43	20	18	1.1
	計	25	84	76	43	1.8	22	164	50	30	1.7	47	248	126	73	1.7
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	25	90	80	35	2.3	10	127	57	12	4.8	35	217	137	47	2.9
	先端増養殖科学科	10	63	61	19	3.2	6	66	26	6	4.3	16	129	87	25	3.5
	計	35	153	141	54	2.6	16	193	83	18	4.6	51	346	224	72	3.1
看護福祉学部	看護学科	25	51	47	30	1.6	5	64	11	5	2.2	30	115	58	35	1.7
	社会福祉学科	15	40	36	21	1.7	5	50	23	5	4.6	20	90	59	26	2.3
	計	40	91	83	51	1.6	10	114	34	10	3.4	50	205	117	61	1.9
恐竜学部	恐竜・地質学科	15	82	80	15	5.3	3	50	13	4	3.3	18	132	93	19	4.9
	計	15	82	80	15	5.3	3	50	13	4	3.3	18	132	93	19	4.9
地域政策学部	地域イノベーション学科	30	209	193	32	6.0	5	494	176	7	25.1	35	703	369	39	9.5
	計	30	209	193	32	6.0	5	494	176	7	25.1	35	703	369	39	9.5
総計		215	999	917	307	3.0	96	1,584	536	109	4.9	311	2,583	1,453	416	3.5

学部	学科	学校推薦型選抜(B)					総合型選抜(C)					特別選抜(D)					総計(A+B+C+D)				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済学部	経済学科	20	41	41	26	1.6	5	5	5	3	1.7	若干名	7	7	3	2.3	80	652	362	114	
	経営学科	20	42	42	27	1.6	5	8	8	6	1.3	若干名	8	8	4	2.0	80	408	273	107	
	計	40	83	83	53	1.6	10	13	13	9	1.4	若干名	15	15	7	2.1	160	1,060	635	221	
生物資源学部	生物資源学科	11	10	10	10	1.0	8	7	7	6	1.2	若干名	1	1	0	—	50	223	124	71	
	創造農学科	7	14	13	9	1.4	7	17	10	1.7	若干名	0	0	0	—	30	74	50	37		
	計	18	24	23	19	1.2	15	24	16	1.5	若干名	1	1	0	—	80	297	174	108		
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	10	11	11	10	1.1	5	18	17	8	2.1	若干名	0	0	0	—	50	246	165	65	
	先端増養殖科学科	8	7	7	7	1.0	6	19	18	8	2.3	若干名	0	0	0	—	30	155	112	40	
	計	18	18	18	17	1.1	11	37	35	16	2.2	若干名	0	0	0	—	80	401	277	105	
看護福祉学部	看護学科	20	31	31	21	1.5	—	—	—	—	—	若干名	1	1	0	—	50	147	90	56	
	社会福祉学科	10	19	19	12	1.6	—	—	—	—	—	若干名	1	1	1	1.0	30	110	79	39	
	計	30	50	50	33	1.5	—	—	—	—	—	若干名	2	2	1	2.0	80	257	169	95	
恐竜学部	恐竜・地質学科	6	7	7	6	1.2	6	60	34	9	3.8	若干名	2	2	1	2.0	30	201	136	35	
	計	6	7	7	6	1.2	6	60	34	9	3.8	若干名	2	2	1	2.0	30	201	136	35	
地域政策学部	地域イノベーション学科	25	36	36	34	1.1	10	19	19	11	1.7	若干名	3	3	0	—	70	761	427	84	
	計	25	36	36	34	1.1	10	19	19	11	1.7	若干名	3	3	0	—	70	761	427	84	
総計		137	218	217	162	1.3	52	153	125	61	2.0	若干名	23	23	9	2.6	500	2,977	1,818	648	

▶ 合格者の最高・最低・平均点(2026年度入学生)一般選抜

学部	学科	前期日程			後期日程		
		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
経済学部	経済学科	384.0	308.4	327.4	445.5	414.4	423.4
	経営学科	402.7	310.7	337.9	469.9	399.1	414.6
生物資源学部	生物資源学科	—	—	—	449.6	360.7	399.6
	〈試験A〉	300.9	235.3	266.2	—	—	—
	〈試験B〉	329.5	259.2	288.2	—	—	—
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	274.7	214.8	247.0	248.4	198.4	222.5
	先端増養殖科学科	326.6	251.4	274.9	475.3	419.1	442.0
	計	292.8	244.2	263.4	435.3	387.6	412.5
看護福祉学部	看護学科	330.2	266.1	291.3	482.2	383.5	427.9
	社会福祉学科	315.6	230.5	253.9	354.0	339.7	346.0
恐竜学部	恐竜・地質学科	371.0	322.9	348.8	486.5	440.8	454.2
地域政策学部	地域イノベーション学科	436.5	378.1	402.2	404.6	354.1	366.1

■学部(学科)により満点が異なります。
 ※前期日程: 経済学部、看護福祉学部看護学科500点満点。生物資源学部生物資源学科、恐竜学部450点満点。
 地域政策学部600点満点。他の学部(学科)400点満点。
 ※後期日程: 生物資源学部創造農学科350点満点。看護福祉学部看護学科700点満点。
 看護福祉学部社会福祉学科、地域政策学部500点満点。他の学科600点満点。

▷ 入試日程(2027年度入学者選抜)

区分	出願期間	試験日
一般選抜	前期日程	2027.1.25(月)~2027.2.3(水)
	後期日程	2027.3.12(金)
学校推薦型選抜	2026.11.2(月)~2026.11.10(火)	2026.11.21(土)
総合型選抜	2026.10.1(木)~2026.10.8(木)	2026.11.22(日)
特別選抜	帰国生徒	2026.11.21(土)~2026.11.22(日) ※いずれかの日程で実施予定
	社会人	
	私費外国人留学生	

※日程は2026年5月現在の予定です。
 変更される場合がありますので、本学HPでご確認ください。

入試情報は
 こちらから!



▶ 入試に関するお問合せ

福井県立大学 入学試験本部(入試企画室) 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL. 0776-61-6000
 FAX. 0776-61-6012
 MAIL. nyusi@g.fpu.ac.jp

大学DATA

▶ 学部学生数(2026年5月1日現在)

※()は女子人数

学部・学科	1年	2年	3年	4年	計
経済学科	91 (40)	109 (45)	116 (46)	119 (48)	435 (179)
経営学科	85 (51)	114 (59)	115 (63)	128 (61)	442 (234)
経済学部計	176 (91)	223 (104)	231 (109)	247 (109)	877 (413)
生物資源学科	52 (27)	51 (18)	49 (29)	52 (29)	204 (103)
創造農学科	35 (18)	37 (24)	32 (18)	29 (13)	133 (73)
生物資源学部計	87 (45)	88 (42)	81 (47)	81 (42)	337 (176)
海洋生物資源学科	52 (15)	54 (13)	56 (15)	56 (17)	218 (60)
先端増養殖科学科	34 (6)	33 (7)	31 (8)	33 (6)	131 (27)
海洋生物資源学部計	86 (21)	87 (20)	87 (23)	89 (23)	349 (87)
看護学科	54 (49)	52 (44)	55 (49)	56 (50)	217 (192)
社会福祉学科	34 (32)	34 (27)	33 (29)	31 (25)	132 (113)
看護福祉学部計	88 (81)	86 (71)	88 (78)	87 (75)	349 (305)
恐竜・地質学科	34 (11)	34 (17)			68 (28)
恐竜学部計	34 (11)	34 (17)			68 (28)
地域イノベーション学科	74 (49)				74 (49)
地域政策学部計	74 (49)				74 (49)
全学部計	545 (298)	518 (254)	487 (257)	504 (249)	2,054 (1,058)

▶ 大学院学生数(2026年5月1日現在)

※()は女子人数

大学院博士前期課程・修士課程	1年	2年	計
経済・経営学研究科	1 (0)	3 (2)	4 (2)
地域・国際経済政策専攻			
経営学専攻	7 (3)	12 (4)	19 (7)
生物資源学研究科	11 (6)	18 (9)	29 (15)
生物資源学専攻			
海洋生物資源学専攻	23 (5)	9 (5)	32 (10)
看護福祉学研究科	6 (5)	7 (7)	13 (12)
看護学専攻			
社会福祉学専攻	4 (2)	7 (5)	11 (7)
合計	52 (21)	56 (32)	108 (53)

大学院博士後期課程	1年	2年	3年	計
経済・経営学研究科	3 (2)	2 (0)	4 (2)	9 (4)
経済研究専攻				
生物資源学研究科	2 (0)	3 (0)	11 (3)	16 (3)
生物資源学専攻				
海洋生物資源学専攻	6 (0)	3 (2)	2 (0)	11 (2)
健康生活科学研究科	5 (3)	2 (0)	4 (2)	11 (5)
健康生活科学専攻				
合計	16 (5)	10 (2)	21 (7)	47 (14)

▶ 教員数(2026年4月1日現在)

学部等	学長・副学長	教授	准教授	助教	計
学長・副学長	4				4
経済学部/経済・経営学研究科		14	9	3	26
生物資源学部/生物資源学研究科		15	16	1	32
海洋生物資源学部/生物資源学研究科		17	11	2	30
看護福祉学部/看護福祉学研究科・健康生活科学研究科		23	8	14	45
恐竜学部/生物資源学研究科		11	5	2	18
地域政策学部		10	6		16
地域経済研究所		1			1
情報センター		1	3	1	5
国際センター		2	4		6
地域連携センター		3			3
共通教育センター		4	3		7
計	4	101	65	23	193

ACCESS MAP



永平寺キャンパス
 〒910-1195
 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
 TEL 0776-61-6000(代)
 (バス)所要時間約40分
 京福バス福井駅西口バスターミナル
 大学病院線「県立大学」下車
 (乗用車)福井駅より約20分
 北陸自動車道 福井北ICより約10分

福井まちなかキャンパス
 〒910-0858
 福井県福井市手寄1-4-1
 AOSSA(アオッサ)内
 (電車)福井駅東口より徒歩1分
 (乗用車)北陸自動車道 福井ICより約10分



あわらキャンパス
 〒910-4103
 福井県あわら市二面88-1
 TEL 0776-77-1443(代)
 (乗用車)
 芦原温泉駅より約15分
 北陸自動車道 金津ICより約15分

